紹興宝巻研究2 付「双英宝巻」校注影印

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 上田, 望 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00034668

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

紹興宝巻研究２

付「双英宝巻」校注影印

課題番号：１７０８３０１９

平成２０年度科学研究費補助金
特定領域研究／東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成
散楽の源流と中国の諸演劇・芸能・民間儀礼に見られる
その影響に関する研究（演劇班）・研究成果報告書

平成２１年３月

研究分担者　　**上 田　望**
金沢大学人文学類准教授

目 次

序
…… 1

「双英宝巻」解題（上田 望）
…… 3

付録
「双英宝巻」校注及び影印（上田 望・施 凱盛・林 志英 校注）
…… 19

序

本報告書は、平成 20 年度科学研究費補助金特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成」の「散楽の源流と中国の諸演劇・芸能・民間儀礼に見られるその影響に関する研究」（演劇班）の成果の一部をまとめたものである。

この数年、浙江東部の寧波や紹興地域で重点的に調査をおこなってきており、紹興の芸能「宣巻」については、平成 18 年度の報告書でも詳しく報告し、あわせて紹興県福全鎮下兪村（当時）で入手した「双状元宝巻」を校訂し、原本の写真とともに公表している。その後の調査で、さらに紹興県漓渚鎮の張大斯氏所蔵の 2 種類の宝巻資料を兪邦民氏を通じて入手したので、本報告書ではそのうちの一つである［双英宝巻」について解題を作成し、前回と同様に注釈を加え校訂テキストと写真を公表することとした。

「双英宝巻」の内容等については解題で詳述することにしたいが、中華民国期に石印本「梅花戒宝巻」が出ており、これについては古屋明弘、氷上正、王福堂三氏の詳細な注釈を加えた校訂テキストが早稲田大学古籍文化研究所・説唱文学研究所から刊行されている。読み物として販売されていた石印本のテキストと、今回、世に問う上演用テキストとの精密な比較対比によって、今後さらに芸能研究の発展が期待できるであろう。紹興方言を含む手抄本であるため、誤読もあろうかと思われるが、影印と校注本の公開を通して大方のご批正を願う次第である。

最後になったが、本研究では校注作成に関し林志英氏（当時、北京大学中文系碩士課程在籍）、施凱盛氏から協力を得た。特に施氏には呉方言のネイティブスピーカー（寧波市出身）としていろいろと貴重なご助言を賜った。また、「梅花戒宝巻」の翻字並びに注釈からは先行業績として多くの教示を受けている。ここに改めてご支援・ご教示を賜った方々のお名前を記し、謹んで感謝の意を表したい。

2009 年 3 月 22 日

上 田　望　　記

「双英宝巻」解題

上　田　　望

１．「双英宝巻」の梗概

上本

大唐永徽年間（650－655 年，高宗）、浙江省寧波府定海県に王応文という 16 歳の若き書生がいた。応文の父、王廷貴はかつて首相をつとめたほどの人物であったが、父も母親張氏もすでに世を去り、王徳という奴僕が応文に仕え、世話をやいていた。

黌門に入り、勉学に打ち込んでいた応文であるが、思うように志を遂げることができない憂さを晴らそうと、書童の王興とともに 8 月 18 日の大潮を観に行く。潮が来る前に潮神廟を参観していた応文は、善男善女が参詣しているのを見て、自分が功成り名を遂げた暁にはこの廟を焼き捨てさせると言い、潮神を邪神よばわりして潮神の怒りを買う。

応文が文曲星の生まれ変わりであり、また彼の伴侶となるべき女性が福建泉州府にいることを知っている潮神は、夜叉に命じて応文を潮に巻き込み無傷で晋江県に運ばせる。

書童は屋敷に帰って難を王徳に知らせ、王徳は河辺に駆けつけるが遺体を見つけることもできず、応文の位牌を設けて供養する。

潮に流された応文は晋江県の海で漁師阿二、阿三の網にかかり、砂浜にうち捨てられる。気がついた応文は通りがかりの老人に自分が今いるところが泉州府晋江県だと教えられる。

近くの川で水浴びをして身を清めていた応文は、洗って乾かしていた服をこそ泥の白望光に盗まれてしまう。

そこへ、母親の命で米をとぎに楊完英がやってくる。楊完英はこの地で食堂を営む楊天標と紹興府山陰県出身の妻との間に生まれた娘で十六歳。彼女は一時期、隣の駱府のお嬢様と姉妹のように一緒に暮らしていたが、このとき実家に帰ってきていたのであった。応文のあられのない姿におろおろするばかりの娘に代わって楊媽媽が応対し、応文に自分のお古の衣裳を着せ、家に連れてくる。応文は完英の部屋に通され、そこで食事を持って来てくれた完英に身の上を語り、彼女に結婚を申し込む。完英も承諾し、誓いのしるしとして梅花戒を応文に贈る。

楊天標は文房具を取るために完英の部屋に入った時､眠っていた応文を見つけ女芸人（鳳陽婆）と勘違いし、虎にでも喰われろとばかりに東門外の山に担いでいって棄てる。それを見て楊媽媽や完英は悲しむがなすすべがなかった。

目を覚ました応文は一文無しでどうすることもできないため、山を下りて城内の四つ辻で物乞いをする。（祈福の唱詞 44 句）

晋江県に住む首相の駱賓は、夫人李氏のとの間に七人の息子と一人の娘をもうけ、息子たちはいずれも役人になり結婚していた。一人娘の駱姣英は十六歳で、皇帝の仲立ちで潼関を守る平西王沈栄の息子沈標と婚約していたが、沈標が醜くて乱暴者との噂を耳にし、母親の李氏は行く末を気に病んで身罷り、娘も一日泣き暮らし自ら命を絶とうとする始末で、ほとほと困り果てて引退を考えていた。

ある日、駱賓は侍女たちに姣英を街へ気晴らしに連れて行くように命じ、娘が笑ったら

褒美を取らせると約束する。
　姣英は部屋に閉じこもって自分の不幸を嘆いていたところに、七人の兄嫁たちが来て、彼女を花園へ連れ出す。桂花を見ても姣英の心は鬱々として楽しまず、尼になりたいと言うため、今度は海棠、梨花を見せるがやはり喜ばない。
　そこで、侍女たちは花園の外に連れ出そうと門を開けたところ、女装した狂女のような応文が通りかかり、姣英は思わず笑い出す。侍女から報告を受けた駱賓は、なぜ男の応文が女装しているのか問いただす。
　応文は自分の身元を隠し、元の主人に殺されそうになったため、女装して逃げ出してきたのだと偽りを述べる。駱賓は応文の挙措が典雅なのを見て気に入り、書童として「新来」という名を与え屋敷に置くことにする。応文は奥に入って、七人の若夫人や姣英たちに挨拶をすませる。
　さて、沈栄は天下を奪おうと企み、黒元帥を使わして高麗国から十万の兵を借りようとしていた。 さらに駱家も味方につけようと、息子の沈標を泉州府晋江に行かせて駱姣英と婚礼を挙げるよう命ずる。船で泉州にやって来た沈標は、城内で適当な屋敷を見つけ公館として借り上げ、下僕を駱府へ使わし婚礼を催促する。

下本
　駱賓のもとへ沈標からの書き付けが届く。駱賓は沈標が逗留する西街の屋敷に挨拶へ赴く。沈標が無礼なだけでなく、学のない乱暴者であることを知り、また皇帝を盾に婚姻を迫るのを見て駱賓は腹を立てて帰ってしまう。
　さて、応文は姣英の才識がどれほどのものかを確かめようと、姣英の部屋に潜り込むが、姣英に見とがめられる。姣英は応文が身につけている梅花戒が、以前、自分が楊完英に贈ったものと同じであることに気づき、真相を確かめようと応文から借り受ける。
　侍女から沈標が晋江にやってきたことを聞いた姣英は自分の悲運を嘆いているところに、応文が口をはさむ。姣英は梅花戒の出所について詰問し、応文は完英との婚約のしるしであることを明かす。姣英は完英の幸せをうらやみ、それに引き替え自分の不運を嘆く。
　完英の不幸に同情している応文を見て駱賓は訝しみ、彼の素性を問いただす。応文は事情を包み隠さず話す。駱賓は応文が自分と旧交のあった亡き王廷貴の息子であることを知って驚き、喜ぶ。そして応文が科挙を受験するために上京できるよう支度を調えさせ、応文は出立する。
　さて、姣英は沈標との結婚を嫌がり、夜中に自殺をはかるが、兄嫁たちによって助けられる。
　沈標は変装して駱府の花園へ潜り込んで様子を窺う。姣英の看病のために花園で遊ぶ機会のなかった侍女たちは、姣英や兄嫁たちに化けて花園で気晴らしをしようとする。姣英に化けた侍女が「結婚の初夜に洞房で酒に酔った沈標を刀で刺してやる」と言っているのを盗み聞きした沈標はびっくりして潼関に急ぎ帰る。沈標の報告を受けて怒り心頭の父はすぐさま婚約破棄の書状をしたため、武官に晋江の駱府へ届けさせる。駱賓は息子の嫁たちと協議し、急ぎ上京する。
　破談になったことで元気を取り戻した姣英は、完英を駱府へ招く。やって来た完英に姣英は自分が贈ったあの梅花戒はどうしたかと尋ねる。嘘をつく完英に、姣英は梅花戒を取

り出して見せ、観念した完英は経緯を語り、梅花戒を贈った応文とはその後連絡が取れないと話す。姣英はそれを聞いて、事情を説明し、応文が科挙のため上京したことを告げ、完英をうらやむ。

唐の朝廷では朝議が開かれ、沈栄は駱賓が勝手に婚約を破棄しようとしたと訴えるが、駱賓は反駁し沈栄が寄越した婚約破棄の書状を証拠として提出する。さらに黒元帥も沈栄の謀叛の企みを示す書状を提出したため、沈栄、沈標父子は辺境へ流罪となる。

さて、考場では吉天祥の監督のもと、試験が実施されていたが、応文は見事な成績で状元となる。もう一人の受験生は下品な解答をして考場からたたきだされる。

皇帝は殿中で叩頭する応文に面を上げさせて、彼が容姿端麗であることを認め、また彼の上奏を許し、楊天標を七品の官、王徳を八品の官、楊完英を二品淑徳夫人とし、さらに皇帝が媒酌人となって駱姣英を一品淑徳夫人として娶らせることとする。

この吉報を得た晋江の駱府では、すぐに楊天標夫婦を招いて状況を語り、ともに喜び合う。応文は寧波の家を訪ね、応文がすでに亡くなっていると思っていた王徳を驚かすとともに、彼のこれまでの恩義に感謝する。

応文はさらに定海県の鄭知県に潮神廟を修理するよう要請する。数日後、修理が完了し応文は参拝して願ほどきをすませる。

駱家の父娘、楊家の親子が定海県の王宅を訪れ、婚儀が執り行われる。

月日が経ち、姣英、完英それぞれの夫人は一男一女を産む。ある日、二夫人は来世のために修行の道に入りたいと話し合う。そこへたまたまやって来た夫にも、はやく俗世と縁を切り修行の道へ入るよう勧める。応文も同意し、任期が満了すると夫婦三人で修行につとめる。

楊天標夫妻も子供たちにならい仏道修行に励み、寿命が尽きると病に苦しむこともなく世を去る。三十年後、太白金星が玉皇大帝の聖旨を持って訪れ、応文は文曲星、姣英、完英は月宮仙女の生まれ変わりであったが、彼らがもとの位に戻ることが許され、彼らの二人の息子たちも皇帝のそばに仕えて出世し、子孫は繁栄した。

２．「双英宝巻」と「梅花戒宝巻」

「双英宝巻」（以下，「双英」と略）は、上本の冒頭に「恭聞双英宝巻名曰梅花戒……」とあるように、「梅花戒宝巻」（以下，「梅花戒」と略）のふたつ名もある。

「梅花戒」については、民国期に出版された石印本が多く存し、これらについては車錫倫『中國寶巻總目』（北京燕山出版社，2000 年，以下『車目』と略）第 176 頁に著録されている（「双英」については第 257 頁に著録）。

また、「梅花戒」の校注本としては、古屋明弘、氷上正、王福堂共編『梅花戒寶巻　影印・翻字・注釈』（中国古籍文化研究所単刊 3　2004 年）があり、同書の氷上正著「解題」でも「梅花戒」の書誌情報が『車目』から転載されているのでここでは取り上げないことにする。

では、「双英」と「梅花戒」は同じ鋳型から作った同一の作品なのかというとそうではない。筆者の見るところ、8 割方は同内容の唱詞や説白であるが、細部にわたっては異同が散見される。唱詞と説白でそれぞれ例を挙げてみる。

双英宝巻上本
〔完〕 咳，我好命苦嚇：
完英無奈便抽身 手執筐籃走出門 將身來到河埠口 只見男兒水中浸
心中發慌紅了臉 慌忙回轉店堂門 關了房門呆了立 〔丑〕 走出媽媽問原因

梅花戒宝巻巻上第 3 葉 a
〔旦〕阿吓，我好苦吓。
完英無奈便抽身 滿面淒涼暗傷心 想起當初在相府 梅香伏侍甚殷勤
今日洗菜來粗做 怎當丫嬛使用人 母親之命難違逆 無奈勉強往外行
手執淘籮筐籃走 玉手尖尖就開門 行來已是河埠口 抬頭只見有人身
滿面含羞紅了臉 慌忙移步退轉身 關門進內呆呆坐 走出楊媽媽問分明

母親の楊媽媽の言いつけで米を研ぎに行く楊完英の不満と、彼女があられのない姿の王応文に出くわして逃げ帰る場面を描写する唱詞である。「双英」、「梅花戒」ともに同系統のテキストに拠っていることは明白であるが、一方で「双英」はかなり唱詞が少なく、これは伝承の過程で省かれたか，欠落したのではないかと考えられる。

双英宝巻上本
〔丫〕 嗄咦，小姐已要發惡亂者，噲，少夫人喂，看小姐 心事勿寧，伢丫頭倒有個主意來帶，勿如開之園門，外面是條小街， 有走索個，嬉罐個，嬉彩瓶個，變大戲法個，起看看街景也好消愁解悶。

梅花戒宝巻巻上第 6 葉ａ
〔雜〕 噲， 夫人。 小姐他有心事， 丫嬛倒有个主意在此。勿如開了園門， 是个小街。鬧中取靜，走索 嬉缸弄罎，多少鬧熱。
看看 也好消愁解悶。

沈標との縁談を嫌がり，気分のすぐれないお嬢様を笑わせるために、侍女が花園から外へ気晴らしに出てはどうかと若夫人に提案するせりふである。両者にやはり若干の相違が見られるが、「双英」のほうが、紹興方言の第一人称複数形式の「伢」、虚詞化した「個」、これまた虚詞の「帶」（近指）など、このケースに限れば口語（方言）をより多く用いていると言える。
これは「双英」が上演本であるために、特にせりふの部分に就いては、絶えずより活き活きとした口語を使用せざるをえないためであろう。
ちなみに、「双英」で呉方言のせりふがあるのは、王徳（王応文の奴僕、但し彼は王応文とは普通話で対話）、王興（王応文の書童）、大衆（観潮時）、漁師の阿二、阿三、白望光（こそ泥）、楊天標、楊媽媽（丑）、駱府の侍女たち、沈標（丑）、科挙の受験者（丑）、婚礼の介添え役であり、節目ごとに彼らが登場し、方言で滑稽なやりとりを展開し場を和ませる働きをしている。
このほか、ストーリーの展開にも関わってくる大きな違いとしては、以下のような個所

が指摘できる。

・祈福の唱詞：「双英」上本

一文無しで放り出された王応文が四つ辻で物乞いをする場面で、「哀求開店開廠老闆們發財銅錢丟幾文」以下、道行く様々な職業、階層の人々に喜捨を請う唱詞が延々と続く。

これとほぼ同様の唱詞が「双状元宝巻」でも見られ、実際に上演される宝巻には予祝芸能としての性格が元来あったと考えられる。「梅花戒」にはこの唱詞は全くないが、石印本として刊行する際に、読み物には不必要ということで削除された可能性が高い。

・沈標が潼関に戻ったあと

「双英」では沈標が怒って潼関に戻った場面のあと、すぐに潼関の沈栄の話に場面が切り替わるが、「梅花戒」では、駱賓と駱姣英がこの問題について相談し、姣英が破談になるのを喜ぶ唱詞がある。「双英」ではここのところに「宣到此處停三回」という句があり、一つの区切りとなっているので、上演時間の都合などで省かれてしまった可能性がある。

・沈栄父子の末路

朝議の場で謀叛の企みを暴かれた平西王沈栄と沈標は、「梅花戒」では「斬首示衆」という結末になるが、「双英」では、めでたい席や葬儀の場でも上演されるため、「死」という結末を忌避し、罪一等を減じて辺境へ流罪という処分になっている。

・試験場の場面

王応文は上京して科挙に応じるが、試験場での試験官とのやりとりなどが「双英」にはあるのに対し、「梅花戒」には何もない。「双状元」にも「双英」とほぼ同じ描写があり、試験官の名前まで同名である。この場面には応文だけでなく道化役も受験生として登場し、笑いを取るところでもある。おそらく紹興の宝巻では欠かせない一幕なのであろう。

・婚礼の介添え役（儐相）

「梅花戒」でも「双英」でも王応文と駱姣英、楊完英が婚礼を挙げる際に介添え役が登場してくるが、「梅花戒」のほうがせりふがかなり少なくなっている。「双英」と似た言い回しは「双状元」にも見られる。これは石印本の「梅花戒」が刊行される時点で、不必要な部分と判断され一部カットされたか、反対に紹興の芸能者が自分と同じ儀式進行役だということで介添え役のせりふを水増ししたかであろう。

・婚礼のあと

「双英」と「梅花戒」では婚礼を挙げたあとの描写に顕著な違いがある。

「梅花戒」のほうが詳しく、二人は応文が夜休む部屋を互いに譲り合い、応文は毎日部屋を変える。父親駱賓は婚礼の１ヶ月後に寧波から上京する。しかしこれらの描写は「双英」には全くない。

・結末（団円）

楊夫妻についてはともに記述があるが、「梅花戒」では駱賓、奴僕の王徳らがどうなったのかは記されていないのに対し、「双英」では駱賓は修行を積んで西天に上り、王徳は天寿を全うしたとある。

また、「梅花戒」では王応文夫妻の間に誕生したのは男の子二人だけだが、「双英」ではそれ以外に娘にも恵まれている。このほか、「梅花戒」では二十年後に太白金星が来るが、「双英」では三十年後となっている。

これらは些細な違いではあるが、「双英」のほうがより「完美」な結末を強調する終わり方となっている。読み物であればこれらは余計な潤色になるが、上演用テキストとしての「双英」では、「雙英寶卷前後四回，恩怨分明，忠孝雙全，大聚團圓，拜謝皇恩天地也。」というコンセプトに合わせた締めくくりとして不自然さはない。

以上、「双英」には紹興で実際に用いられる上演用テキストとして、「梅花戒」とは異なる、上演の〈場〉により相応しい特徴を持ったものと言えるであろう。

３．「双英宝巻」のことばと文体

さらにもう少し詳しく、モノグラム・バイグラム[1]を使って「双英」の文体的特徴を見てみる。

【表１　「双状元宝巻」「双英宝巻」で使用頻度の高い単漢字（上位 30 字）】

	双状元		双英	
1	我	397	來	375
2	人	348	我	281
3	兒	262	人	234
4	來	259	生	225
5	不	206	相	206
6	你	204	一	190
7	一	199	不	188
8	娘	193	小	179
9	是	176	有	178
10	上	162	者	178
11	子	155	姐	173
12	生	152	個	158
13	老	152	得	156
14	有	139	是	142
15	親	137	丫	129
16	心	135	嚇	129
17	家	134	家	129
18	個	120	看	126
19	母	118	到	123
20	日	117	起	122

[1] N-gram のプログラム（極悪氏が morogram の Windows 用実行ファイル）によって使用頻度の高い文字、2 字から構成される語彙を算出している。

21	在	115	你	113
22	爲	111	大	113
23	保	110	子	112
24	見	108	在	111
25	了	105	好	108
26	去	103	心	100
27	大	102	去	99
28	悲	102	花	99
29	到	99	了	97
30	官	98	上	96
字数	17833		19438	

【表 2　「双状元宝巻」「双英宝巻」で使用頻度の高い 2 字熟語（上位 30 語）】

	双状元		双英	
1	状元	69	小姐	105
2	嬸娘	62	相爺	54
3	夫人	54	應文	51
4	今日	45	夫人	49
5	母親	45	相公	44
6	孩兒	44	姑娘	39
7	母子	40	新來	37
8	大人	39	丫環	36
9	天保	38	完英	32
10	親生	38	世子	29
11	我兒	36	曉得	29
12	老爺	33	大姐	28
13	官人	32	小生	27
14	素珍	32	嫂嫂	26
15	萬歲	30	沈標	26
16	不表	29	來者	25
17	兒子	29	七位	24
18	未知	27	不表	24
19	如此	26	媽媽	24
20	媽媽	26	状元	23
21	張媽	26	看潮	23

22	爹爹	26	終身	23
23	先生	25	阿伯	23
24	王爺	25	來到	22
25	老夫	25	花園	21
26	一個	24	姣英	20
27	保佑	24	書童	20
28	瑞祥	24	起者	20
29	娘親	23	梅花	19
30	老身	23	阿囡	19
字数	17833		19438	

単漢字、熟語それぞれ「双英」と「双状元」で共通するものに下線を付している。また、「七位」のような数詞＋量詞である程度固定化された組みあわせや、「來到」のような動詞＋補語もランクから除外しなかった。

単漢字では上位 30 字のうち、19 字が共通しており、使っている字からだけ見ればこの両者はかなり似たタイプの作品と言える。「我」「你」などの人称代名詞や、「一」、「人」、「不」（呉語の作品では「勿」）が上位に来るのは、他のジャンルの作品にも見られる普遍的な傾向である。「双英」で、「相」、「小」、「生」、「姐」、「丫」が上位にランクしているのは、これらが役柄を示す記号がわりに多用されていたということも関係しているが、一方でこれらの役柄のせりふや登場場面がいかに多かったかということも表している。

また、「双状元」では「娘」193 回、「親」137 回、「母」118 回など母子関係に関わる字が多用されたのに対し、「双英」では「娘」は 61 回、「親」は 37 回、「母」に至っては 13 回と少なくなっている。ただ、それに代わるものとして「媽」が専ら熟語で 52 回使われているが、それでも「双状元」には遠く及ばない。

続けて熟語のほうを見てみると、「双状元」、「双英」で共通する語彙は、わずかに「夫人」、「不表」、「媽媽」、「状元」の 4 語しかない。これは、バイグラムを調べると、どうしても自称詞や呼びかけ語が上位に来るため、作品の主題が異なれば、当然これらの言葉も変わるために一致する率が低くなるのではないかと考えられる。

さて、この「双英」の語彙の中でいくつか気付いたことを指摘しておく。

・状元のタイトルはおまけ

「双状元」では「状元」の使用回数がトップの 69 回なのに対し、「双英」ではその三分の一の 23 回と少ない。これは、「双状元」では科挙に及第して母親を救うというのが一つのテーマであり、二人の息子が状元になるということもあって、使用回数が突出したのであろう。それに対して、「双英」では、主人公はもともと天界の神仙であり、最終的な目標は仏道修行を通じて天界復帰を果たすことであるため、状元に「双状元」ほどはウエイトを置かなかったのであろう。

・主役はお嬢さん？

「双状元」で最も使われた語彙が「状元」であり、それがその作品のテーマの一つを表しているのだとすると、「双英」で最も多用されたのは「小姐」であり、「双英」のテーマは駱姣英を軸とした結婚、恋愛問題ということになろう。「双状元」ではランクインしない「終身」（夫婦の間柄）という語彙が繰り返し用いられているという事実も、この推定を裏付けてくれる。もっとも、男性の主人公王応文は立場によって自称詞や呼びかけ語が、「小生」、「相公」、「新來」、「応文」、「状元」、「下官」などめまぐるしく変わっており、やはり本当の主役は彼だという見方ももちろん可能である。

・父と母

「双英」では、駱首相を指す「相爺」が 2 番目に多く用いられているのに対し、「双状元」では、「嬸娘」が第 2 位にランクされているという事実はなかなか興味深い。

「双英」では、主役級の三人のうち、王応文、駱姣英ともに母を亡くしており、明るいキャラクターの楊媽媽を除けば母の影は薄い。その分、娘の縁談の問題で父親が矢面に立ち、悩みを抱えながらいくつもの問題を処理するため、このように頻度が高いのであろう。

・場面の切り替え

両者ともに多用される語彙に「不表」があり、これは場面を切り替える際に使われる言葉で、たいていは「再表」「提表」などと呼応関係を構成する。この特徴は、江蘇の靖江宝巻などにもよく見られるという[2]。

「双英」では、「不表」以外に、「慢表」も使われるので、この二つの語彙と呼応関係をなす言葉を表に整理してみる。

【表 3　「双英宝巻」に見える「不表」「慢表」の呼応関係】

	不表	慢表
再表	9	4
提表	6	0
要表	2	2
另表	2	0
另有	2	0
無	3	1
	24	7

これにより、「不表」「慢表」を使って非常にパターン化されたやり方で、「双英」では少なく見積もっても 32 の場面が作り出されていることがわかる。「双英」は全篇で 2 万字弱であるから、およそ 600 字ごとに場面の転換がある計算になる。また、これを時間で考えると、紹興の宣巻はおよそ 3 時間で一種類の作品を唱っているので、毎分 100 字強のペースで、ほぼ 6 分ごとに違う場面に変わっていくことになる。演劇と違って宣巻はパフォーマンスが全くといっていいほど無く、視覚的刺激に乏しいため、聴衆（読者）を飽きさせないという意味でも、高速の場面転換は非常に効果的と言えよう。

[2] 陸永峰、車錫倫共著『靖江宝巻研究』第 6 章「靖江宝巻的口頭文学特徴（一）」「2. 切

４．「双英宝巻」の物語構造

「双英」の物語がどのようにして作り出されたのかを考える前に、この物語の内容を時系列に沿って場所と登場人物について整理してみよう。

【表４　「双英宝巻」のタイムテーブル】

		寧波	晋江	晋江(楊家)	晋江(駱府)	潼関	京城
1	開場	王応文、王徳					
2	観潮遇難	王応文、王興、潮神、夜叉					
3	救命		阿二、阿三				
4	問路		王応文、老人				
5	盗衣		白望光				
6	救難			楊天標、王応文、楊媽媽、楊完英			
7	求婚			王応文、楊完英			
8	遺棄			楊天標			
9	漂泊			王応文、楊完英			
10	擔憂				駱賓、侍女		
11	悲嘆				駱姣英、嫂、侍女		
12	開顔				駱姣英、侍女、王応文		
13	留仕				駱賓、王応文		
14	引見				嫂、駱姣英、王応文、侍女		
15	圖謀					沈栄、沈標	
16	下榻		沈標、奴僕				
17	接信				駱賓		
18	逼婚		沈標、駱賓				
19	借戒				駱姣英、王応文、		
20	受驚				侍女、王応文、駱姣英		
21	討戒				王応文、駱姣英		
22	認姪				駱賓、王応文		
23	自尽				駱姣英、嫂、侍女		
24	私訪				沈標		
25	喬装				侍女		
26	帰潼				沈標、奴僕		
27	写退書					沈栄、沈標	
28	退婚				家将、駱賓、嫂		
29	質問				駱姣英、楊完		

換套語」pp155-158 参照。

					英、嫂、侍女		
30	朝議						皇帝、沈栄、駱賓、黒元帥
31	進府				駱賓、楊天標、楊媽媽		
32	考場						王応文、吉天祥、挙子
33	見駕						皇帝、王応文
34	回府	王応文、王徳					
35	還願	王応文、鄭知県					
36	婚礼	王応文、駱姣英、楊完英、駱賓、楊天標、楊媽媽、儐相					
37	生子女	王応文、駱姣英、楊完英					
38	求道致仕	王応文、駱姣英、楊完英					
39	同帰原位	太白金星、王応文、駱姣英、楊完英					
40	団円	王徳		楊天標、楊媽媽	駱賓	沈栄、沈標	王公子

この物語の時代は、唐永徽年間（650 年～655 年　高宗）に設定されている。主人公の王応文は天界の文曲星が寧波府定海県の首相王廷貴の息子に生まれ変わったことになっている。

王応文の物語の中での動きを見てみると、2 の「観潮遇難」で故郷寧波を離れ、22 の「認姪」までは、福建省泉州府晋江県の各地を放浪しながら辛酸をなめることになる。そしてそのあとは一旦、物語から姿を消し、32 の「考場」において再び都に登場し、34、35 で故郷寧波に錦を飾ったあと、元月宮の仙女であった駱姣英、楊完英と結婚する。

王応文が晋江県に流されたのは、観潮のときに潮神を冒涜したためであり、その罪を償うためにこのように苦難の旅をしなければならなかった（だからこそ 35 の「還願」の段が存在する）訳であるが、そもそも彼と赤い糸でむすばれていた二人の女性が晋江県にいるために、彼女たちと邂逅するための必然的な流浪の旅であったとも言えよう。

そして王応文とともに重要な役割を果たすのが、駱姣英と楊完英である。王応文が出てこない場面は、沈栄父子を除けば、彼女たちがスポットを浴びる場面が多い[3]。

裕福な名家に育った駱姣英は、かえってそのために皇帝が決めた不幸な婚約によって苦しみ、自殺を図るまで追いつめられる。一方、楊完英は庶民の家の娘として生まれ変わったために、駱姣英とは別の苦しみを味わう。

物語には書き込まれていないが、これらの試練は彼女たちが文曲星とともに下凡するに際して犯した罪と関わりがあり、贖罪の意味もあるのかもしれない。

[3] 南戯の大多数の作品が「一生一旦」であり、生と旦がおのおの主役として複線的に語りの構造を作り出していることを想起させられる。郭英徳著『明清伝奇戯曲文体研究』第 6 章「開放與内斂－明清伝奇戯曲的叙事方式（下）」p294 参照。

通常の才子佳人小説であれば、37 で子宝にも恵まれてめでたしめでたしなのであるが、あらかじめ「天仙下凡」という設定になっているため、引き続き 39 で彼らが帰天する場面が用意される。また 40 の「団円」は蛇足の感が否めないが、宗教芸能である「宝巻」という性格上、みなが仏の道に帰依し成仏するという予定調和の上に物語全体が成り立っているとも考えられる。

さて、この「双英」の物語は何か別の作品に拠って改作されたものなのであろうか。

まず考えられるのは、周縁にある他の演劇や講唱芸能から物語が移植された可能性である。

講唱芸能については、譚正璧、譚尋『弾詞敍録』（上海古籍出版社，1981）、譚正璧、譚尋『木魚歌、潮州歌冊敍録』（書目文献出版者，1982）、譚正璧、譚尋『評弾通考』（中国曲芸出版社，1985）、李豫等编著『中国鼓詞綜目』（山西古籍出版社，2006）、盛志梅『清代弾詞研究』（齊魯書社，2008）などにこれと同名、同内容の作品は著録されていない。

演劇では越劇との関連が容易に予想されるところであるが、趙潔編『新編越劇小戯考』（上海文芸出版社，2003）、銭宏主編『中国越劇大典』（浙江文芸出版社、浙江文芸音像出版社，2006）にも「梅花戒」は収録されていない。ところが、不思議なことに「梅花戒」と題する越劇は存在しており、VCD（浙江音像出版社発行）も発売されている。

それによれば、越劇「梅花戒」の梗概は以下のようである。

貧乏書生の陸国章と武生の周孔通は挙試のため上京するが、宿を取りはぐれ、施家荘の花園でそれぞれ休むことになる。その花園で陸国章と施家の千金、施秀英は出会い、お互いに一目ぼれして、将来を誓い合い、施秀英は陸国章に三百銀両と梅花戒を贈り、侍女に命じて陸国章を案内させ花園から送り出す。周孔通はこの話を暗闇で立ち聞きし、機を見て施秀英の操を汚す。

数ヶ月後、陸国章は状元に及第し、施家に求婚にやってくるが、秀英が身ごもっているのを見て、彼女がすでに別の人に嫁いだと勘違いし、梅花戒を返して去る。秀英は泣きたくても声も出せず、潔白を表すために血書をしたため、梅花戒を呑み込んで死ぬ。侍女の秋江は陸に真相を告げ、陸は血書を読んで後悔するも及ばず、周孔通を捉え法に照らして処し、秀英のために恨みを雪いだ。

「一見鍾情」あり、「姦汚」あり、「雪冤」ありと越劇らしい生々しい作品であるが、残念ながら「双英」や「梅花戒」とは同名異物であり、「双英」に関しては越劇と宝巻との間に直接的な継承関係はないと断じてよかろうと思う。

５．「双英宝巻」の地域性

では、結局「双英」はどこで作られたのであろうか。筆者は「双英」の中の次の 3 点に注目したい。

１）潮神廟（殿）－寧波、泉州、杭州を結ぶもの

王応文が潮神の怒りを買い、夜叉に風で「江」に落とされ、福建泉州府晋江県に流されることから物語が展開していくことはすでに何度も述べた通りであるが、ではこの潮神廟

とはどこにあるのであろうか？

「我在寧波把潮看，因何來到福建城」（王応文）と唱われ、また、王応文が登科後、寧波府定海県の鄭知県に潮神廟を修理するよう要請しているため、作品の中では寧波にある廟と理解してよいであろう。

一方、「梅花戒」ではこの「我在寧波把潮看」句がなく、また「潮神廟」に「八月十八」、「観潮」と来れば、杭州銭塘江の観潮と杭州の東北にある鹽官鎮の海神廟が有名であり、澤田瑞穂博士がこれを杭州にあるものと考えたのはあながち間違いとも言えない[4]。

筆者が想像するに、これは作者や読者、視聴者の中で寧波と杭州の潮神（海神）廟の残像が重なり合ってしまったためではないかと考える。

寧波府定海県の海神廟についてはまだ確認できていないが、寧波の海神廟ではなんと言っても、媽祖が有名である。黄漸蘇氏[5]に拠れば、宋の紹熙 2 年（1191）、すなわち媽祖が「妃」に昇格した翌年、福建の船主、沈法詢が明州（寧波）に最初の天妃宮を建てた（遺跡はいまの市内の華聯商厦の南側にある）。浙東地区の大多数の天后宮はみなこの時期（康熙乾隆）に創建されたもので、寧波市だけでも大小 40 の媽祖廟があるという。また、銭路氏[6]に拠れば、媽祖文化と寧波とのつながりについて、当時、次第に陸路から海上交通にシフトしていくなかで、気象条件などコントロールできないことが多い海路への恐怖心から、福建甫田発祥の外来の神「媽祖」に頼るようになったのだと説明する。

王応文が福建泉州府に流された理由を考えるとき、潮神の怒りに触れて媽祖信仰の伝播ルートを逆戻りし媽祖の故郷（より厳密に言えば泉州府晋江県ではなく興化府甫田県）へ流されたのだと見れば辻褄があう。

しかしながら、澤田博士も杭州の廟と考えられたように、寧波で「観潮」とは到底考えにくい。杭州湾の奥で、かつ銭塘江河口という地理的な条件がそろっているからこそ、昔から「観潮」の名所だったのであり、「双英」の潮神殿は間違いなく海寧の海神廟をイメージしたものと見てよかろう。海寧の潮神として祭られているのは、伍子胥である。銭塘江の怒濤は伍子胥が巻き起こすという伝説があり、夜叉に命じて波に王応文をさらわせる潮神のイメージは伍子胥とぴったりである。

寧波－泉州と、寧波－杭州が媽祖と伍子胥という二人の海神（潮神）と観潮を通じて結びつき、それが多少混乱を生みつつも、この物語の大きな枠組みを形成しているのではないか。

２）楊媽媽の出身地

「双英」の中で具体的に三個所の地名が出てくる。二つはすでに論じてきた浙江寧波府定海県と福建泉州府晋江県であるが、もう一つは、「浙江紹興府山陰県」である。これは、「討之一個家主婆，乃是浙江紹興府山陰縣人氏」（妻を一人娶ったのですが、それが浙江紹興府山陰県の出で……）とあり、楊完英の母、楊媽媽の出身地とされる。なぜ、ここで

---

[4] 澤田瑞穂著『増補寶巻の研究』第 2 部宝巻提要「梅花戒宝巻」p195 参照。

[5] 黄漸蘇「従慶安会館看清中期媽祖文化地域化的演進」（『浙東文化』第 2 輯，上海古籍出版社）所収，pp503-504 参照。

[6] 銭路「慶安会館世媽祖文化」（許勤彪主編『寧波歴史文化二十六講』寧波出版社，2005）所収，p262 参照。

突然、紹興府山陰県という地名を持ち出す必然性があるのだろうか。

そこで、宝巻の作品中にどれくらい具体的な地名が登場するのかを確かめるため、試みに澤田博士の『増補寶巻の研究』の宝巻提要を基に、中国の具体的な地名が記されている82 種類の作品について、出てくる地名を省別に整理したものが以下の表 5 である。提要には作品に見える地名が全て記されているとは限らず、不完全な統計ではあるが、おおまかな傾向を把握するには十分と考える。

これを見ると、浙江の地名が出てくる宝巻は全部で 18 作あり、出てくる地名は 19、これは地名の総数の約 18%に相当し、省別では河南に次ぐ第 2 位である。河南が首位を占めるのは東京（開封）を舞台とする宝巻が多いためであるが、そのなかで江蘇を抑え、2 位となっている事実は目を引く。

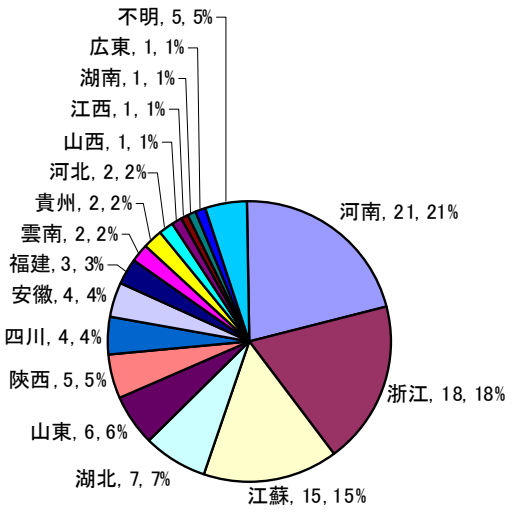
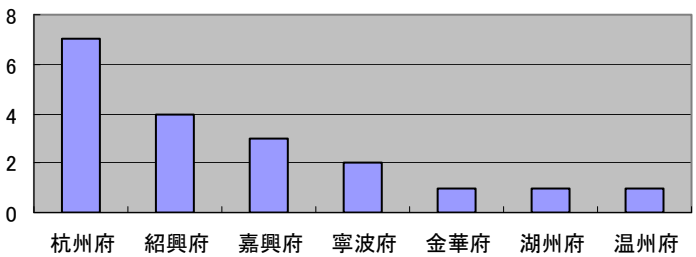


表5　宝巻に見える地名（省別）

浙江の地名をさらに府別に分類したのが以下の表 6 である。

表6　宝巻に見える浙江省の地名（府別）



これらのうち、さらに寧波と紹興に絞って詳しく見てみることにする。

寧波が多少関係してくる作品は、この「双英」（＝「梅花戒」）以外には、普陀山が出てくる「普陀宝巻」しかない。普陀山はもちろん仏教の聖地であるが、宝巻の中では特別な象徴ではなかったようである。

一方、紹興がからむ作品としては、「双英」を除けば以下の通りである。

1. 「烏窩禅師度白侍郎回心向善修行帰西（白侍郎宝巻）」　※ 紹興府李長者が登場。
2. 「英台宝巻」　※梁山伯の出身地が紹興府諸暨県（祝英台は越洲会稽杏花村出身）。
3. 「歓喜宝巻」　※紹興顕聖寺湛然和尚は実在の人物（澤田瑞穂）。
4. 「百花台宝巻」　※紹興府山陰県の莫桂が登場。

典型的な物語宝巻である「英台宝巻」や、弾詞に基づくと推定される「百花台宝巻」は、特に「紹興」ということに特別な意味を付与している訳ではないかもしれない。

しかしながら、1 の「白侍郎宝巻」では羅漢の提那が紹興府李長者に「投胎」するという設定であり、また澤田博士が考証するように烏窠道林禅師が杭州秦望山の松の上に棲んだことが『景徳伝燈録』巻 4 に見えることから、仏教の盛んなこの地名をあえて出したのに違いない。3 の「歓喜宝巻」においても、陳善という漁夫が紹興で修行し、かつ紹興顕聖寺の明末に実在した人物、湛然和尚に師事したことになっており、ここでも紹興は仏教との関わりを示唆していると考えられる。

楊媽媽は最後には、「楊天標夫婦，見兒婿們修行，也覺回心轉意，同修佛道，壽數已盡，無疾歸天。」という結末を迎える。この「双英」が紹興で成立したのだとすれば、紹興の婦人たちに仏教の功徳を説く際、楊媽媽の物語は共感を以て受け止められたことであろう。

3）鳳陽婆

鳳陽婆とは、鳳陽花鼓という楽器を用いる女性の遊芸人を指す。鳳陽花鼓は同時に芸能のジャンル名でもあり、安徽鳳陽に由来するものと言われ、女性が花鼓、男性が小鐘鑼をもち、民間小曲を歌いながら物乞いをする。

蔡湘江氏の研究[7]に拠れば、「《打花鼓》は泉州鯉城、晋江、南安、徳化などの地に流行し、宋代に北方の移民が泉州にもたらしたものと伝えられる。《打花鼓》と北方の《鳳陽花鼓》は演技についてはだいたい同じものである。」とある。これによれば、北方の移民によって泉州にもたらされたものが鳳陽花鼓であるとは書いていないが、演技が同じものであるので、似通った芸能と見てよいであろう。

「双英」では、女物の服を着た王応文は、楊天標から「鳳陽婆」扱いされ、虎の出る山に棄てられる。外地からやって来た遊芸人がまともな扱いを受けていなかったことが推し量られるのと同時に、泉州と安徽など北方との芸能を通じた交流を伺い知ることができ、興味深い。

６．結びにかえて

以上、「双英」をめぐる諸問題について論じてきたが、「双英」を神々の物語として見た場合、文曲星たちが地上に流されて試練を味わい,最後には天に帰るという構造を持って

---

[7] 蔡湘江著『泉州民間舞踏』（福建人民出版社，2006）「打花鼓」p159 参照。

おり、神話や民間伝説、そして宝巻などでもお馴染みのパターンと言えよう[8]。最後に太白金星が登場するのも、「双英」「双状元」や多くの宝巻に共通するお約束である。

また、「双英」から人間、特に若い男女の愛情をめぐる物語を読み取ることも可能である。 明清の伝奇の中で「風情類」と分類される作品群について、田仲一成氏は「男女の愛情を主題とした戯曲。このテーマは普遍的なもので、特に平素、忍従を強いられている宗族社会の女性観客の間において、もっとも人気の高いものであった。」と男女の愛を主題とする作品群が女性たちの支持を得ていたことを指摘するが[9]、「双英」もこの「風情類」の性格をそなえている。

「双英」がいったいどのように作られたのかについてはまだ明らかにし得ていないが、主人公の死（自死、仮死）と蘇生、主人公が状元になる結末、仏道修行に励んで帰天する話、一夫多婦の団円などの話柄は多くの宝巻に見られ、これらの基本的な要素をどこからか借用してきたのであろう。主人公が奴僕に身をやつし、ヒロインと出会う話も「沈香扇宝巻」や「双珠鳳宝巻」などに見えることから、やはり他の作品から趣向を借りてきた可能性がある。

しかし、仏法を説く宝巻でありながら、潮神信仰を背景とする物語の展開は異彩を放っており、もともと（どこの地域のという問題はさておいて）潮神廟という民間信仰の磁力が作用する場で生み出されたものだったかもしれない。（完）

---

[8] 靖江宝巻では、神仙の物語は、神仙下凡－修行－証道－顕聖という流れを辿り、神仙と彼らの法術はその中で情節を動かす重要な要素であるという指摘がある。注 2 前掲書 pp160-183 参照。

[9] 田仲一成著『明清の戯曲』第 6 章「社祭演劇における宗族の戯曲選好」第 5 節「風情類」pp223-224 参照。

雙英卷 上本

上田 望　施 凱盛　林 志英 校訂

雙英寶卷初展開 恭請神聖降壇前

善男信女虔誠聽 增福延壽永無災

恭聞雙英寶卷名曰梅花戒，出在大唐永徽年間，提表浙江省，寧波府，定海縣，卻説一人。生[1] 小生姓王名應文，在年二八，父親廷貴，在日官居首相，母親張氏，誥受皇封，不幸雙親去世，單生[2]小生一人，幸喜身入黌門[3]，這也不在話下，且喜家財豪實、田園廣闊，小生立志攻書，不能上達，心中煩悶，想今日那是八月十八大潮日期，不免去到江邊看潮一回，待我與王德説明而去，王德哪[4]裏？ 外 來了。忽聽相公叫，上前問分曉，相公在上，老奴叩頭。 生 起來。 外 叫老奴出來有何吩咐？ 生 叫你出來非爲別事，今日大潮日期，我意欲要到江邊看潮一回。 外 嚇，相公，本該不去才好，想相公未曾見過潮水，況且終[5]日愁悶書房，就去看看倒[6]也使得，須要早去早回，以

---

[1]角色符號，均係原有，非校注者所加。

[2]“生”字，似有誤。石印本『繪圖梅花戒寶卷』（古屋明弘、氷上正、王福堂共編『梅花戒寶卷』、中国古籍文化研究所单刊 3，中国古籍文化研究所，2004，以下簡稱石印本）(第 1 頁)云: “單留小生一人”。

[3]黌門，學校也。原寫作“洪門”，同音而誤。石印本作“身入黌門”，今正。

[4]“哪”，原寫作“那”，今正，下同。

[5]“終”，原寫作“緫”。 石印本作“終”，今正。

[6]“倒”，原寫作“到”，以意正。

免老奴在家懸念。 生 這個自然，王興隨我往江邊一走。 淨[7] 嘔，曉得者。

生 應文移步出門庭 興 王興書童隨後跟

生 路上行人多熱鬧 人挨人擠鬧盈盈

老人扶杖緩緩走 年少力壯向前行

不覺來到大江邊 興 書童啓口把話論

喂，相公，江邊到者，看潮時辰還勿到，偌[8]到潮神殿[9]去遊玩遊玩，才話[10]潮頭起來者，我會來嘔[11]偌個。 生 如此你在此等候，我到廟內去遊玩一番便了。 興 嘔。

生 應文進了潮神殿 只聽男女許多言

觀看神前多供奉 人人許願與求簽[12]

潮神菩薩何靈感[13] 盡是泥塑木雕全[14]

內中必定有緣故[15] 請出廟祝問原因

廟祝哪裏？ 什 來者來者，相公叫貧道出來有何吩咐？ 生 我來問你，潮殿大王有何靈驗，百姓們因何如此誠敬？ 什 啓稟相公，潮神大王十分靈驗，求男得男，求女得女，故而善男信女都來叩求許願[16]。

---

[7]“淨”，原寫作“⿱乎中”，以意正。下同。淨，按下文疑當作“興”。

[8]偌，第二人稱，指你。紹興方言。或作諾。紹興越城地區第二人稱一百多年不斷變化。請參看吳子慧《吳越文化視野中的紹興方言研究》(浙江大學出版社，2007 年，以下簡稱《紹興方言研究》)第 70 頁。

[9]“殿”，原寫作“⿸尸⿱乎心”，以意正。下同。

[10]才話，如果。吳方言。

[11]嘔，動詞。叫，喊。

[12]“簽”，原寫作“千”，今正。

[13]“感”，原寫作“⿱乎心”，今正。

[14]“全”字，疑有誤。石印本作“裝”（第 1 頁）。

[15]“故”，原寫作“古⿱乎心”，以意正。下同。

[16]“願”，原寫作“⿸尸元”，今正。下同。

生 有這等事來？嗄，可惱可惱，想神明也貪人願，非是真神也。

應文聽説氣咆哮 兩太陽中火直冒

官府貪贓[17]該有罪 何況神聖掌天曹

小生有日功名就 就將此事奏當朝

管叫泥身來拆毁 又將大殿火來燒

正在廟中重重[18]怒 興 王興書童叫看潮

喂，相公，潮來者快，看潮起[19]者。生 邪神嚇邪神，待我看潮以後，再來訓誨與你。 興 噲，相公，伊是[20]泥塑木雕個，罵他也是無用個。

生 唲，狗才多講，我們看潮去吧。 興 嘔，曉得。

生 主僕雙雙出廟門 觀看潮頭密[21]層層

不表應文看潮事 提表神聖顯威靈

手執生死簿，坐起攝魂臺，兼理民間事，執掌我爲先，吾乃潮神是也。奉玉帝勅旨，執掌三界，上管風雲雷雨，中察水府神祇，下詢民間禍福，夫妻姻緣，這也不在話下，今有王應文在吾殿下，褻瀆吾神，實在[22]可惱[23]，若不顯聖，他哪曉得吾神靈驗，嚇，想王應文乃是文曲星君下凡，他的姻緣落在福建泉州府，不免喚出夜叉，夜叉何在？ 鬼在。 神 今有王應[24]文乃是文曲星下凡，你將他隨潮帶到福建泉州府

---

[17] “贓”字，原寫作“桩”。石印本作“贓” （第 2 頁），今正。
[18] “重重”，疑有誤。石印本作“冲冲” （第 2 頁）。
[19] “起”字，疑當作“去”，按吳方言中“去”與“起”同音，不分處頗多。
[20] “是”，原寫作“實”，今正。 石印本作“他乃是個” （第 2 頁）。因“實” “是”音近而誤。
[21] “密”，原寫作“蜜”，今正。
[22] “在”，原寫作“才”。吳方言″才″與″在″同音，今正。
[23] “惱”，原寫作“腦”，今正。下同。
[24] “應”，原寫作“英”， 同音而誤，今正。下同。

晉江縣地界，身落沙灘，不准傷他性命，速來復旨。 鬼 領[25]法旨。

慢[26]表潮神安[27]排定 生 再表書生王應文

站立江邊來觀看 遠望潮頭白如銀[28]

鬼 夜叉一陣狂風起 將他吹落江中心

生 應文身在波浪內 隨波逐流不知情

興 王興唬得魂飛散 救命救命叫連聲

嚇勿[29]好者，嚇勿好者，岸上衆位叔叔伯伯噲，我裏相公翻[30]落海裏者，被潮水汆[31]得起者，求求衆位大叔救救，若還救起重重有賞。 眾 呸，介[32]個大江之中，海浪滔滔，如何救得，救勿起個，救勿起個。 興 嚇，相公噯，嚇，相公噯，嚇，且住，想我在此啼也是枉然，還是報與王伯知道便了。

王興啼哭轉[33]回程[34] 報與王伯伯得知情

一徑[35]來到府門者 王伯伯王伯伯叫連聲

王伯伯，王伯伯，勿好者，勿好者。 外 爲何？ 興 相公看潮被潮水汆得起者。 外 你待怎講。 興 相公被潮水汆得起者。 外 當真[36]？ 興 當真。 外 果然？ 興 果然。 外 嚇喲！ 興 王伯伯蘇醒蘇醒。

---

[25]“領”，原寫作“令”。石印本作“領法旨”（第 2 頁），今正。
[26]“慢”，原寫作“曼”。石印本作“慢表潮神安排定”（第 2 頁），今正。下同。
[27]“安”，原寫作“按”。石印本作“慢表潮神安排定”（第 2 頁），今正。下同。
[28]“銀”，原寫作“艮”。石印本作“白如銀”（第 2 頁），今正。下同。
[29]勿，不。紹興方言。
[30]“翻”，原寫作“番”，今正。
[31]汆，紹興的俗字。人、物浮在水上，或人、物被大水冲走。（《紹興方言研究》第 272 頁）。
[32]介，指代詞，這麼。紹興方言。
[33]“占”，義不通。石印本作“轉” （第 2 頁），今正。紹興方言中“占”與“轉”音同，疑爲方便而用“占”字。下同。
[34]“程”，原寫作“呈”，今正。下同。
[35]“徑”，原寫作“經”。 石印本作“一徑來到家門首”（第 2 頁），今正。
[36]“當真”，原寫作“當正”。據石印本正。下同。

外 嚇，

不好了：

聽得此言魂膽驚 相公淹死好傷心

曾記相爺托咐我 叫我撫養小主人

不該今日看潮去 皆因老奴少主心

誰知看潮起禍端 主僕頃刻兩離分

想你王門香火何人接 老奴枉費[37]一片心

思想情由心悲泣 啼啼哭哭叫主人

且住，想我相公身傷[38]潮中，待我去到江邊，收其屍首歸家，王興隨我來。 興 嘔。

帶了王興往前行 一路啼哭到江邊

觀看屍首無蹤跡 心中好似滾油煎

相公呀你好好在家攻書讀 乃曉看潮傷黃泉

哭罷無奈回身轉 設立魂牌在廳前

早供茶飯夜供水 孤單寂寞淚連連

不表王德老頭事 鬼 再表夜叉來復旨

進殿報與大王曉 神 潮神大王笑開顏

不表浙江潮神事 二 另表福建捕魚人

一生無活計 三 柯[39]魚當生意 二 但願生意好 三 勿會餓肚皮 二 今朝潮頭退 三 大家柯魚起 二 大魚柯一條 三 大家笑喜喜

---

[37] “費”，原寫作“弗”，今正。下同。
[38] “傷”字，俟校。疑當作“喪”，因音同而誤。
[39] “柯”，抓。（《紹興方言研究》第 115 頁）。石印本云“捕魚做生意”（第 3 頁）。

二 我叫王阿二。三 我叫王阿三。喂，阿哥，今朝是八月十八大潮[40]汛，潮頭退者，伢[41]柯潮頭魚起者。二 好阿弟讓來扎網，儂起搖船，阿弟對面匯水塘裏有個大漩渦[42]帶[43]，一定有大魚冬[44]，讓我來扎一網，來帶[45]者着力抽起來，喂，阿弟勿對，勿是魚，是個人。 三 阿哥甩落起、甩落起。 二 阿弟，有句話："人命關天。"才話好[46]救，救伊活來，能造福萬代，我看伊個人，手裏個脈還來帶跳來，伢不伊沙灘裏起拖起吭[47]。 三 嘔，我劃過起。 二 伢把伊拖起沙灘，一定爲[48]活個，拖來拖起帶者，伢還是再柯魚起。

不表兄弟兩人柯魚起 生 再表應文來蘇醒

睜開雙目來觀看 猶如夢中一般形

嚇，且住，想我明明在寧波看潮，因何來到沙灘之上？身上盡是咸水泥沙，看那旁有位老人家在此，待我前去問來，前面老丈請了。 淨 請了。生 我要借問一聲，此地什麼地方？ 淨 此地是福建泉州府晉江縣地界，往這裡進去，就是西門了。生 承蒙老丈指教。 淨 好説。生 嚇，且住，我明明記得在寧波看潮，因何來到福建地界，這又[49]奇了。

---

[40]"潮"，原寫作"朝"，今正。

[41]伢，紹興方言。複數第一人稱，己方。即我們。參看楊葳、楊乃浚編著《紹興方言》(國際文化出版公司，2000 年，以下簡稱《紹興方言》)第 203 頁。

[42]"漩渦，原寫作"旋窩"，今正。

[43]帶，助詞。紹興方言。

[44]冬，猶寫咚，用於句末作語氣助詞。有時與"哉"連用。(《紹興方言》第 21 頁)

[45]來帶，這裡。紹興方言。(《紹興方言》第 21 頁)

[46]好，可以，能。吳方言。參看吳連生等編著《吳方言詞典》(漢語大詞典出版社，1995 年)第 191 頁。

[47]吭，待考。根據整句話的意思，應該爲句末語氣詞，發音爲"杭"，表示徵求對方意見。

[48]"爲"字，似當作"會"，因音同而誤。待校。

[49]"又"，原寫作"有"，今正。

我在寧波把潮看 因何來到福建城

莫非我把潮神罵 難道神聖顯威靈

將我滚到泉州地 神聖護佑命留存

雙膝跪在塵埃地 深深四拜告神明

保佑弟子回家轉 重修廟宇佛裝金

且住，想我身上盡是咸水泥沙，看前面有條清水小河，看四下無人，待我將衣衫脫下，趁着紅日當空，將衣衫曬在橋上，等到曬燥，穿着再走，待我來脫下衣衫便了。

應文即便脫衣衿 曬在橋邊去洗身

不表應文來洗身 白 卷中另有不良人

我做偷兒本事高，剪綹挖包勿用刀，偷來銀[50]子撒在腰，吃酒吃肉勿匯鈔、勿匯鈔，自家非別，白望光便是，想我爹娘遺落帶家當嘒[51]有勿少，被我今朝賭，明朝嫖，弄得滑禿精光[52]，昨日子又輸得一票，我終[53]究起[54]弄些生意來個，好做反賭本錢，咦，望帶過起，萬年橋高頭[55]，有簇嶄全新[56]衣裳曬帶，一定是老天爺菩薩道我銀子輸光者，來不[57]我做賭本個，仰[58]我走帶過起，拿得伊來是者。王 嚇，妙呀，好清水，好快活。白 嗐，葛息辰光[59]，偌倒[60]快活。停息要不[61]偌勿

---

[50]“銀”，原寫作“艮”，今正。

[51]“嘒”，待考。疑當寫作“也”。吳方言中，表示“也”字意思的有兩種發音，一與“野”同，另一則與“鞋”字音同，疑因此用此俗字，以示發音。

[52]滑禿精光，石印本作“滑撻精光”。石印本注云(第 4 頁)：“一點兒也不剩下”。

[53]“終”，原寫作“緫”，今正。下同。

[54]起，去。

[55]高頭，上面。

[56]簇嶄全新，俗語。非常新。(《吳方言詞典》第 586 頁）。

[57]不，與“撥”同，介詞，給，吳方言。

[58]仰，石印本注云：“仰，讓”。

[59]“葛息辰光”，石印本作“介个時光”，石印本注云(第 4 頁)：“這樣的時候”。

快活者。生 岸上你位仁兄，這套衣服是我的，你勿要動它，曬燥我要穿的。白 偌好穿，我也好穿個。生 你莫非是賊？白 賊倒勿是[62]賊，不過是個三隻手[63]，我戲賭輸極者，問偌借借，做做賭本，贏來還偌是者。生 嚇不好了。

白 偌落[64]勿好，我落曼[65]好，我拕[66]得起末是者[67]？

望光拕衣喜歡欣 走到賭場來反本

不表望光賭場事 生 再表應文好傷情

可恨賊子傷良心 害得我出身露体難見人

只見前面有河埠 速速前去求救星

不表應文河埠浸 天 另表天標當場人

門前高掛三尺布，飄來飄起招顧主，舊年做得十缸酒[68]，倒有九缸酸如醋，自家非別，楊天標便是。一向住在福建泉州府晉江縣，討之[69]一個家主婆，乃是浙江紹興府山陰縣人氏，夫妻倆[70]介頭[71]指望生個白白胖胖倪子，大起來好替我做做廚房、跑跑店堂，乃[72]曉得介主婆肚皮勿漲氣[73]，生得個囡爿爿[74]，我想太人家生個囡倒勿要緊，吶[75]縂經

---

[60]“倒”，原寫作“到”，今正。
[61]不，與“撥”同。
[62]“是”，原寫作“實”，今正。
[63]三隻手。猶云充手。指扒手。紹興方言。
[64]落，語氣助詞，用來舒緩語氣，引出下文。此句意爲:你呢，不好，我呢，蠻好的。
[65]“曼”應作“滿”，或作“蠻”。待考。
[66]拕，拿。
[67]是者，與“是哉”同，句末語氣詞。
[68]“酒”，原寫作“氿”，今正。
[69]之，石印本注云(第 5 頁):“之，了”。
[70]“倆”，原寫作“兩”，今正。
[71]倆（兩）介頭，兩個，尤指關係親密者。
[72]乃，哪兒。紹興方言。
[73]漲氣，爭氣。音同而用別字。
[74]囡爿爿，對女孩子的蔑稱。

濟人我生個囡，直腳完者，所以我不伢阿囡取名叫阿完，我在駱相府隔壁開爿[76]飯堂，生意倒也勿息[77]，相府有七位少爺在京裏做官，家裏有七位少夫人，還有一位小姐，常來遊玩花園，我個家主婆嘴口生得活動，問長問短，一走二走相府拕來走熟者，葛位小姐見[illegible]阿囡有幾分齊正，留在相府陪伴陪伴，問[illegible]阿囡有多少年紀，叫啥[78]個名字？[illegible]阿囡話，叫阿完，今年有十六歲者，小姐話者，大姑娘叫阿完，難聽個，小姐話，完字下底加個英字，嘔起就好聽者，小姐話我個名字叫姣英，嚱兩個都是[79]英，變成雙英，不如結拜姐妹，同小姐同吃同住，同學針線，外加同學文章，我裏阿囡前日子居來者，駱小姐送伊滿房擺設，樣樣齊全，真真有緣，看得[illegible]阿囡也斯文一脈者，人品生得越加漂亮者，究得人家還勿許，媒人先生門檻都要踏斷者。正是乃高來勿配，低來勿對，我話阿囡噲要不偌住大門者[80]，閒話少說，天已經昰[81]者，讓我要做昰時面者[82]，嘔伢家主婆淘米洗菜[83]起者，阿完拉個娘噲，天已經昰者，偌好淘米洗菜起者。丑 偌個老冤家，我剛剛搖得盆水來帶洗腳，嘔我乃葛立得起，還是嘔[illegible]阿囡起，阿囡噲。

---

[75] “[illegible]”，俗字。我，我們，我的，我這個。應是與“外”讀音相近之字，此處應為紹興方言中第一人稱複數或第一人稱作定語時的發音。紹興方言的“捱”（第一人稱複數代詞），發音與“外”同。

[76]紹興方言的量詞。工廠、商店一家叫一爿。（《紹興方言》第 308 頁）

[77]石印本注云(第 5 頁)：“勿息，不錯”。

[78] “啥”，原寫作“舍”，今正。下同。

[79] “是”，原寫作“實”，今正。

[80]我話，意爲“我說”，不，與“撥”同，整句可理解爲：阿囡啊，要給你住大門了。大門，在紹興方言中的含義不明。

[81]昰，石印本注云(第 5 頁)：“昰，晏的誤寫”。

[82]此句疑有誤。時面應爲“市面”，此處乃指“晏市面”，晚上的生意。石印本作“要做昰市哉”。

[83] “菜”，原寫作“[illegible]”，今正。下同。

完 噯則啥[84]？ 丑 阿囡噲做娘個剛剛舀得盆水來帶[85]洗腳，乃爹嘔我要淘米洗菜起者，我一時立勿起，偌代娘個去洗洗來。 完 女兒曉得，嚇苦嚇。 丑 偌應來帶應眼裏水[86]脫脫，葛來帶[87]流出來者。 完 咳，我好命苦嚇：

完英無奈便抽身 手執筐籃走出門

將身來到河埠口 只見男兒水中浸

心中發慌紅了臉 慌忙回轉[88]店堂門

關了房門呆了立 丑 走出媽媽問原因

阿囡偌淘米洗菜奈葛咚者 完 母親外面有這個。 丑 這個乃個，偌河沿頭淘米洗菜到勿起，屁股朝得裏，臉孔紅一陣白一陣，實介立帶咚[89]，難道米會得白個？菜會得清爽個？ 完 母親外面有。 丑 有啥個東西咚，做娘個來看。 王 苦嚇。 丑 呸，有偌個小賊骨頭帶來，白條條葛別我個河埠頭浸帶咚來咚則啥[90]？難怪**吶**阿囡要逃進來者，我老太婆都難看殺者。 生 嚇，媽媽，小生一言難盡。 丑 呵偌來咚摸面眼鏡。 生 嚇，我一言難盡。 丑[91] 介偌道話話看。 生 嚇，媽媽嚇：

媽媽在上聽原因 小生一一告知聞

我住浙江寧波府 定海縣內王家門

爹爹名叫王廷貴 官居極品在朝庭

---

[84]則啥，做啥。
[85]來帶，副詞，正在。
[86]眼裏水，眼淚。
[87]來帶，正在。
[88]“轉”，原寫作“占”，以意正。
[89]此句石印本作“寔個立帶”。注云(第 5 頁)：“寔個，這樣。立帶，站著”
[90]此句義未詳。待考。
[91]原缺“丑”字。今補。

爹娘不生多男子 單生小生一個人

今年年方十六春 三字名叫王應文

丑 媽媽啓口來動問 你光着身体爲何因

小書生既然你是寧波定海縣人氏，又是官家之子，怎麼會來到福建呢？ 生 嚇，媽媽有所未知，只因我看潮失水，洗盡衣服，曬在橋上，被賊子偷去了，還望媽媽發發慈悲，相救于我，日後圖報大恩。 丑 介末偌來帶，我起拕得衣裳來。 生 多謝媽媽。 丑 嚇喲，想**吽**老老野貓過世，究得一張皮個，有者有者，我有件古老十八代個海青咚，褲末究得我條布裙，仰伊繫繫，我還有一雙閙堂鞋，嘔伊拖拖，咳者，喂，阿囡。 完 母親。 丑 河渠頭是[92]個宰相公子，做娘個要起救得起來者，究得救帶進來，嘔伊囃裏頭坐坐呢。 完 母親房中。 丑 我個房裏，乃爹穿進穿出咚走，還是到偌個房裏起坐坐。完 女兒房中如何使得？ 丑 阿囡呀，做好事怕伊啥，仰我起救得進來是者。

媽媽拿衣到河沿 擡頭見了後生面

即忙啓口把後生叫喏快快穿衣進內邊

喂，小後生，喏可動蹲冬冬，立起來實難看各，喏葛條布裙繫帶冬，海青披帶冬，鞋末拖帶冬。 生 多謝媽媽，請媽媽站過一邊，小生上岸來了。

應文上岸便穿衣 一條布裙當褲繫

同了媽媽來行走 進門即便忙施禮

媽媽在上小生奉揖。丑 相公勿敢勿敢，喏河裏浸得冷殺咚者，快快

---

[92] “是”，原寫作“實”，今正。

到外阿囡房裏坐坐。停息[93]我搬酒飯來，仰喏吃得熱落落[94]好走。 生 多謝媽媽了。

丑 媽媽說罷到店堂 生 王應文移步入内房

只見擺設多精雅 四面團團掛斗方

兩邊四把象牙椅 楠木茶几分兩旁

上方一張春臺桌 四大美女掛中堂

西施溪水把紗浣[95] 貂蟬拜月咒奸黨

心悶醉酒楊貴妃 昭君出塞[96]號淒惶[97]

一副[98]對聯分左右 古人提詩有名堂

左寫偶落花千點 右寫飛舞蝶成雙

楠木妝[99]台窗前擺 紫檀[100]鏡架水磨光

桂花床岩[101]秋羅帳 白銅帳鈎[102]掛香囊

銀紅夾被鑲金緞[103] 鴛鴦花枕遠芬芳

應文看罷多歡悅 滿房擺設不尋常

嚇妙嚇，我道平常之家，原來擺設如此幽雅，且住，有現成床帳在此，想我身子困倦，不免待我下帳安睡片刻便了。

應文安睡養精神 心中暗暗喜十分

---

[93]“停”，原寫作“仃”，今正。石印本注云(第 6 頁)：“停息，過一會。”。
[94]“熱落落”，亦作“熱絡絡”。
[95]“浣”，原寫作“綄”，今正。
[96]“塞”，原寫作“寨”，今正。
[97]“惶”，原寫作“偟”，今正。
[98]“副”，原寫作“付”，今正。
[99]“妝”，原寫作“樁”，今正。
[100]“檀”，原寫作“枟”，今正。
[101]“岩”，義不通。或改作“沿”。待校。石印本(第 7 頁)作“葵花床內”。
[102]“鈎”，原寫作“勾”，今正。
[103]“緞”，原寫作“段”，今正。

慢[104]表書生安睡事　丑　再表楊媽叫完英

阿囡噲，喏四盤一湯、酒一壺、飯菜一桶，偌搬得進起，仰伊吃得好走。完　女兒不去。丑　做好事怕伊啥？標　阿完賴娘噲，快快來收銅錢者。丑　嘔，阿囡喏快快搬得進去，做娘個要到店堂裏收銅錢起者。

媽媽說罷走匆匆　完　完英送飯滿臉紅

無奈搬進房中去　嚇不見書生王相公

只見羅帳來放下　想必安睡奴床中

奴也不顧羞和恥　勉[105]強起口叫相公

相公起來請用酒飯了。　生　啊啊，我道是誰，原來是一位大姐，嚇，大姐，小生多多失禮了。　完　好説好説。

生　應文起身坐床沿　只見大姐美嬌[106]顔

今日小生多失禮　身子困倦在床眠

多虧媽媽來相救　又勞大姐費心田

嚇，大姐小生奉揖。　完　奴家有禮奉還，請問相公，府居何處？尊姓大名？乞道其詳。　生　大姐聽道：

家住在　浙江省　寧波府内

我爹爹　王廷貴　身居極品

難生[107]我　十六春　取名應文

只因爲　去看潮　寧波失水

蒙蒼天　飄到此　不傷殘身

---

[104]“慢”，原寫作“曼”，今正。
[105]“勉”，原寫作“免”，今正。下同。
[106]“嬌”，原寫作“喬”，今正。
[107]難生，石印本注(第 7 頁)云：“遇難的人，應文自稱。”。

虧大姐 送酒飯 難報你恩

嚇大姐，難生多虧媽媽相救，承蒙大姐送飯，此恩日後圖報，請問大姐芳名，方才救我的乃位恩媽媽是你大姐何人？完 相公聽道：

完英姑娘說原因 就把相公叫一聲

相公嚇爹爹名叫楊天標 開爿飯店過時光

救你之人非別個 就是奴的老娘親

若要問我奴的名 三字名叫楊完英

生 應文聽說暗思忖 好位大姐伶俐人

我把大姐看靈清 容貌堂堂無批評

頭上青絲烏雲照 蟠龍結上放光明

眉似春天柳初放 一雙秋波水淋淋

小腳金蓮長三寸 猶如仙女下凡塵

應文正在呆呆看 完英偷偷看書生

我把書生看端正 一表人才美少年

相貌堂堂多英俊 眉清目秀一書生

天庭飽滿世無雙 好似潘安轉還魂

羞羞答答相公叫 快請相公酒飯吞

生 多謝大姐 嚇，大姐 小生有言不敢啓齒。完 相公但說何妨。生 嚇，大姐，小生多蒙你們母女相救，感恩非淺，意欲與你結爲百年偕伴，望大姐應允。完 嚇，相公嚇：

你是官家豪門後 奴是貧我女釵裙

相公前程多錦繡 奴家不敢許終身

生 大姐嚇小生不是負心漢 大姐只管放寬心

大姐若是不信，小生就可對天盟誓也。

雙膝跪在地埃塵 祝告乃過往神聖在上聽

我與完英定終身 海枯石爛不變心

小生若還負完英 五雷擊頂不超生

完 相公言重了：

相公嚇，今日與你終身訂 奴家無物來相贈

奴有一隻梅花戒 送你王生作爲聘

生 應[108]文接戒心歡喜 多謝大姐許終身

小生有日功名就 鳳[109]冠霞帔報你恩

不表私訂終身事 標 提表天標叫完英

阿完 完 爹爹，啥事体？

標 我有筆帳，偌來撥[110]我寫寫咚帳簿裏。 完 女兒等息[111]來寫。 標 咳，還是[112]快些來寫，做爹個記心曼曼，息個等息[113]要忘記個。偌筆墨紙硯拕得來，快些來寫。 完 筆墨紙硯在女兒房中，待女兒到房中去拿來。標 仰我起拕起，偌腳迷迷小[114]葛，跌得跤要討債者[115]。完 爹爹你年紀老了，還是女兒去拿好。標 仰我起。完 女兒去。標 偌話偌起，我話我起，偌個房裏有啥個古董寶貝？ 哼，勿許做爹個走進

---

[108]“應”，原寫作“英”，今正。
[109]“鳳”，原寫作“風”，今正。下同。
[110]“撥”，介詞。《紹興方言》(第 23 頁)云：“‘撥’有時可作動詞用，相當於‘給’”。
[111]等息，與“停息”同，等一會，過一會兒。
[112]“是”，原寫作“實”，今正。
[113]等息，待查。
[114]迷迷小，形容很小，極小。
[115]討債，麻煩；槽糕。參看李榮主編《寧波方言詞典》(江蘇教育出版社，1997 年)第 78 頁。此句意爲：要是跌了一腳，就麻煩了。

起，我今朝偏偏要走帶進起帶來，喂，青天大白日，帳子爲啥勿上起，仰我來上起，喂，棉被都勿折好[116]，還動動來帶動，我揭帶開來看看帶來，嚇，我道啥西，乃曉得還是個鳳陽婆[117]，介個小花娘帶來，我道葛兩日，米介勿禁吃者[118]，柴介勿禁燒者，都不葛個鳳陽婆吃光個，我今朝勿來打喏，也勿來罵喏，東門外青山高頭老虎來咚作亂，仰我來背得伊起，飼老虎起末罷者。

楊天標拉住鳳陽婆　上前一把緊緊拖

將伊背出房門外　高聲大罵老乞婆

房裏關得鳳陽婆　偏偏做弄我老人家

急急忙忙背了走　丑　楊媽一見淚如梭

完　完英此刻難分捨　有口難言沒奈何

噯王生王生　丑　嚇，阿囡，介好個宰相公子，不葛老冤家當鳳陽婆，背到青山高頭飼老虎起者，做娘個正當肉痛殺者，倘若傷了性命，我以[119]來帶做惡事者。完　嚇，母親，嚇王生噯噯。

完英姑娘淚紛紛　有口難言説不清

王生若有長和短　奴家終身靠何人

我與王生終身訂　爹娘乃裏會知情

但願蒼天來保佑　保佑他無災無難脫逃生

不表完英心悲泣　標　再表天標上山林

喂，到者，到者，撥若來帶飼老虎，我要落山起者。

---

[116]勿折好，方言中稱壘被子爲“折棉被”，棉被都勿折好，謂“被子都沒壘好”。
[117]鳳陽婆，石印本注(第 8 頁) 云：“鳳陽花鼓的女藝人。”。
[118]“米介勿禁吃者”，石印本作“米勿徑吃哉。”。注(第 8 頁)云：“勿徑，經不起。”。
[119]以，又。方言中，音“以”。

楊天標怒氣冲冲下山轉家門 要與娘囡道理評

宣到此處停頭回 相府賣身下回云

生 離別家鄉有數旬 未知何日返家庭

小生王應文，寧波定海縣人氏，自從乃日看潮失水，漂到此地，誰知衣衫鞋襪被賊人竊去，多虧媽媽相救，與我身上穿了女人衣服，藏[120]在香閨，與完英大姐私訂終身，楊天標將我錯認鳳陽婆，背到此山，喜得機關未露，不然性命難保，看離城不遠，待我下山去吧。嚇，且住，想我身無分文，如何是好，只得去到街坊沿街求乞，待到有了銀子，就可回家，我來此已是十字街口，前去求乞便了。

王應文移步向前行 腹中飢餓好難禁

行走來到十字街口 只得跪地求善人

哀求開店開廠老闆們 發財銅錢丟幾文

保佑出門順利保平安 順風駛舵保太平

保佑四面貴人相照應 八方財寶進門庭

保佑生意興隆多茂盛 一年四季賺黃金

哀求吃素念佛太太們 慈悲銅錢丟幾文

保佑福也增來壽也增 壽比南山老壽星

保佑眼目清亮腳手健 兒孫滿堂鬧盈盈

哀求賢良好心大娘們 賢德銅錢丟幾文

救救我王應文落難人 保佑夫妻和睦情義深

---

[120] “藏”，原寫作“芏”，今正。下同。

保佑早生貴[121]子跳龍門 白頭到老福壽增

哀求漂漂亮亮姑娘們 加班銅錢丟幾文

保佑有福有壽多福分 配個老闆做夫人

哀求年青力壯叔伯們 辛苦銅錢丟幾文

救救我個落難人 保佑一年四季賺黃金

哀求讀書趕考官官們 聰明智慧銅錢丟幾文

保佑連科高升步步進 大學考進穩篤[122]定

保佑做中央幹部[123]接班人 轎車進出耀[124]門庭

保佑增福延壽保長生 一家團圓[125]笑盈盈

哀求種田下地叔伯們 辛苦銅錢丟幾文

保佑身體健康福壽增 田稻[126]年年好收成

今日我討得銅錢有千文 謝謝各位善心人

可憐我半男半女好羞人 叫我何處去安身

不表應文情由事　相 卷中另表一公卿

不如意事常八九，可與人言無二三，老夫駱賓，官拜首相，執掌朝綱，夫人李氏，生下七子一女，孩兒具在朝中爲官，七位媳婦在家，我女姣英在年二八，當初萬歲爲媒，許配潼關沈榮之子沈標爲室，如今聞得沈標醜陋不堪，而且倚勢橫行，夫人聞知憂鬱得病身亡，我女終[127]日啼哭不止，一爲娘親亡故，二爲錯配婚姻，每欲自盡，多虧七位賢

---

[121]“貴”，原寫作“桂”，以意正。
[122]“篤”，原寫作“督”，以意正。
[123]“部”，原寫作“阝”，今正。
[124]“耀”，原寫作“躍”，以意正。
[125]“圓”，原寫作“園”，今正。下同。
[126]“稻”，原寫作“秋”。《雙狀元寶卷》云：“田稻年年好收成，今從之。
[127]“終”，原寫作“總督”，今正。下同。

媳解勸，爲此者老夫無心伴駕，告老還鄉，思想起來，好不憂慮人也。

相爺悶坐在書廳 只爲女兒錯配親

害得夫人身亡故 害得女兒哭悲疼

不該將他來錯配 如今懊悔也無門

想沈標雖然他父是千歲 惡勢横行不成文

本該將他婚來退 違逆聖旨罪非輕

幸虧賢者多淑德 終日解勸女兒身

進退兩難真無奈 因此告假轉家門

心中思想多煩悶 有了忽生巧計把話論

且住，我女兒終日煩悶不樂，心事不寧，需要與他解愁消悶，啊，是了，不免叫丫環出來，與他解愁消悶爲妙，眾丫環乃裏？ 丫 來者來者，太師在上，衆丫環叩頭。 相 起來。 丫 叫丫環出來，有何吩咐？ 相 非爲别事，你們進去，哄得小姐一笑，賞銀子一刃。 丫 兩笑呢？ 相 就是兩刃。 丫 三笑呢？ 相 三刃。 丫 十笑呢？ 相 就是十刃。 丫 倘若小姐笑得胃口開者，嘴巴笑得閉勿弄者，太師賞銀[128]子多少者？ 相 呿[129]小賤胡説。 丫 阿姐，阿妹噲，太師發惡亂者，伢大家還是哄小姐起笑起。 丫 嘔大家走咚。

一衆丫環往内行 前去哄笑貴千金

不表丫環情由事 旦 提表姣英哭悲啼

綉閣春深晝日長，佳人無意綉鴛鴦，奴家駱氏姣英，年方二八，爹爹

---

[128] “賞銀子”，原寫作“償艮子”，今正。下同。

[129] 促，疑“呿”之誤。石印本(第 11 頁)作“呿，賤人胡説。”。注云：“呿，嘆詞。”。今正。下同。

駱賓，官拜首相，母親李氏，不幸去世，七位兄長，在朝伴駕，嫂嫂們在家，十分賢德，這也不在話下，想奴終身由萬歲爲媒，許配潼關沈千歲之子沈標爲室，聞得他相貌醜陋，道理全無，依勢横行，奴的終身如何是好？思想起來，好不傷心人也。

姣英小姐暗傷心 奴奴命運苦十分

可恨君王太無理 將奴錯配沈家門

沈標爲人全無理[130] 況且醜陋不成文

倘若日後來迎娶 叫奴如何做得人

本欲早早來傷身 七位嫂嫂勸奴身

蒼天爲何作弄人 偏偏許配這廢人

思思想想心頭悶 眼淚汪汪好傷心

姣英姑娘心悲泣 嫂 來了七位少夫人

姑娘請來見禮。 旦 各位嫂嫂，小妹有禮奉還，請坐。 嫂 請坐，嚇，姑娘，見你悶悶不樂，何不去到花園遊玩一番，以消悶懷，況且園中百花齊放，桂花盛開，十分清香，請姑娘觀看花景，意下如何？ 旦 嫂嫂欲要遊玩，小妹當得奉陪[131]。 嫂 如此姑娘，請。 旦 嫂嫂請。 嫂 丫環前面引路。丫 嘔，曉得者。

嫂 姑嫂移步出閨房 丫 一衆丫環走得忙

嫂 一齊來到花園内 觀看花景甚軒昂

旦 七位嫂嫂觀花景 我姣英只是暗悲傷

---

[130] “無理”，或改作“無禮”。《雙英寶卷下本》云：“沈標禮儀全無”。待考。
[131] “陪”，原寫作“倍”，今正。下同。

想到奴奴終身事 哪有心思花景賞[132]

秋天無樹枝多殘敗 梧桐葉落好淒惶

將身行到花亭上　嫂 夫人啓口把話講

嚇，姑娘，桂花亭上請坐。 旦 嫂嫂們請坐。 嫂 嚇，姑娘，你看桂花十分茂盛，請姑娘折幾枝桂花，可做蟾宮折桂。 旦 嚇，嫂嫂呀：

奴見桂花淚連連 維[133]有奴命苦十分

有福之人做夫人 蟾宮折桂步步升

哥哥在朝爲官職 七位嫂嫂受皇恩

小姑配與廢人身 乃能爲官在朝庭

奴奴乃有皇恩受 怎做蟾宮折桂人

說起此事心悲泣　嫂 夫人重又說原因

嚇，姑娘，你看半天鴻雁飛來作字成對，倒也看得。旦 嚇，嫂嫂嚇：

奴看鴻雁哭啼啼 對對成雙排字飛

成對可比兄和嫂 孤雁可比薄命人

小姑哪有成雙日 心中思想好孤淒

可憐終身不樂意 不如削髮爲僧尼

說罷轉過假山去　嫂 夫人啓口把話提

嚇，姑娘，海棠亭上請坐。 旦 眾位嫂嫂請坐。 嫂 姑娘你看海棠，對着梨花，倒也好看。旦 嚇，嫂嫂，想乃種花之人，好生無理，想海棠乃是姣嫩之花，梨花乃是粗蠢之花，如何對種，小妹倒要提詩一首。 嫂 倒要請教，丫環取筆墨過來。 丫 曉得。

---

[132] “賞”，原寫作“償”，今正。下同。
[133] “維”，石印本(第 11 頁)作“惟”。

旦 詩曰：

二八佳人巧梳妝 紅顏薄命配醜郎

世間多少不平事 可恨梨花對海棠

嫂 嚇，姑娘，你不愛梨花，可以砍掉。丫 喂阿姐，阿妹，伢小姐真當[134]聰明，海棠姣嫩比得自者，梨花粗蠢比得沈姑爺者，梨花看勿入眼，可以砍掉，難道沈姑爺也好砍掉勿成麼？ 旦 呢，賤人胡說。 丫 嗄咦，小姐已要發惡亂者，噲，少夫人喂，看小姐心事勿寧，伢丫頭到倒有個主意來帶，勿如開之園門，外面是條小街，有走索個，嬉罐個，嬉彩瓶個[135]，變大戲法個[136]，起看看街景也好，消愁解悶。 嫂 嚇，且住，本該是使不得的，如今小姐心事勿寧，你們要去開了園門看看街景。丫 嘔阿姐，阿妹，哄得發有得搭[137]，哄得笑，大家有得巧，大家動手。

丫環忙把園門開 嫂 姑嫂移步往外來

姑嫂站在園門口 生 王應文大步走過來

今朝好像[138]癡女樣 丫 哈哈丫環一見笑起來

噲，少夫人，呆婆[139]來者，呆婆來者。 少 怎樣的呆婆？ 丫 喏，風來者末，蹲倒者，風起者伊立起者，喏喏，呆婆來者，呆婆來者，大家來看呆婆來個。

旦 小姐聽說把頭擡 哈哈無意之中笑出來

---

[134]真當，的確（《紹興方言研究》第 188 頁）。
[135]此兩句，石印本（第 11 頁）作“嘻缸弄罎”。注云：“嘻，玩兒。”。
[136]變（大）戲法，表演魔術。
[137]石印本注云：“哄得發有得搭，如果奉承得人家發了財，咱們也可以沾點光。”。
[138]“像”，原寫作“象”，今正。下同。
[139]呆婆，石印本注云（第 11 頁）：“呆婆，傻女人，痴婆子。”。

丫 丫環一見多歡喜 報與相爺賞錢財

阿姐阿妹，小姐笑過者，吶問相爺領賞起。 丫 大家走咚，來至高廳，啓稟相爺，小姐被丫環哄笑了。 相 什麼？被你們哄笑了？ 丫 哄笑者。 相 怎樣笑的？ 丫 還要還點頭帶來，相爺喏，伢想小姐心事勿寧，到花園去看看花景，小姐仍然勿高興，後來丫環開之園門，看看街景，勿曉得來得個呆婆，風來者蹲到者，風起者，立起者，小姐一見，實介[140]笑者，伢丫環前來領賞。 相 少刻領賞。丫 賞錢也要欠欠個。相 小賤胡說，我卻不信，待我去看個明白。丫 嘔，一徑來到花園，衆位少夫人、小姐，相爺來看呆婆者。 少 什麼？公公來了，我們迴避了吧，姑娘請。 旦 嫂嫂請。

不表姑嫂回房去 相 再表相爺到園亭

行來已到花園門 舉目擡頭看分明

一見此人心疑惑 男扮女妝爲何因

書童。 什 唷。 相 叫那人轉來。 什 曉得，呔，那人轉來，我家相爺有話。生 嚇，且住，聽他口說相爺，諒必當朝一品，想我也是宰相公子，如此形狀，倘若真情說出，豈不慚愧，不如哄他一哄，來比園門，嚇，相爺，叫難人轉來有何吩咐？ 相 叫你非爲別事，想你男子扮作女子，敢是哄動[141]人心，是何道理？ 生 啓稟相爺，難人一言奉告：

相爺嚇非是難人哄人心 只爲七歲遇拐人

將我騙到貴鄉地 賣與陳府做書童

---

[140]實介，這樣；這麼。吳方言。(《吳方言詞典》第 309 頁)

[141]“動”，原寫作“同”。石印本(第 12 頁)作“敢是哄動人心”，今從之。

只爲玉硯來打碎 主人取我命殘生

多虧乃燒飯媽媽來釋放 男扮女裝去逃生

難人句句真情話 還望相爺恕罪名

相 相爺聽了言和語 腹内暗暗自思忖

乃相爺把此人上下打量一番，心中暗想，他雖男扮女裝，舉止[142]行動穩重，出言吐語文雅，老夫十分喜歡，便道，想你家主人氣量太小，一方玉硯打碎，就要取你一死，想别人道你來歷不明，老夫倒不怕你的主人生事，你不如在我府中做一名書童，你道如何？ 生 難人思忖回話，且住，想我也是宰相公子，況且黌門秀士，豈肯與人當作書童，但我一來盤費全無，二則衣衿沒有，待我有了盤費衣衿，再作計較便了，嚇，相爺，既蒙擡愛，無不遵命。 相 未知你要多少身價？ 生 相爺容稟：

相爺你且聽分明 身價不要半毫分

賣身文契我不寫 伏望相爺納此情

相 相爺聽説來應允 好個聰明伶俐人

待我與他取個名字，把他取名新來，好從今以後，就叫你新來，不分内外進出，好生服侍，以後老夫重重有賞。 生 多謝相爺。 相 書童。 什[143] 咑。 相 命你領了新來到書房改換衣衫，進内去見過七位少夫人與小姐。 淨[144] 曉得。新來哥隨我來。生 是來了。

書童領了進書房 生 新來即便換衣裳

---

[142] “止”，原寫作“子”，以意正。

[143]什，石印本(第 13 頁)作“雜”。在此應寫作下面的“淨”。

[144] “淨”，石印本作“丑”。

丫 丫環聽了多明白 急急回身走得忙

將身進了閨房內 一見夫人把話講

今朝有件新聞[145]事 特來稟告女紅妝

少 丫環有什麼新聞事？

丫 啓稟夫人小姐，方才因門外來個勿是呆婆，實個呆公。 少 什麼？他是男的嗎？ 丫 嗯，我裏相爺問伊個，伊話是陳家書童，只爲玉硯打碎，主人將伊衣衫剝落，取伊一死，多虧媽媽相救釋放出門，如今相爺留進府中，當作書童，勿分內外，任憑使喚，取名新來，就要進來叩頭領賞咚者。 少 如此叫他進來。 丫 嘔，新來哥哥，快快進來，見過各位少夫人與小姐。 生 是。 丫 喏，葛個七位是少夫人，當中是小姐，喏要端端正正碰幾個頭，夫人小姐有賞個。 生 曉得。

新來即忙跪埃塵 叩見七位少夫人

低下頭來暗思忖 見他們個個貌超群

七位夫人都叩過 當中再叩女千金

総道完英容貌好 誰知他更比楊氏勝幾分

小姐花容多絕色 未知金蓮有幾寸

低下頭來看靈清[146] 妙嚇好似一對水紅菱

新來叩頭身不動 丫 吆旁邊丫環喝一聲

噲，新來哥哥，喏爲啥碰頭連帶牢會叩個，我來帶不偌數剛剛叩得十六個半。 生 嚇，大姐，怎麼會有半個頭呢？ 丫 喏喏剛剛要碰落起

---

[145] “聞”，原寫作“文”，以意正。

[146] 靈清，紹興方言。清醒，清楚(《紹興方言研究》第 126 頁)。石印本(第 14 頁)作“低下頭來看个清。”。

者，我呔葛？得聲，撥偌標得半個。 生 嚇大姐，想七位少夫人時常可見，乃小姐在香閨綉閣難得見的，所以我要多叩幾個。丫 介末偌只管叩咚咚。旦 小賤胡説，叫他出去。丫 嚇小姐已要發惡亂者，新來哥哥走出起者。 生 是。 少 嚇姑娘，見新來書童文質彬彬，相貌非凡。 旦 嚇嫂嫂，我家有這樣的俊秀書童帶了出門，主人的面上也有多少光彩。

少 嚇姑娘嚇：

奴見新來貌傾城 不像書童另有因

舉止端方多穩重 好似途中落泊人

回言便把丫環叫 你且聽我説原因

丫環你取銀子十四刃，松江小布七疋賞與新來。丫 嘔。 旦 丫環取銀子四刃，紡綢兩疋賞賜與他，速去速來。丫 嘔阿姐噲，阿妹噲，**吶**帶新來哥哥裏起者，東西拕得起，行來已到書房，喂，新來哥哥見禮者。生 有禮奉還，二位大姐到此，莫非小姐叫我有事麼？ 淨 偌聽我息得，小姐嘔偌則啥？喏葛個實少夫人賞銀子十四刃，松江布七疋。丫 喏葛個實小姐賞偌個銀子四刃，紡綢兩疋，喏拕得起，想偌緫後生家勿可浪吃、浪用，要做人家[147]些個。生 這個自然，還望二位大姐與我代謝少夫人與小姐。丫 謝謝末緫是**吶**者。丫 噲，新來哥哥偌今年幾歲者？ 生 一十六歲了。丫 介末偌新來嫂嫂討勿討哼[148]哼來？ 生 沒有。丫 介末伢來撥偌做媒者。生 休得取笑。丫 看伊介大年紀者，還怕羞帶來，走得進起者，外還是回稟夫人小姐知道便

[147]做人家，勤儉節約。吳方言。(《寧波方言詞典》第 183 頁)

[148]“哼”，原寫作“哼”。石印本注云(第 14 頁)：“哼，助詞。”。

了。

慢表丫環稟小姐 生 再表書童王應文

本該收入回家去 難捨小姐女千金

按下應文來自嘆 千 再表潼關一段情

身受爵祿心不寧，未知何日坐龍庭，本藩沈榮，奉旨平西有功，蒙恩封我平西王之職，永鎮潼關，吾心不服，欲要登其大寶，奪取錦繡江山，如今差黑元帥往高麗借兵十萬，前來攻打，至今借兵未回，好生掛念，這且不表，本藩單生一子，取名沈標，乃年聖上爲媒，是福建泉州府、晉江縣駱賓之女，名曰姣英，配與我兒爲室，想乃駱賓有七個兒子，在朝爲官，如何是好？嗄有了，不免叫我兒去到他家完其花燭，日後興兵之時，亦有內助之力，有道自親必顧，自鄰必護，本藩何愁大事不成，來。 什 唷。 千 叫後堂世子爺出來。 什 世子爺有請。 丑 來者來者，忽聽堂上叫，眉毛別別跳，若還來遲到，要吃栗子泡[149]，平西王阿伯爹在上，做倪子個拜揖者。 千 兒嚇，罷了，一旁坐下。丑 咳阿伯爹，做倪子個一向歡喜蹲椅子個，葛息毛我蹲帶者，阿伯爹喏叫倪子出來，有啥屁放[150]？ 千 唔比方[151]，叫你非爲別事，爲父叫你到福建泉州府晉江縣，與駱氏完姻，可作內助一臂之力，爲父不怕大事不成了。 丑 好個好個，難得我裏個長氣個阿伯爹[152]。 千 畜生胡說。丑 喂，阿伯爹，如今偌是千歲，我是世子爺，才話偌做皇帝，我做太子者，早末偌死還，我好做皇帝者。 千 畜生多講，

[149]石印本注(第 15 頁)云：“吃栗子泡，彎曲食中二指敲擊頭部。”。

[150]“屁放”，原寫作“庇方”，義不通。石印本(第 15 頁)作“有啥屁放”，據改。

[151]“唔屁放”，原寫做“唔比方”，據上下文意思，應爲“唔屁放”，即“無屁放”，是針對上句的回答。

[152]長氣，爭氣。音同而誤。整句意思爲：難得我這個爭氣的爹爹。

來。 什 唷。 千 擺酒與世子爺餞行。淨 是。

千 千歲吩咐忙擺酒 丑 世子爺得意喜悠悠

千 千歲重又開言説 兒嚇爲父有言説情由

嚇兒嚇，你此去駱府招親，他家用事須要留意，處處須要謹慎，牢牢記住。 丑 有數者。 千 家人。 什 唷。 千 好生服侍世子爺，回來重重有賞。 淨 曉得。 丑 阿伯爹偌放心，做倪子個拜別去者。**啰**呐[153]。淨 唷。 丑 撥我搭跳，我要落船起者。

世子即便就登程[154] 要到泉州去成親

吩咐水手忙開船 撐起一張大風蓬

發起一頭大順風 不覺來到泉州城

淨 啓世子爺，泉州到者。丑 乃啥泉州到者，將船停泊，扶我上岸**啰**呐。淨 唷。 丑 伢前去遊玩一番。淨 曉得。

丑 嗄泉州果然好一片繁華景致也。

世子爺，上街坊，閑游消悶，話不盡，泉州府，繁華一片。

走大街，穿小巷，香風撲面，這些乃，年少婦，勝似天仙。

進茶坊，並酒樓，合群談天，只見乃，西街上，輻輳[155]福湊人煙。

一路上，來行走，風吹柳舞，有幾間，高大樓，意欲人眼。

且住，來到此地，有幾間高大房屋，未知可作公館？ **啰**呐。淨 唷。

丑 不知啥人我個房屋，我世子爺，意欲要做公館。淨 曉得，裏面可

---

[153]**啰**呐，對小孩子的稱呼，一般女孩子寫作囡，男孩子寫作囝。音同（nan1）。石印本(第16頁)作“囡”，注云：“孩子，這裡指書僮。”。

[154]“程”，原寫作“呈”，今正。下同。

[155]“輻輳”，原寫作“福湊”，今正。

有人麼？ 什 來者來者，你到來何事？ 淨[156] 噲，老人家，偌這幾間房屋，可肯租作公館？ 什 可以租得，你問他什麼？ 淨 我裏潼關世子爺，要到駱府成親，你的房屋要租用數月，每月租金多少？ 什 既然是駱府貴親，就不用講房金，請世子爺前來安寓。 淨 啓世子爺，房主言道，駱府貴親，勿用講房金，請世子爺安寓好者。 丑 **咧**吶，將行李搬進起是者。 淨 曉得。 丑 **咧**吶，想我來到此地，本當要去拜望老駱，想伊無非是個宰相，我是個世子爺，難道我世子爺起拜望伊，嗄，有者有者，難爲伊是我個丈人阿伯，我就用名帖一個，**咧**吶。 什 唷。 丑 偌起通報一聲，叫話世子爺到者，嘔老駱撥我早些做親拜堂，勿得有誤。 淨 嘔，曉得者。

家人奉命不留定 手拿名帖往前行

一路行程無耽[157]擱 不覺來到駱府門

門上可有人在？ 什 來了是乃一個？ 淨 望你門官前去通報相爺，我奉伢，潼關世子爺之命，前來你駱府招親，有名帖呈上。什 嘔，曉得者。

家人接帖身進內 稟告相爺得知情

宣到此處停半本 盤戒[158]揚名下回聽

---

[156] “淨”，原寫作“什”，以意正。
[157] “耽”，原寫作“擔”，以意正。下同。
[158]盤戒，待查。石印本(第 16 頁)作“露戒”。或爲“盤問”之意。

雙英卷 下本

前蒙聖恩作冰人 誰知我女不稱心

老夫駱賓，只爲我女終身錯配，聞得沈標禮義全無，相貌醜陋，我女心中不服，日夜啼哭，皆因聖上爲媒，出于無奈。 淨 報啓相爺，潼關世子爺到者，住在西街公館，有名帖呈上。 相 待我看來，嗄嚇，他竟不來拜望老夫，好生無理[159]，且住，待我前去看他相貌，情形如何，言之有理，來。 什 咑。 相 打轎公館。 什 嗄嗄。

相爺打轎往街坊 去到公館看情常

行來已到公館首 淨 家人即便報事忙

門上乃一個在？ 什 是乃一個？ 淨 駱相爺前來看望世子爺，有名帖呈上，相煩通報。 什 候着，啓世子爺，外面駱相爺前來看望，有名帖呈上。 丑 乃啥老駱到者，做伊話我世子爺本應出來迎接，只因路上受了風霜之苦，不能迎接，嘔伊自介跑進來罷者。 什 曉得。啓相爺，我裏世子爺言道，因路上受了風霜之苦，勿來迎接，請偌自介進去。 相 有這等事來，真真豈有此理！

太師無奈出轎，將身進內，擡頭一看，大吃一驚，勉強叫聲賢婿。

丑 偌葛位莫非是丈人阿伯，做女婿個本該拜偌一拜，我想偌必須要回我一回，倘若做偌腰骨酸帶還，多有勿便，還是大家兩折[160]者。 相 唔，賢婿請坐。 丑 丈人阿伯偌老實咚，我向[161]來喜歡蹲椅子個。相

---

[159] “無理”，此處改寫“無禮”比較合適。但方言中用“無理”做形容詞，形容爲人處事蠻橫、不講道理，但究竟用哪個字，未有定論。如改寫作“無禮”，似乎涵義縮小。

[160] 兩折，兩結，互相抵消。

[161] “向”，原寫作“相”，今正。

嚇，賢婿一路上可平安否？ 丑 我有啥勿平安呢？ 相 嚇，賢婿在府十三經中讀過幾經了？ 丑 我落讀過個多者，喏有三官經，觀音經，血盆經，受生經，金剛經，彌陀經，楞嚴經[162]，蓮花經，高王經，華嚴經，太陽經，心經，還有陀羅尼多經，不是十三經嗎？ 相 不是釋家之經，是儒家之經。 丑 乃啥讀書叫唸經？丈人阿伯，我書勿用讀者個。 相 爲何？ 丑 丈人阿伯喏：

窮人讀書富來求 只爲金銀[163]滿門樓

富人讀書貴來求 只想朝中做公侯[164]

想我富也有貴也有 何用讀書掛心頭

阿伯爹在朝千歲做 富貴雙全勿用求

偌還是快快與我完花燭 早早撥我結並頭

相 相爺聽得心頭怒 果然形狀習下流

想你在家既不讀書，你做些什麼？ 丑 我大年初一到三十日，夜一息都勿空個。 相 你有什麼可忙？ 丑 我吠[165]遊遊四景，高興者末殺殺人，放放火，好看好看，所以以息勿空個。 相 如此行爲，你令尊多多失訓，只怕你死無葬身之地也。 丑 乃啥死無葬身之地？分明話我天勿容者，偌直結[166]放乃娘個狗屁，拖帶進來，佬三佬四[167]葛勿話起撥我成親，反來咒罵我世子爺，偌想賴婚勿成。 相 我就賴婚何妨？

---

[162]原寫作“侖言經”，未詳。應改寫“楞嚴經”。石印本(第 17 頁)所列舉的十三經是:“三官經，觀音經，楞嚴經，彌陀經，花花經，高王經，血盆經，華嚴經，救苦經，妙沙經，陀羅經，還有般若波羅蜜多心經”。稍有異同。

[163]“銀”，原寫作“艮”，今正。

[164]“侯”，原寫作“候”，今正。

[165]“吠”，義未詳。待考。

[166]“直結”，“接”與“腳”同音，應改作“直腳”。石印本(第 18 頁)作“直腳”。 注云：“直腳，實在”。

[167]佬三佬四，《寧波方言詞典》寫作“老三老四”，形容說話口氣大，傲慢不虛心。

丑 呸，偌個老賊，我有大笠帽[168]蓋頂，皇帝阿伯作媒，只怕偌個吃飯家伙[169]要撥儂分家者。

想我媒人是君皇 勿怕偌賴婚起心狠

倘若逆了萬歲旨 滿門抄斬吃刀亡

相 嗄嚇，真真氣死我也。

相爺此刻怒心窩 聽他言語有蹉跎

閑時冷眼觀螃蟹 看你橫行到幾何

吩咐家人忙打轎 一路之上淚如梭

不表相爺回家去 丑 世子口內罵囉嗦

有介個老勿死帶來，太歲頭上來動土[170]者。 呐。 什 唷。 丑 乃撥我大些毛竹火梢拕一把，把老賊趕出起，快快擺酒與我消氣消氣。 什 嘔，曉得者。

丑 世子爺此刻怒沖沖 飲酒消氣寬寬胸

不表沈標氣殺人 生 再表新來小書童

埋藏在天羅，何日見姣娥，小生王應文，如今在駱府做了書童，取名新來，見小姐花容艷色，未知才能如何，今日七位少夫人與小姐花園飲酒賞月[171]去了，想我內外不忌，不如大膽走到小姐房中，假意送茶，偷看小姐的詩賦，就可知道小姐的才學也。

應文想罷進房門 偷看詩賦便知情

---

[168] “帽”，原寫作“**帗**”，疑俗字。石印本(第 18 頁)作“大箬帽”，注云：“比喻權威最大的皇帝。”。今正。

[169] “吃飯家伙”，石印本注(第 18 頁)云：“俉個吃飯個傢伙，你的腦袋。”。亦稱爲“吃飯家生”。《吳方言詞典》(第 158 頁)云：“吃飯家生，指頭顱(詼諧的說法)。”

[170] “太歲頭上動土”，成語。比喻觸犯凶惡強暴的人，將會招致禍殃。

[171] “飲酒賞月”，石印本(第 18 頁)作“飲酒賞菊”。

心中暗想往前走　旦　小姐后面進房門

嚇新來，你在此做什麼？　生　**呋**[172]，小姐，我是送茶來的。旦　因何丫環不來送呢？　生　因大姐們不在，所以我代送來的。　旦　想你內外不忌，亦可代送。　生　正是，小姐請用茶。

應文得意喜歡　香茗送與女千金

手中露出梅花戒　旦　嚇小姐一見突然驚

觀看此戒多奇異　爲何落在此人身

啓口便把新來叫　戒子與我看分明

嚇，新來，你的戒子[173]讓我看看。　生　這是梅花戒子，請你小姐觀看。　丑　待奴看來。　丫　噲，新來哥哥，相爺客□[174]有事。　生　小姐我去了。梅花戒子是要還我的。　旦　好，你去罷，少刻還你。　生　曉得。

新來移步出房門　旦　小姐見戒暗疑心

奴奴想起梅花戒　贈與完英兩離分

難道他在飯店住　完英見了喜歡心

梅花戒子私相贈　終身許配兩相親

等他來討梅花戒　問明情由放我心

不表小姐心疑猜　生　再表應文進內來

小生王應文，送茶已畢，進去向小姐討還梅花戒子，二來探聽小姐的姻親，主意已定，走嚇。　丫　噲，阿姐阿妹，噲，今朝小姐個催命鬼到者。　生　什麼催命鬼，嚇，二位大姐，這句話是什麼意思？可否對

---

[172]“**呋**”，答應聲(《吳方言詞典》第 22 頁)。石印本(第 18 頁)作“嚇”。或疑“嚇”之誤。
[173]戒子，戒指。
[174]此字漶漫，待考。石印本(第 18 頁)作“相爺有客，嘔俉送茶去。”。

我說說？ 丫 嚇，新來哥哥，不偌聽見者，偌勿曉得細底[175]個，我就同偌講講，喏我裏小姐個終身，有皇帝阿伯做媒個，許配潼關沈千歲之子，名叫沈標，勿想伊個人，禮義全無，相貌醜陋，小姐勿稱心，難末[176]沈標來冬者，西街上打公館住哼，嘔**吵**相爺安[177]排花燭，我裏小姐，前番有話，話過個[178]，若還沈標到來做親，一定要尋死者個，豈非是小姐個催命鬼到者？ 生 呀，有這等事來？ 丫 噲，新來哥哥，早偌外頭勿可七搭八搭[179]起話，要害伢淘氣個，才話淘氣，要做偌着個。 生 是。 丫 阿姐阿妹，你我快快報與小姐知道便了。 生 嚇可惜、可惜。 丫 小姐噲，勿好者、勿好者。 旦 爲何？ 丫 沈姑爺到者，西街打公館住哼。 旦 有這等事來？嚇，不好了，嚇。丫 小姐蘇醒、小姐蘇醒。

唬得我三魂不在身 正好比萬把鋼刀刺我心

罵聲昏君太無禮 不該將奴錯牽線

奴奴冤氣難伸訴 只得靠窗告青天

推開半窗告明月 只見月光照窗前

你是廣寒嫦娥女 明月清風自安然

怎生學得嫦娥女 無憂無慮在青天

惟有姣英多命苦 看來要屈死傷黃泉

---

[175]細底，內情、根源。（《紹興方言》第 318 頁）

[176]石印本注云(第 19 頁)：“難末，如今”。

[177]“安”，原寫作“按”，今正，下同。

[178]“前反有話，話過個”，石印本作“番話過個。”。注(第 19 頁)云：“番話，宣布。”。“反”字應寫作“番”，意謂“前番有說，說過了。”

[179]七搭八搭，一作“搭七搭八”，隨便跟人拉扯或發生關係。（《紹興方言》第 288 頁）

小姐對月心悲泣　生　窗外王生淚珠漣[180]

爲人怎好比明月　令人聽得更慘然

旦　小姐聽了言和語　呧[181]何人前來多插言

促住了，奴家窗前講話，何人前來插嘴？　生　嚇，小姐，是我新來。

旦　新來，你在此做什麼？　生　我前來向小姐討還梅花戒子。　旦　新來你的戒子從何而來？不須隱瞞，細細説來。　生　小姐容稟：

小姐在上聽原因　新來細細告知聞

家住浙江寧波府　定海縣内王家門

爹爹廷貴爲極品　小人三字王應文

今年年方十六春　去年入泮在黌門

看潮失水到泉州　洗盡衣服被賊偷

楊媽媽相救贈衣衿　完英姑娘送飯臨

我與完英終身訂　梅花戒子私相贈

旦　小姐聽了言和語　原來官家後代根

嚇，原來是宰相公子，奴奴失敬了，既是官之後，何不早早回去？　生　小姐嚇：

小生心想回家門　身無分文難起程

腹中飢餓身寒冷　無奈只得走街心

行過你府來留進　見了小姐貌超群

誰知小姐豪門配　小生枉費一片心

---

[180] “漣”，原寫作“連”，石印本(第 19 頁)作“淚漣漣”，今從之。

[181] “呧”，原寫作“促”。石印本作“呧”，今正。石印本注云(第 20 頁)：“呧，嘆詞”。

進來討還梅花戒 見戒元如見完英

不久就要回家去 意欲上京求功名

承蒙小姐來動問 小生句句是真情

旦 小姐聽了更心酸 即便啓口叫王生

嚇，王生，聽你說來，你與楊氏完英，結爲佳偶，想奴與完英結拜姐妹，勝似同胞，這梅花戒子原是奴奴贈送與他的，嚇。

小姐此刻淚汪汪 悲悲切切靠紗窗

完英當初也在此 結拜姐妹伴閨房

那日姐妹來分別 奴奴難捨女紅妝

梅花戒子分兩處 一隻贈他占家邦

但願姐妹重相會 一對戒子再成雙

誰知賢妹贈了你 見物思情心更傷

要奴還戒不能夠 權且留在奴身旁

奴想賢妹能有福 郎才女貌配成雙

唯有姣英多薄命 看來不久一命亡

王生嚇請你且暫住幾日 聽奴吉凶占浙江

日後完英成親日 將奴苦衷告紅妝

若說奴奴終身事 來生與你再成雙

生 應文聽了淒涼話 好言好語勸紅妝

嚇，小姐，聽你說得淒涼，勸小姐切莫自尋，想相爺年邁蒼蒼，倘有不測，那還了得，有道螻蟻尚且惜命，在生一日，勝過千年，嚇小姐嚇。

勸你不必太傷心 令[182]人聽得也悲疼

得一日來過一日 暫且權度過光陰

小姐若還來自盡 相爺年邁怎理論

莫說應文難捨你 豈可抛撇一日[183]傾[184]

旦 小姐聽了言和語 難得王生勸我身

暗想他有戀我意 介勸之言情意深

越思越想心悲切 啊唷一口鮮血吐埃塵

生 應文一見心膽驚 好言安慰女千金

嚇，小姐，看你口吐鮮紅，還須保重身體要緊，請小姐回房去吧。

旦 小姐無奈關窗門[185] 雙眼含淚進房門

不表小姐身安息 生 提表應文往外行

人人都說天有眼 我說蒼天瞎眼睛

小姐才貌雙全女 爲何弄得這般形

理該才子配佳人 因何對面不相親

本該收入[186]回家去 難得小姐留我身

且在他家住幾日 看其動情再回程

想起小姐心悲切 相 相爺一見問原因

嚇，新來，因何在此悲淚？

生 相爺我想起苦楚，故而悲淚。 相 新來，見你常常悲淚，不像書

---

[182]“令”，原寫作“另”，今正。
[183]“日”字漫漶不清，待考。
[184]“傾”字，疑“情”之誤，待考。
[185]窗門，窗戶(《紹興方言研究》第 109 頁)。
[186]收入，石印本注云(第 21 頁)：“收入，收拾。「入」「拾」浙音同。”。紹興方言，“收八”即收拾。完蛋。(《紹興方言》第 317 頁)。“入”，或疑形近而誤。

童之輩，你到底家住乃裏？姓甚名誰？家中作何事業？細細説來，老夫好幫[187]助與你。 生 相爺容稟：

小人家住浙江省，寧波府，定海縣，爹爹姓王名廷貴，爹娘不生多男，單生小生一人，不幸雙親去世，多虧義僕撫養成人，小生取名應文，在年一十六歲，去年身入黌門，只爲看潮失水，多虧楊媽媽相救，小人句句實言，望相爺恕罪。 相 我道是誰？原來還是賢侄，嚇，賢侄，你令尊在日，老夫與他同庚，情以膠漆[188]，想你那日進府，何不真情說出？隱瞞到今，多多受辱，望勿見責。 生 好説。 相 賢侄你乃黌門秀士，今年乃大比之年，你可上京赴考？ 生 如此年伯大人在上，小侄拜揖。 相 不敢，請坐。 生 告坐了，既蒙年伯美意，小侄上京赴考，定于明日起程。 相 如此，老夫正端行李，白銀五百刃，家人兩名，衣衿四套，家人。 什 唷。 相 明日服侍王相公上京赴考，得中回來，重重有賞。 什 曉得。 相 來呀。

什 唷。 相 備酒餞行。 什 嗄。 相 賢侄請。 生 年伯大人請。

相 賓主謙遜共談心 故舊相逢喜歡心

生 應文出席來拜別 叩別年伯上京城

中 家人肩挑行和李 相 相爺送出大垟[189]門

生 不表應文上京城 旦 提表閨閣女千金

命中生得犯孤凄，一世終身無靠依，奴家駱氏姣英，只爲萬歲爲媒，配與沈標爲室，如今冤家已到，爹爹去到公館見他，如同廢物，言語

---

[187] “幫”，原寫作“邦”，以意正。

[188] “漆”，原寫作“**汢**”，疑為俗字。今正。

[189] “垟”，應爲“墻”的俗字，因“羊”與“墻”同音。“大墻門”吳語中即“大門”。疑爲俗字，待校。石印本(第 22 頁)作“相爺送出府大門”；石印本(第 27 頁)作“已是駱府大牆門”。

冲撞，我爹爹見他形狀如同禽獸，倘若奴與他完姻，總然難在人間，思想起，好不傷肝人也。

小姐思想好傷心 可恨廢物到來臨

紅顏女子多薄命 醜陋女子做夫人

不如削髮去修行 斷絕紅塵一片心

倘若貪生留人間 想他怎肯饒我身

左思右想無了計 不如早早喪殘身

雙膝跪在塵埃地 拜謝爹娘養育恩

拜罷一番抽身起 罷罷一根絲帶手中存

閻王注定三更死 斷然留不到五更

小姐閨房來上吊 少 七位少夫人進房門

大家唬得魂飛散 慌忙相救女釵裙

姑娘蘇醒、姑娘蘇醒。 丫 小姐蘇醒、小姐蘇醒。 少 丫環快取參湯過來。丫 曉得。

旦 嚇苦嚇，姣英女 漸漸醒 哀哀痛哭

哭一聲 奴苦命 好不傷心

恨只恨 怨只怨 昏君錯配

大不該 來作伐 配與廢人

害得奴 無處訴 尋死短見

七位嫂 何苦的 相救奴身

想爹爹 奴終身 難以[190]作主

[190] “以”，原寫作“已”，今正。

看起來 小妹我 留着何用

到後來 他迫婚 奴命歸陰

千不死 萬不死 総然一死

可憐奴 女姣英 痛苦萬分

看後來 我的命 究作何論

少 勸姑娘忍耐纔是，萬事皆有天數，緩緩設計便了，姑娘嚇：

七位夫人勸姑娘 切莫悲傷哭淒涼

沈標雖然來到此 緩緩拖延婚期長

姻緣雖是君王定 想定妙計不外揚

還須加意來保重 靜養身體莫愁腸

不表姑娘閨房事 丑 再表沈標去私訪

奉命來完姻，老賊太欺人，學生沈標，奉阿伯爹之命，到駱府成親，住在公館，勿想老賊，前來拜望與我，爭鬧一場，聽伊口氣，有賴婚之意，我有皇帝阿伯做媒，勿怕偌老賊賴婚，我想老賊，嘔丫環調包來與我成親，我乃會曉得？嗄，有者、有者，我勿如扮作平民模樣，私行到伊個花園，倘若小姐來遊玩花園，撥我看個明白，日後伊想調包，我就可以認出真假，勿錯，仰我獨個人，到伊個花園裏起走走罷者。

沈標想罷就動身 扮作平民一般形

搖搖擺擺勿留定 來此已是花園門

噲，到者，園門還勿關，仰我進去，喂、喂，一臺牢門介小，我人大，一隻腳軋偏者，嗄，還好還好，總算走進帶者，只見樓臺亭閣、秀竹

蒼松，還可看得，且住，我在此觀看，才話撥伢下等人看見，認得我個，因我滿身認號[191]到底，嗄，有者、有者，葛里有個秀竹亭帶，不免去躲一躲，偷看一番是者。

沈標進了秀竹亭　專[192]等佳人到來臨

不表沈標亭中等　丫　要表丫環一眾人

前世勿肯修，今世做丫頭，福氣也勿邱，吃個油來穿個綢，住個都是走馬樓，三餐茶飯伸伸手，四季衣衫薄薄周，常常去到花園遊，香花聞聞透心頭，介個福氣也勿邱，下世還要做丫頭、做丫頭。阿姐阿妹噲，我裏個小姐，早要尋死，晚要尋死，虧得七位少夫人，都守在小姐房裏，勿起遊玩花園，輪流看管小姐吭，早要茶者，晚要燕窩者，真當活撥撥葛吃力殺者，七位少夫人勿起遊玩花園，陪得昏頭搭腦者，**吶**今朝丫頭要假扮夫人小姐，去遊玩花園。　淨[193]　乃葛打扮法呢？　丫　喏，少夫人房裏個丫頭打扮少夫人。　淨　打扮小姐要哭個，叫誰來打扮小姐？　丫　嘔癩頭婆桂香打扮小姐，還有四個，仍舊當丫頭，才話嘔咚勿應，要罰銀子二刃。　淨　介末說話要算數個，活帶勿起遊。

死得腳筋抽。　丫　活帶勿起嬉。　淨　死得烏比烏比，大家打扮起來。

一眾丫環偷衣衿　桂香打扮假千金

黃頭髮挽起時新髻[194]　金釵一對左右分

八寶珠環掛兩邊　水粉好像石灰瓶

---

[191]“認號”，石印本作“認頭”，石印本注云(第 23 頁)：“容易被人識別出來的特點記號等”。

[192]“專”，原寫作“占”，音同而誤，今正。

[193]下面四句都沈標的表白，故“淨”字應寫作“丑”。

[194]“髻”，原寫作“吉”，以意正。此句石印本(第 24 頁)作“黃松挽個時新髻”。

身穿綉花官祿襖 八寸花鞋足下登

手上戴付黃金鐲 好像一個白吼精

假裝小姐哭啼啼 丫 來了七位假夫人

噲，姑娘，偌爲啥哭個？ 丫 我有心事吉[195]。 丫 有道靜坐要生悲，何不[196]到後花園桂花樹下去坐坐，也可消愁解悶。 丫 如此，嫂嫂請。 丫 姑娘請。

假扮姑嫂出閨門 丫 一眾丫環後頭跟

一齊來到花園内 觀看花景甚軒昂

七位少夫人看花景 丫 小姐只是暗傷心

秋天樹枝多殘敗 梧桐葉落好淒惶

想到奴的終身事 乃有心思花景賞[197]

四面八方無心看 暗暗流淚落胸膛

一齊來到花亭上 丫 假夫人啓口把話講

嚇，姑娘桂花亭上請坐。 丫 嫂嫂們請坐。 丫 嚇，姑娘，你看桂花盛開，請姑娘折幾枝桂花，可做蟾宮折桂[198]。 丫 嫂嫂嚇：

奴見桂花淚漣漣 唯有奴命苦十分

有福之人做夫人 蟾宮折桂步步升

哥哥在朝爲官職 七位嫂嫂受皇恩

小妹配與廢人身 哪能爲官在朝庭

奴奴哪有皇恩受 怎做蟾宮折桂人

---

[195]石印本注云(第 24 頁)：“吉，語氣詞。”。“吉”或寫作“唧”。 唧係紹興方言的語氣詞，有不容別人多加干預語氣（《紹興方言》第 26 頁）。

[196]“不”，原寫作“必”。據石印本正。

[197]“賞”，原寫作“償”， 以意正。

[198]成語。蟾宮，指月亮。折桂，比喻科舉登第。

想到此處心悲切　丫　假夫人重又說原因

嚇，姑娘，你看半天鴻雁飛來，作字成對，倒也看得。丫　嫂嫂嚇：

奴看鴻雁哭啼啼　對對成雙擺字飛

成對可比兄和嫂　孤雁可比薄命人

小妹哪有成雙日　心中思想好孤淒

可憐終身不落意　不如削髮爲僧尼

說罷轉過假山去　丫　夫人啓口把話提

嚇，姑娘，海棠亭上請坐。　丫　嫂嫂們請坐。　丫　嚇，姑娘，你看海棠、梨花，倒也好看。　丫　梨花乃是粗蠢之花，如何對種？小姑倒要提詩一首。　丫　倒要請教，丫環取筆硯過來。　丫　曉得。

詩曰：

二八佳人巧梳妝　紅顏薄命配醜郎

世上多少不平事　可恨梨花對海棠

丫　嚇，姑娘，你不愛梨花，把它砍掉了。　丫　喂，阿姐，小姐正當聰明，海棠姣嫩，比得自者，梨花粗蠢，比得沈姑爺者，梨花看勿入眼，將伊砍掉，才話沈姑爺看勿入眼，也好砍掉的麼？　丫　噲，丫頭噲，偌道我真當要嫁撥沈標個活畜生者，皆因皇帝阿伯做媒，我出于無奈，沈標勿來做親，不伊便宜者。丫　才話來做親，乃葛者？　丫　丫頭喏：

無奈與他兩成雙　紅綠牽進入洞房

我竟假裝三分醉　他是酒醉勿防備

我末袖口裏，藏一把尖刀，等伊來洞房，我實格殺殺殺三刀戮伊殺。

丫 咳才活戮殺者，偌小姐要守空房者。 丫 我勿肯守個好嫁撥新來個。

兩邊[199]主婢話談講 言來語去喜非常

遊玩一番[200]進閨房 丑 沈標聽得魂飄蕩

嚇呀，且住，我來到花園察訪，只見駱氏小賤與七位阿嫂遊玩花園，只見小賤，三分像人，七分像鬼，說什麼不肯從我，倒也罷了，還要將尖刀戮死與我，嫁與新來，想新來乃是書童之輩的名字，我不免即速回家，告與阿伯爹知道，將小賤退了是者。

罵聲駱氏賤妖嬈 偌要害我命勾消

我要回轉潼關去 報與阿伯爹得知曉

喂吶。 什 唷。 丑 我老媽勿討者，與我收入行李，回轉潼關，速速起程。 什 曉得。

什 家人奉命不留停 收入行李下船行

丑 沈標思想怒冲冲 罵聲小賤天不容

可恨妖嬈心太兇 離退小賤心放鬆

幸虧老天來保佑 還可回家見父翁

宣到此處停三回 大聚團圓下回云

千 我兒去完姻，日夜掛在心，本藩沈榮，命我兒去駱府完姻，今日不知何故，心驚肉跳，好生難解。 什 報告千歲，世子爺居來者。千

---

199 “兩邊”，疑有誤。石印本作“西貝”。石印本注云(第 25 頁)：“西貝，賈字的拆寫。賈，假的同音字。”。

200 “番”，原寫作“反”，今正。

什麼？我兒回來了？命他進見。 什 曉得，世子爺有請。 丑 只望去完姻，老賊他欺人，千歲阿伯在上，做兒子個拜揖者。 千 兒嚇罷了，你爲何這般光景回來？ 丑 嚇，阿伯爹喏：

那日奉命到他鄉 可恨駱賓太不良

到我公館來辱罵 他竟與我鬧一場

聲聲要把婚來退 勿肯與我結鴛鴦

孩兒打扮去私訪 他家花園去察詳

來了駱氏不賢女 又比駱賓狠心腸

他說道若還洞房花燭夜 當夜要撥我見閻王

還要嫁撥小新來 相貌醜陋不像人

葛種賤人有何用 還是快快起退婚

阿伯爹噲，看伊相貌醜陋不堪，良心兇狠，還是快去退婚是者。 千 兒嚇，你且進去，爲父與你另配如花似玉之女。 丑 多謝阿伯爹。 千 嚇，駱賓，嚇，駱賓，你有如此大膽，竟敢辱罵世子爺，且住，待我先將小賤人離退，再奏聞聖上便了。

沈榮手執無情筆 字字行行寫情節

一封退書來寫好 啓口就把家人叫

家將。 淨 唷。 千 我有書信一封，速往泉州府晉江縣駱府投遞，不要回文，速去速回，不得有誤。 淨 得令。 千 來呀。 什 唷。 千 速備行李，起道進京。

慢[201]表千歲上京城 淨 要表家將在路行

[201] “慢”，原寫作“曼”， 以意正。下同。

曉行夜宿無耽擱 來到泉州一座城

不日進了晉江縣 到了駱府大墻門

啓口就把門官叫 千歲有信到來臨

交代書信回身轉 淨 門官進内報事情

急忙進内，啓稟相爺，潼關千歲有書信一封呈上，來人去了，不要回文。 相 待我看來。嗄，原來是一封退婚書，且住，待我進内，與賢者們商議，來至内堂。 少 公公在上，媳婦萬福。 相 嚇，賢者一旁坐下。 少 未知公公進來有何吩咐？ 相 非爲别事，今日沈榮有書信到來，爲公拆書觀看，原來是一張退書，還要爲公上殿面聖。 少 嚇，公公，既是退書，就可爲憑，面聖何妨？ 相 對，面聖何妨？如此爲公去也。 少 媳婦們候送。 相 來。 什 唷。 相 打道進京嗄。

慢表相爺上京城 旦 要表閨閣女千金

聞知沈標婚來退 心中暗暗喜十分

忽然想起梅花戒 要接完英到來臨

回言就把嫂嫂叫 小姑有言告知聞

嚇，衆位嫂嫂，我想完英妹妹，去接他到來，敍談心情，未知嫂嫂，尊意如何？ 少 姑娘言之有理，丫環你去叫家人打轎，到楊家接二小姐到來，不得有誤。 丫 丫環曉得。

丫 丫[202]環奉命不留停 將言囑咐眾家人

家人備轎去如雲 來到楊家說分明

標 天標聽了多明白 進房說與女兒聽

[202]原無“丫”字，據石印本補。

英 完英姑娘遵父命 腹中暗暗喜十分

拜別爹娘身上轎 一路蹈蹈[203]進府門

丫 丫環急忙來通報 少 姑嫂一齊出來迎

二姑娘請進内堂。 英 衆位嫂嫂請。 旦 賢妹請。 英 姐姐請。

少 姑嫂謙遜坐定身 丫 丫環即便送香茗

八位姑嫂齊動問 在家大小可安寧

英 完英姑娘回言答 嫂嫂姐姐在上聽

爹娘在家都平安 奴奴也是体安寧

少 夫人吩咐忙擺酒 款待二姑女千金

丫 丫環急忙擺酒宴[204] 眾 大家謙遜坐分賓

酒至數杯筵席散 旦 姐妹挽手進房門

打發丫環出房去 關門啓口問一聲

小妹嚇自從姐妹來分別 惟恐日反[205]兩疏情

奴有一對梅花戒 一隻贈與賢妹身

原說姐妹重相會 戒子成對兩安心

奴奴一隻今還在 賢妹一隻可在身

英 完英聽言吃一驚 姐姐問戒爲何因

心中思想生巧計 就把姐姐叫一聲

姐姐嚇只因家父少錢用 戒子兌換雪[206]花銀

旦 姣英聽説怒氣生 賢妹你瞞三瞞四不該因

---

[203]蹈蹈，石印本(第 28 頁)作“滔滔”。
[204]“宴”，原寫作“晏”，今正。
[205]“反”字，待考。石印本作“惟恐日遠兩疏情轉”（第 28 頁）。
[206]“雪”，原寫作“彐”，今正。下同。

怎說令尊少錢用 怎說兌換雪花銀

你今天休得來瞞我 你的戒子在我身

梅花戒子成雙對 請你自己看分明

英 嚇，完英一見魂不在 想奴乃日贈王生

因何落在小姐手 不顧羞愧問一聲

請問姐姐何處得 多少銀子買進門

旦 賢妹嚇你花言巧語來騙我 休想爲姐說真情

英 嚇姐姐小妹怎敢隱瞞，實言奉告便了。

勸姐切莫怒氣生 小妹一一告衷情

乃日家母到河邊去 遇見一位小書生

家住寧波定海縣 三字名叫王應文

今年年方十六春 十五歲上入黌門

只爲看潮身失水 浸在河中無計生

家母一見將他救 將他留住贈衣衿

小妹與他終身訂 梅花戒子贈王生

爹爹將他來背出 奴奴是望斷秋水無音信

小妹真情來說出 還望姐姐說其情

旦 你說書生王應文 那日路過後花園門

卻被我父來看見 將他留進在府門

送茶露出梅花戒 奴奴見了問其情

他將真情告訴我 爲姐才知內中情

後來家父得知情 叫他上京趕功名

奴想賢妹有福份 許配乃稱心如意好郎君

唯有姣英薄命人 不及你賢妹半毫分

英 姐姐嚇你是豪門多情女 相府門第閨千金

郎才女貌閨千金 鳳冠霞帔[207]做夫人

慢表閨閣情由事 皇 再表唐王坐龍庭

河清海晏，國泰民安。 淨 億[208]。 王 寡人大唐天子是也，自從登基以來，刀槍入庫，馬放青山，風調雨順，國泰民安，此乃一朝之洪福也，今當大朝日期，侍兒，宣放龍門。

内 萬歲有旨，宣放龍門。 淨[209] 億。 臣[210] 臣等見駕，吾主萬歲。王 眾卿平身。 臣 萬萬歲。 王 眾愛卿，今乃大朝日期，有事奏上，無事退班。 千 臣平西王沈榮，有本啓奏。 王 奏來。 千 臣啓萬歲，臣子沈標，蒙聖恩作伐駱賓之女，配與臣子爲室，臣子去到他家成親，駱賓不允倒也罷了，反而辱罵臣子，有賴婚之意，望吾皇降旨。

王 大膽駱賓，你女寡人爲媒，配與平西王爲媳，你敢圖賴婚姻，該當何罪？ 相 臣啓稟萬歲，非是微臣有賴婚之意，乃沈榮將我女離退，今有沈榮親筆退書呈上，請萬歲龍目觀看。 王 大膽沈標[211]，你完全是顛倒是非，混淆黑白。 帥 當有黑元帥出班奏道，嚇呀，萬歲嚇，沈榮父子有謀叛之心，意欲高麗借兵十萬，殺進中原，要奪取錦繡江山，現有私通反書呈上。 王 待寡人看來，呵，可惱可惱，大膽沈榮、大膽沈榮，寡人何等看待與你，你起不良之心，宣武士上殿。

---

[207]“帔”，原寫作“佩”，今正。
[208]待校。或改寫“噫”。下同。
[209]此字原寫在“億”字後面，今以意正。
[210]原缺“臣”字，據義補。
[211]沈標，應寫作“沈榮”。

什 在。 王 將沈榮父子綁[212]在殿外，本該斬首，念其昔[213]日平西有功，從寬發落，嚴押邊關充軍，永不回中原，立即起程。 内 領旨。 王 黑元帥出首有功，封爲威鎮將軍，永鎮潼關。 帥 領旨。 王 駱愛卿過來聽旨。 相 臣在。 王 待等大典，挑選才貌雙全之人，招爲東床，寡人爲媒，與姣英配完花燭，謝恩退班。

相 謝主龍恩。

駱相父子出朝門　官 再表考期到來臨

考官登堂來坐定　舉 舉子紛紛進場臨

官 奉旨考奇才，舉子進場來，三場文字端，立選狀元郎，老天翰林院吉天祥，奉旨考取天下奇才，來嚇，把貢院門大開。 生 嗄嗄，大開貢院門。 官 生員各分天地字號。 生 生員天字號。 丑 學生地地寶。

官 天字號上堂領對。 生 請太師出題目。 官 風吹馬尾千條綫。 生 對就了，日照龍鱗萬點金。 官 好奇才，龍虎日看榜。 生 謝太師。 官 地字號領對。 丑 請太師吃牛肉。 官 出題目。 丑 才個才個，出題目。 官 前面一隻雌雞，後面一隻雄雞，追來以追起[214]，好像一對夫妻。 丑 早[215]死者，剛做壽生經一卷，來帶者。前頭一隻雌狗，後頭隻雄狗，好像老太師個娘舅。 官 呸，文字下流，趕出貢院。 丑 喂，做我實介趕出者，我三年勿來考，考場出青草，還實居起賣大餅

---

[212] “綁”，原寫作“邦”，今正。
[213] “昔”，原寫作“惜”，今正。
[214]追來以追起，意謂追來又追去。
[215] “早”字，據義，疑爲“找”之誤。

油條起。 官 舉子文字好，上殿奏皇朝，來嚇。 什 唷。 官[216] 起道上朝。什 嗄嗄

官 不表考官上朝庭 王 要表唐王寫詔[217]照文

萬歲御筆來親點 頭名狀元王應文

榜眼出在山東省 探花出在浙江人

生 狀元步入金堦上 臣叩君王萬萬年

臣新科狀元見駕，我主萬歲。 皇 平身，殿元公見寡人因何不擡頭？

生 容貌醜陋，不敢擡頭。 皇 容貌乃是父母生就，膽大擡起頭來。

生 請萬歲龍目觀看。 皇 妙呀，狀元才貌雙全，寡人龍心大喜，奉旨遊街三天，狀元所奏，寡人俱已明白，愛卿爲看潮失水，多虧楊天標之妻相救，封楊天標七品官帶，義僕王德扶養愛卿有功，欽賜八品官帶，卿妻楊氏完英封爲二品淑德夫人，朕爲媒駱賓之女，駱氏姣英，配與狀元爲室，封爲一品淑德夫人，卿父母身居極品，愛卿祭祖歸家，奉旨完姻，事畢來京受職，謝恩去罷。 生 萬歲萬歲萬萬歲。

狀元謝恩出朝門 心中歡悅喜非常

多蒙萬歲爲月老 駱氏姣英配成雙

上京得中爲魁首 奉旨祭祖轉家邦

不表狀元回家事 相 提表相爺把話講

將情說與衆人曉 淨 闔家歡悅喜非常

相 內邊家人聽着，你們速備轎子去接楊天標夫婦到來。

什[218] 嗄嗄

---

[216]原缺“官”字，據義補。

[217]“詔”，原寫作“照”。石印本作“君王傳旨宣詔文”（第 29 頁），今從之。

淨 家人奉命去如雲 來到楊家說原因

標 天標夫婦多歡喜 夫妻雙雙就起程

行來已到相府地 相 相爺即忙出來迎

標 相爺在上，楊天標夫妻叩頭者。 相 不敢，請起。 標 相爺呼喚楊天標夫婦進府，有何吩咐？相 相爺把前後情由細說一遍。 標 天標夫妻聞言，好不歡悅人也。

難得皇帝做媒人 阿囡配與狀元身

多蒙相爺來擡舉 接我夫妻進府門

揀定黃道並吉日 一同送親去完姻

不表送親情由事 生 再表狀元到家門

淨 報王伯伯，相公得中頭名狀元居來者。 外 胡說。 淨 真當居來者。 外 有這等事來？真真謝天謝地，待我前去看來，來至高廳，相公在上，老奴王德叩頭。 生 老人家請起，難得你忠心義膽，老人家受小生一拜。 外 嚇，這是使不得的，豈非要折死老奴了？

相公作別到如今 老奴在家好傷心

總道今生難相會 誰知今日又重逢

相公嚇何人前來相救你 老奴跟前說仔細

生 狀元即便回言答 就把王德叫一聲

應文就把情由訴 一一從頭說分明

自從看潮來失水 在潮滚入泉州城

多蒙楊媽來相救 與他女完英訂終身

---

[218]原缺“什”字，據義補。

後來進入駱相府　内外出入書童稱

多虧駱相爺來盤問　我將真情說他聽

相爺聽了多歡欣　贈我盤費上京城

考試得中第一名　奉旨祭祖轉家門

虧你一片忠心義　你是我家大恩人

不表主僕來談講　什　家人進内報事情

啓報狀元老爺，外面文武官員齊到，有名帖呈上。　生　吩咐下去，叫文武官員回衙理事，請定海縣鄭大人進見。　什　是，大人吩咐下來，文武官員回衙理事，請定海縣進見。　生　父台請，晚生有禮。　鄭　不敢，狀元公呼喚卑職有何貴事？　生　請父台潮神殿代爲非心修理，完畢之後，待晚生拈香。　鄭　如此領命，就此告退。　生　候送。　鄭　打轎。

知縣告别轉家門　吩咐工匠修殿庭

不多幾日已修畢　生　狀元上殿了還願心

祝告已畢回家轉　什　家人重又報事情

報，駱相爺與楊老爺、太太送小姐到。　生　大開正門出外迎接。二位岳父母請。　標　狀元女婿大姑爺請，咳，人人都說狀元生得好，仰我來瞧一瞧，喂，葛家主婆，我看葛個狀元老爺好像舊年頭八月裏個鳳陽婆呢。丑　偌個老冤家個眼力才好。　生　内邊家人聽着，上掛燈結彩，下紅毡鋪地，點起龍鳳花燭，傳儐相[219]。

賓　來者來者。我做賓相，喉嚨[220]勿響，看見魚元[221]兩隻眼睛殺亮，伊

---

[219]儐相”，原寫作“賓相”，今正。下同。
[220]“嚨”，原寫作“龍”，今正。

話半斤，我話八刃，伊話桐瀘，我話浦洋，伊話銅冲，我話鳥槍，伊話財神，我話壁墻，大家要硬長[222]硬長，介末我來讚[223]禮者。伏以水上一對金雞浮，鳳凰一對結鸞儔[224]，山水相逢同羅帳，一夫兩婦樂悠悠[225]，賓相好言讚紅妝，三請駙馬入華堂，請拜。

生 四拜天來四拜地 回身四拜祖先堂

再拜堂上老大人 牽紅移步入洞房

光陰迅速容易過 旦 兩位夫人產兒郎

每位夫人生一女 又有兩位公子郎

慢表得子情由事 旦 姣英夫人把話講

嚇，賢妹，想奴萬歲爲媒，錯配沈標，總是前世宿債之故，受了多少磨難，如今我看破紅塵，以修來世。 完 姐姐，小妹早有此心，不如一同修行。正說之間。 生 狀元步入内堂。嚇，二位夫人講些什麼？

旦 嚇，相公，想是爲人之苦也。

可嘆爲人不肯修 受苦受難變骷髏

爲人可比三春草 作惡行兇不到頭

奴今看破紅塵界 奉勸相公早早修

生 狀元即便回言答 下官任滿回家修

狀元任滿歸家，夫妻三人，依歸同修。 標 楊天標夫婦，見兒婿們修行，也覺回心轉意，同修佛道，壽數已盡，無疾歸天。 生 狀元如親

---

[221]魚元，義未詳。
[222]硬長，義未詳。
[223]“讚”，原寫作“贊”，今正。下同。
[224]“鸞儔”，原寫作“鸞綢”，今正。鸞儔，即鸞鳳儔，指夫妻。
[225]“悠”，原寫作“纫”，疑“幼”之錯字。悠與幼，音近而誤，今正。石印本作“東西謙遜樂綢繆”（第 31 頁）。

治喪，殯殮安葬歸山，夫妻三人修到三十年後。 神 太白星君接到王旨一道，聽喧讀詔曰，今由王應文是文曲星下凡，投入紅塵，駱氏姣英、楊氏完英，是月宮仙女下凡，投入紅塵，勸夫修道，同歸原位，兩位公子，出仕爲官下去公侯之位，蘭桂芬芳，雙英寶卷前後四回，恩怨分明，忠孝雙全，大聚團圓，拜謝皇恩天地也。

雙英寶卷宣完全 月再圓來花再鮮

應文是個文曲星 大罵潮神有牽連

兩位夫人月宮女 墮[226]落紅塵受熬煎

後來勸夫同修道 仍作嫦娥月裏仙

留下兩位賢公子 也是唐朝伴君前

駱相後來善心堅 修功圓滿上西天

王德蒼頭多仁義 壽高歸天好安眠

天標夫婦後修道 無病無疾升西天

沈榮父子多陰險 邊關充軍實可憐

阿彌陀佛多念念 勿費工夫勿費錢

一言能積無量福 千金難買子孫賢

不信但聽雙英卷 不成菩薩也成仙

今日宣部雙英卷 一年四季保平安

[226] “墮”，原寫作“隋”，今正。

双英宝卷初展开　恭请神圣降坛前
善男信女虔诚听　增福延寿永无灾

恭闻双英宝卷名曰梅花戒，出在大唐永徽年间，提表浙江省，宁波府，定海县，却说一人。(里)小生姓王名应文，在年二八父亲建贵，在日宦居首相，母亲张氏诰受皇封，不幸双亲去世，单生小生一人，幸喜身入洪门，这也不在话下，且喜家财豪庆田园广阔，小生立志攻书，不能上达，心中烦闷，想今日那是八月十八大潮日期，不免去到江边看潮一回，待家与王德说明而去，王德那里(外)来了，忽听相公叫，上前问分晓，相公在上，老奴叩头。(生)起来(外)叫老奴出来有何吩咐。(二)叫你出来非为别事，今日大潮日期

家意欲去到江边看潮一回(外)叫相公，本该不去才好，想相公未曾见过潮水，况且总日愁闷，书房就去看看到也使得，须要早去早回，以免老奴在家悬念。(生)这个自然，王兴随家往江边一走。(丑)唯晓得者

(生)应文移步出门庭　(丑)王兴书童随后跟
路上行人多热闹　人挨人挤闹盈盈
老人扶杖缓缓走　年少力壮向前行
不觉来到大江边　(丑)书童启口把话说

喂相公，江边到者，看潮时辰还勿到，偌到潮神庭去游玩玩，才话潮头起来者，家会来呕偌个。(生)如此你在此等候家到商内去游玩一番，使了。(丑)呕

(生)应文进了潮神庭　只所男女许多言
观看神前多供奉　人人许愿与求千
潮神菩萨何灵忑　尽是泥塑木雕全
内中必定有缘古　请出商祝问庆因

商祝那里(什)来者，相公叫贫道出来有何吩咐。(生)家来问你，潮神大王有何灵验，百姓们因何如此诚敬。(什)启禀相公，潮神大王十分灵验，求男得男，求女得女，故而善男信女都来叩求许庆。(生)有这等事来，嗄，可惊，想神明也贪人愿，非是真神也

应文听说气呛哮　两太阳中火直冒

官府貪枉該有界　何況神圣掌天曹
小生有日功名顯　就將此事奏当朝
留叫泥身未拆毀　又將大展火未燒
正在廟中生怒　王兴老童叫看潮
喂相公：潮来者快，看潮起者。邪神叫邪神，待亦看
潮以后，再来讨鸡与你。哈相公伊家泥塑木雕尔，骂他
也是无用尔。吮驹才多讲，亦何看潮去吧。呖呖滔
主仆双：出看门　观看潮头爆层：
不表庄文看潮事　提表神圣显威灵
手执生死簿，坐起摄魂位，兼理民间事，执掌亦为先

岂乃潮神是也，奉玉帝勅旨，执掌三界，上管风雲雷雨，中
察水府神祇，下洞民間禍福，夫妻姻缘，这也不在话下。今
有王庄文在吾庭下，恭凌吾神，实才可恨，若不显圣，他那
晓吾神灵验，吓想王庄文乃是文曲星君下凡，他的姻缘
落在福延泉州府，不免唤出庄文，查问何在。在神今有
王英文乃是文曲星下凡，你将他赶潮带到福延泉州府
晋江县地界，争落沙滩，不准伤他性命，速来复旨。今奉
曼表潮神按排定　再表书生王庄文
站立江边来观看　远望潮头白如良
庄又一阵狂风起　将他吹落江中心

庄文身在波浪内　随波逐流不知性
王兴唬得魂飞散　救命：叫连声
吓匆好者：岸上众位叔：伯：哈，亦里相公番落海里者
被潮水冲得起者，求：众位大叔救：若还救起来，有赏
哈，介尔大江之中，浪滔滔，如何救得，救勿起尔：：：
吓相公嗳：吓且住，想亦在此啼也是枉然，还是报与看官
王兴啼哭出回来　报与看官：得知性
一路来到府门者　看官：：叫连声
王伯：：匆好者：：怎何　相公看潮，被潮水冲得起者
你待点讲　相公被潮水冲得起者　当正　当正　果然

果然　吓的　看官：苏醒：：：吓不好了
听得此言魂胆碎　相公淹死好伤心
曾记相公托付家　叫家抚养小主人
不该今日看潮去　皆因老奴少主心
谁知看潮起祸端　主仆顷刻两苦分
想来　王门香火何人接　老奴往带一片心
思想性由心悲泣　啼：哭：叫主人
且住，想亦相公争伤潮中，待亦去到江边，收其尸首归
家，王兴随亦来　啦
第5王兴往前行　一路啼哭到江边

观看尸首无踪迹
想分 你好：在家攻书读
哭罢无奈回身占
早供茶饭准供水
不表王德先头了
进庙报与大王晓
不表浙江潮神了
一生无法计 柯鱼当生意 但见生意好 勿会做肚皮 今朝
潮头退 大家柯鱼起 大鱼柯一条 大家笑喜 条叫好 二
条叫三 四三喂阿哥 今朝是 十八 大朝汛

四中好似滚油煎
四晚看潮伤黄泉
设立坛牌在厅前
孤单寂寞泪连
再表报又来报官
潮神大王笑开颜
另表 福延捕鱼人

潮头退者仔柯潮头鱼起者 好阿弟让来扎网 张起摇
船 阿弟对面汇水坊里有个大姐窝弟 一定有大鱼冬
让家来扎一网 来弟者着力拖起来 喂阿弟勿对 勿
是鱼是个人 阿哥困落起 阿弟有句话人命关天
才活好做 伊活来能造福万代 家看伊个人手里个脉还
来弟跳来 仔不伊沙滩里起拖起吭 哎家划过起 仔
把伊拖起沙滩一定勿活个 拖来拖起弟者 仔还是再柯鱼起
不表弟人柯鱼起 再表应文来弟醒
睁开双目来观看 犹如梦中一般形

吓且住 想家明：在早夜看潮 因何来到沙滩之上

子上尽是咸水泥沙 看那旁有位老人家在此 待家前去问
来 前面老丈活了 活了 家是借问一声 此地什么地方
此地是福延泉州界 往这里进去就是西
门了 承蒙老丈指教 好说 吓且住家明：记得在宁波
看潮 因何来到福延地界 这有奇了
家在宁波把潮看
莫非家把潮神骂
将家滚到泉州地
双脚跪在尘埃地
保佑弟子回家西

因何来到福延城
难道神圣显威灵
神圣扶佑命出存
深深四拜告神明
重修福宁佛装金

且住想家身上尽是咸水泥沙 看前面有条活水小河 看四下
无人待家将衣衫脱下 趁着日当空 将衣衫晒在桥上
等到晒燥 穿着再走 待家未脱下衣衫 晒在桥边去洗身
应文即使脱衣衫
不表应文来洗身
卷中另有不良人
家做偷儿本事高 剪绺挖包勿用刀 偷来良子撒在脏 吃
沈吃肉勿汇钞：自家非别 自望光伙是 想家爹娘遗落
弟家当嚼有勿少 被家个朝赌 明朝嫖 弄得滑光精
光 昨日子又输得一票 家总统 这弄吃生意 来个 好做反
赌本钱 唉 望弟过起 万年桥高头 有个族新全新衣裳

晒帶一定是老天爷菩萨，道家良子，衝光者，未不家做賭本，仰家主常过起，尚淫伊来是者，吓妙呀好洗水好快活嘻，葛息辰光佬斗快活，仔是主不佬勿快活者，岸上你位仁兄，这套衣服是家的，你勿要动它，晒晒家主穿的，佬好穿家也好穿了，你莫非是賊，賊斗勿要賊，不过是了三只手家，戏赌輸板者，问佬佬：做：賭本，蠟来还佬是者，吓不好了，佬佬勿好，家落曼好，家抱淫起来是者虐

望光，抱衣喜欢欣

不表望光賭场事

可恨，賊子伤良心

只見前面有河埠

不表应文河埠浸

速：前去求救星

另表天标当场人

门前方栽三尺布，靴来靴起抬顏主，日年做淫十红汎，斗有九红酸如醋，自家非别，揚天标，仅是一向在福延泉州府晋江县，讨之一个家主婆，乃是纸兴府山阴县人氏，夫妻两个头指望生个白胖：倪子，哥大起来好替家做：厨房跪：店堂乃晓淫个主婆肚皮勿涨气，生淫个囡斗：家想大人家生个囡斗勿要紧，哪总经济人家生个囡，直脚宛者，故以家不伴阿囡取名叫阿宛，家在路相府隔壁开斗饭店，生意斗也勿息，相府有几位少爷在京里做官，家里有几位

少夫人，还有一位小姐，常来遊玩花园，家个家主婆喘口生淫活动，囡长囡短，一走三走，相府花来走熟者，葛位小姐見哪阿囡有几分开正，当在相府陪伴：问哪阿囡有多少年纪叫个名字，哪阿囡话，叫阿宛，今年有十六岁者，小姐话者大姐娘叫阿宛，难听个，小姐话宛字不成，加个英字，呕起就好听者，小姐话家个名字叫好英，嘴两个都是英英，成双英，不如结拜姐妹，同小姐同哈同住，同学刺绣，外加同学文章，家里阿囡晓得日子后来者，陪小姐送伊满房摆设，样样齐全，真：有缘，看淫哪阿囡也斯文一脉者，人品生淫越加漂亮者，宛淫，家还勿许，媒人坐

门槛都要踏断者，正是乃高未勿配，低未勿对，家话阿囡哈要不佬住大门看，闲话少说，天已经晚者，让家要做是时面者，呕伴家主婆淘米洗坐起者，阿宛拉个娘哈天已经是者，佬佬淘米洗坐起者，佬个老冤家，家刚刚摇淫坐水来弗洗脚，呕家乃葛立淫起，还是呕哈阿囡起，阿囡哈，嗳，则家，阿囡哈做娘个刚：葛淫坐水弗洗脚，乃要呕家要淘米洗坐起者，家一时立勿起，佬代娘个去洗，来，女儿晓淫，吓苦吓，佬在来弗应眼里水脚：葛来弗流出来者，咳家好命苦吓

宛英无奈伤神也

手执篱笆走出门

将牙来斗河埠口　　只見男儿水中浸
心中发慌红了脸　　慌忙回店廊门
关了房门呆了立
走近妈：问虎因
阿因偌淘米洗菜奈菡咚者　　也来外面有这个　这个乃
个偌河沿天淘米洗菜斗勿起　屁股朝海里脸孔红一阵
白一阵　实个立带咚　难道来个海白个　共个海活爽个
也来外面有　有个个来西咚　做娘个来看　苦吓　还有
偌个小贼骨头带来　白条　莫别个河埠头浸带咚
来咚　则个　难怪啊阿因要逃进来者　承老太婆都难看来者
吓妈　小生一言难尽　阿偌来咚摸面眼　吓承一言难尽

介偌道話：看　吓妈：吓
妈：在上听虎因　　小生一：告知闻
家住浙江宁波府　　定海县内王家门
父：名叫王廷贵　　官居极品在朝廷
父娘不生多男子　　单生小生一个人
今年：方十六春　　三字名叫王应文
妈：启口来动问　　你光着个体为何因
小子庄：既然你是宁波定海县人氏　又是官家之子　怎么会
来斗福延呢　吓妈：有故来知　只因家看潮失水
洗尽衣服晒在桥上　被贼子偷去了　还望妈：发：慈悲

相救当承　日后因报大恩　介末偌来带　承起抱海衣裳来
多谢妈　吓呀　想啊老：野猫过世　究海跟皮个　有者：：
承有件古老十代个海青咚　裤末究海承条布裙　仰伊
繫：　承还有一双闲堂鞋　呸伊拖：咳者　喂阿因　也来
河埠头实个　岸相个子　做娘个丞起　救海起来者　究海
救带进来　呸伊鞋里坐：呢　也来房中　承个房里　乃
父穿进穿出来咚走　还是斗偌个房里起坐　女儿
房中如何使得　阿因呀　做好个怕伊舍　仰承起救海进
来是者
妈：解衣斗海沿　　指头点了后生面

即忙启口把座吓　　喏快：穿衣进为边
喂小后生　喏可切海冬：　立起来实难看各　喏莫条布裙
繫带冬　海青披带冬　鞋来拖带冬　多谢妈：　淺妈：
站过一边　小生上岸来了
应文上岸使穿衣　　一条布裙当裤繫
回了妈：来行走　　进门即使怕施礼
妈：在上小生奉拜　相公勿敢：：　喏河里浸海冷杀咚者
快斗啊　阿因房里坐：　仔息承搬沈饭来　仰喏吃海
热落：好走　多谢妈：：
妈：洗罢斗店廊　　王应文接步入内房

只見擺設多精雅　四面圍〻掛斗方
兩边四把象牙椅　楠木茶几分兩旁
上方一張春台桌　四大美女掛中堂
西施溪水把紗繞　貂蟬拜月咒奸党
心悶醉沈楊貴妃　昭君亦寨好凄偟
一付对聯分左右　古人提詩有名堂
左寫偶落花千点　右寫一舞蝶成双
楠木旌台窗前擺　紫松鏡架水磨光
桂花床岩紋四帳　白銅帳句掛香囊
艮紅夾被鑲金段　鴛鴦花枕远芬芳

庄文看罢多欢悅　滿房擺設不尋常
吓妙吓家道平常之家，原来擺設如此幽雅，且住，有現成床帳在此，想家身子困倦，不免待家下帳安睡片刻便了
庄文安睡养精神　心中暗〻喜十分
曼表书生安睡了　(丑)再表杨媽叫完英
阿囡哈，喏四盘一汤，沈一壺，饭一桶，偌搬得进起，仰伊吃得好走。(完)女儿不去(丑)做好了怕伊舍。(杨)阿完賴娘哈，快〻来收銅錢者(丑)呸阿囡喏快〻搬得进去，做娘个丑斗店堂里收銅錢起者
媽〻說罢走匆〻　(完)完英送饭滿臉紅

无奈搬进房中去　吓不見书生王相公
只見罗帳来放下　想必安睡奴床中
奴也不顧羞和耻　免端起口叫相公
相公起来，請用沈饭了，(生)啊〻家道是誰，原来是一位大姐
吓大姐，小生多〻失礼了，(完)好說〻〻
(生)庄文起身坐床沿　只見大姐美齐顏
今日小生多失礼　身子困倦在床眠
多亏媽〻来相救　又劳大姐希心田
吓大姐小生牽掛(完)奴家看礼奉还，請問相公府居何处
尊姓大名，乞道其詳(生)大姐听道

家住在　浙江省　宁波府内
家爹〻　王廷貴　身居极品
难生家　十六春　取名庄文
只因为　去看潮　宁波失水
蒙菴天　飄斗此　不伤残身
亏大姐　送沈饭　难报你恩
吓大姐，难生多亏媽〻相救，承蒙大姐送饭，此恩日后图报，請問大姐芳名，方才救家的乃位恩媽〻是你大姐何人(完)相公听道
完英姑娘說原因　就把相公叫一声

相公吓 爹〻各叫扬天标
救你之人非别个
若要问家奴的名
(生) 应文听说暗思忖
家把大姐看灵法
头上青丝乌雲照
眉似春天柳初放
小脚金莲长三寸
应文正在呆〻看
家把书生看端正

开井饭店过时光
就是奴的老娘亲
三字各叫扬完英
好位大姐伶俐人
容貌堂〻无批评
蟠龙结上放光明
一双秋波水淋〻
尤如仙女下凡尘
(生) 完英偷〻看书生
一表人才美少年

相貌堂〻多英俊
天庭饱满世无双
羞〻答〻相公叫
眉法目秀一书生
好似潘安占还魂
快请相公沉饭吞
(生) 多谢大姐吓大姐小生有言不敢启齿 (完) 相公但说何妨 (生) 吓
大姐小生多蒙你们女相救 恩恩非浅 意欲与你结
为百年偕伴望大姐应允 (完) 吓相公吓
你是官家豪门后
相公前程多锦绣
奴是贫家女叙裙
奴家不敢许终身
(生) 森小生不是负心汉
大姐只管放宽心
3 大姐若是不信小生就可对天盟誓也

双膝跪在地埃尘
家与完英定终身
小生若还负完英
(完) 相公言重了
相公吓今日你终身订
奴有一只梅花戒
(生) 英文接戒心欢喜
小生有日功名就
不表私订终身了
可完 (完) 爹〻舍了体 (标) 家有笔帐
过往神圣在上听
海枯石烂不变心
五雷击顶不起生
奴家无物来相赠
送你至生作为聘
多谢大姐许终身
风冠霞帔报你恩
(标) 捏表天标叫完英
偌来拨家写〻冬帐薄里

(完) 女儿等息来写 (标) 唉还实快些来写做爹个记心曼〻息个
等息要忘记个 偌笔墨纸砚抱得来快些来写 (完) 笔墨
纸砚在女儿房中待女儿斗房中去斛来 (标) 仰家起抱起偌
脚迷〻小葛跌得跤要讨债者 (完) 爹〻你年纪老了还是
女儿去斛好 (标) 仰家起 (完) 女儿去 (标) 偌话偌起 家话家起
偌个房里有啥个古董宝具哼 勿许做爹个走进起
家今朝偏〻要走带进起带来 喂青天大白日帐子为
金勿上起 仰家来上起 喂棉被都勿折好 还动〻来带动
家揭带开来看〻带来 吓家道舍西 乃晚得还是个
2 风阳婆介个小花娘带来 家道葛两日 朱介勿禁吃者

柴有勿禁燒者，都不萬了，風阳婆吃光了，家今朝勿
来打喏，也勿来罵喏，來门外青山高头老虎来咬，作乱
仰家来背得伊起，伺老虎起来罢者，
杨天标拉住风阳婆　上前一把紧紧拖
将伊背出房门外　高声大罵老气婆
房里关得风阳婆　偏偏做弄家老人家
急急忙忙背了走　杨媽媽見　泪如梭
完英此刻难分捨　有口难言没奈何
喂王生喂喂　吓阿囡介好了，宰相公子，不落老冤家当风
阳婆背斗青山高头伺老虎起者，做娘了正当肉痛

来者，倘若伤了性命，家吹来，带做罢了者　吓当来
吓王生喂喂
完英姑娘泪纷纷　有口难言說不清
王生若有長和短　奴家终身靠何人
家与王生終身訂　爹娘乃里会知情
但愿苍天来保佑　无灾无难脫逃生
不表完英心悲泣　再表天标上山林
喂斗者……拔若来带伺老虎，家要落山起者
杨天标　怒气冲冲下山占家门　要与娘囡道理评
立斗此处们头回　相对卖身下回云

离别家乡看数回　未知何日返家庭
小生王应文，宁波定海县人氏，自从乃日看潮失水，漂斗
此地，谁知衣衫，鞋袜被，贼人窃去，多言媽媽相救，与家
身上穿了女人衣服，芒在山闲，与完英大姐私订终身，杨
天标将家错认风阳婆，背斗此山，喜得机关未露，不然
性命难保，看离城不远，待家下山去吧，吓且住，想家身
无分文，如何是好，只得去斗街坊，沿街求气，待斗有了
银子，就可回家，家来此已是十字街口，前去求气使了
王应文移步向前行　腹中饥饿好难禁
行走来斗十字街口　只得跪地求善人

哀求 开店开厂老阔们
保佑 店门顺利保平安
保佑 四面贵人相照应
保佑 生意兴隆多茂盛
哀求 吃素唸佛太太们
保佑 福也增来寿也增
保佑 眼目清亮脚手健
哀求 贤良好心大娘们
救救家庄文落难人
保佑 早生桂子跳龙门

纶财铜钱丢几文
顺风跑舵保太平
八方财宝进门庭
一年四季赚黄金
慈悲铜钱丢几文
寿比南山老寿星
兒孫滿堂闹盈盈
贤德铜钱丢几文
保佑 夫妻和睦情义深
白头并老福寿增

13

哀求 漂漂亮亮姑娘们
保佑 有福有寿多福份
哀求 年青力壮叔伯们
救救家个落难人
哀求 读书赶考官官们
保佑 连科高升步步进
保佑 做中央干卫接班人
保佑 增福延寿保长生
哀求 种田下地叔伯们
保佑 年年健康福寿增

加班铜钱丢几文
配个老阔做夫人
辛苦铜钱丢几文
保佑 一年四季赚黄金
聪明智慧铜钱丢几文
大学考进穩智定
新年进出跃门庭
一家团团笑盈盈
辛苦铜钱丢几文
田秋年年好收成

今日家讨得铜钱有千文
谢谢各位善心人
可惜半男半女好羞人
叫家何处去安身
不表庄文情由了
相 卷中另表一公卿
不如意了常八九，可与人言无二三，老夫路宾，官拜首相
执掌朝纲，夫人李氏，生下七子一女，孩儿具在朝中为官
七位媳妇在家，家女姣英在年二八，当初万岁为媒，许配
潼关沈菜之子，沈标为室，如今闻得沈标丑陋不堪，而
且倚势横行，夫人闻知，忧郁得病身亡，家女总日
啼哭不止，一为娘亲亡故，二为错配婚姻，每欲自尽
多亏七位贤媳解劝，为此老夫无心伴驾，告老还乡

12

思想起来，好不忧虑人也
相爺问坐在书厅
害得夫人身亡故
不该将他来错配
想沈标 虽然他父是千岁
本该将他婚来退
幸亏贤者多淑德
进退两难真无奈
心中思想多烦闷
只为女儿错配亲
害得女儿哭悲疼
如今忧愁也无门
悉势横行不成文
违逆圣旨罪非轻
终日解劝女儿身
因此告假占家门
有了 忽生巧计把话说
且住，家女儿总日烦闷不乐，心里不宁，需要与他解愁消闷

啊是、不免叫了环步来、与他解愁消闷为妙、众了环乃重
来者、太师在上、众了环叩头、起来、叫了环步来有
何吩咐、别了、你们进去吩咐小姐一笑值千金、
两笑呢、就是二丑、三笑呢、三丑、十笑呢、就是十丑、倘
若小姐笑得胃口开者、喇巴笑得闭勿弄者、太师赏良
子多少者、促小贱胡说、阿姐、阿妹呵、太师发恶礼
者、得大家还笑哭小姐起笑起、哭大家走吟、
一众了环往内行
前去吩咐笑黄千金
不表了环性由了、
提表姣英姑娘啼
绕阁唐深唐日长、佳人无意绕妃央、奴家路内姣英

年方二八多、踏实、崔拜首相、步来李氏、不幸去世
七位兄长在朝伴驾、嫂、们在家十分贤德、这也不在
话下、想奴终身由万岁为媒、许配潼关沈千岁之子、沈
标为室、用得他相貌陋、道理全无、依势横行、奴的
终身如何是好、思想起来、好不伤心人也、

姣英小姐暗伤心
奴、命运苦十分
可恨君王太无理
将奴错配沈家门
沈标为人全无理
况且丑陋不成文
倘若日后来逼娶
叫奴如何做得人
本欲早、来伤身
七位嫂、劝奴身

花天为何作弄人
偏、许配这庞人
思思想、心苦闷
眼泪汪、好伤心
姣英姑娘、心悲酸
嫂、来了七位少夫人
姑娘法来见礼、
众位嫂、小妹有礼奉还法坐、法坐叫姑娘
见你闷、不乐、何不去到花园逛玩一番、以消闷怀、况且园中
百花齐放桂花盛开、十分清香、法姑娘观看花景、意
下如何、
嫂、欲至逛玩、小妹喜得奉陪、
姑娘、法、了环前面引路、
嫂、晚得者
姑嫂移步出闺房
一齐来到花园内
一众了环走得忙
观看花景、甚好

七位嫂、观花景
想到奴、终身了
秋天树枝多残败
将身行到花亭上
叫姑娘桂花亭上法坐、
嫂、们法坐、
叫姑娘你看桂花十分
盛盛、法姑娘折几枝桂花、可做蟾宫折桂、
叫嫂、叫
奴见桂花泪连、
有福之人做夫人
哥、在朝为官歌
小姑配与庞人家
嫂、有奴命苦十分
蟾宫折桂步升
七位嫂、受皇恩
乃能为官在朝廷

奴：乃有皇恩受　　怎做蟾宫折桂人
说起此事心悲泣　　夫人爹又说风因
吓姑娘，你看半天鸿雁飞，未作家书对我也有得。吓嫂：吓
好看鸿雁哭啼：　　对：我双排字飞
我对可比兄和嫂　　孤雁可比薄命人
小姑那有我双日　　四中思想好孤恓
可怜终身不乐意　　不如削发为僧尼
说罢转过假山去　　夫人后口把话提
吓姑娘海棠亭上坐，后伍嫂：请坐。姑娘你看海棠
对着梨花开也好看。吓嫂：想乃种花之人，好生无理

想海棠乃是妖娆之花，梨花乃是粗豪之花，如何对种
小妹开五提诗一首。开五请教了环取笔墨过来。晓得
诗曰：八佳人巧梳粧　　红颜薄命配五郎
世间多少不平事　　可恨梨花对海棠
吓姑娘你不要梨花可以砍掉。喂阿姐，阿妹，伊小姐
真当聪明，海棠妖娆比得自者，梨花粗豪比得洗
姑爷者，梨花看勿入眼可以砍掉，难道洗姑爷也好砍
掉勿成么。促贼人胡说。嘎哧，小姐已五发恶乱者
哈少夫人喂，看小姐心乃勿守，伊了关开有了主意来
带，勿如开之因门，外面是条小街，有走索只，姑娘了

姑娘粉瓶了，要大戏法了，起看：街景也好消禁解闷
吓且住，本该是使不得的，如今小姐心乃勿守，你们五去
开了因门看：街景。呕阿姐，阿妹，哧得，这有得搭哧
海笑，大家有得巧，大家动手
了环忙把因门开　　姑嫂移步往外来
姑嫂旋在因门口　　五应文人步走过来
今朝好象知音样　　哈了环见笑起来
哈少夫人呆滞来者：：　　怎样阿呆滞。嗜，因来者来
薄倒者，因起者伊立起者，嗜：呆滞来者：：大家来看
呆滞者了嘿

小姐听说把头指　　哈了　　无意之中笑出来
了环一见多欢喜　　报与相爷偿银财
阿姐，阿妹，小姐笑过者，叫问相爷领偿起。大家走哧
来至乃厅，后堂相爷，小姐被了环哧笑了。什么板你们
哧笑了。哧笑者。怎样笑的。还五还失失帮来，相爷
嗜，伊想小姐心乃勿守，开花因去看：街景，小姐仍然勿乃
兴，后来了环开之因门，看：街景，勿晓得来得了呆滞
因来者薄开者，因起者，立起者，小姐见头，伊笑者
伊了环前来领偿。少刻领赏。赏钱也五只：了
小贼胡说，家都不仅，待家去看了明白。呕，一样来开

花园。众位少夫人、小姐、相爷未看呆婆者。什么人？来了。
家们迴避了吧。姑娘注。婆、谁
不表姑娘回房去　　再表相爷进园亭
行来已到花园门　　举目抬头看分明
一见此人心疑惑　　男扮女妆为何因
书童　哟　相　叫那人转来　晓得　哎　那人　来　家家相爷有话
叫且住。听他口说相爷。深知岳翁一路。想家也是宰相
公子。如此形状。倘若真性说出。岂不惭愧。不如哄他一
哄。来此园门。听相爷叫难人转来。有何吩咐　相　叫你非
为别事。想你男子扮作女子。敢是哄闯人心。是何道理

启禀相爷。难人一言奉告
相爷不消是难人哄人心
将家骗到贵乡地　　只为此处遇扬人
只为玉砚来打碎　　卖与陈府做书童
参乃烧饭媽。未释放　　主人聚家命残生
难人句。真性语　　男扮女装去逃生
相爷听了言和语　　还望相爷恕罪名
腹内暗。自思忖
乃相爷把此人上下打量一番。心中暗想。他男扮女装。举手
行动稳重。出言吐语文雅。老夫十分喜欢。侯道。想你家
主人气量太小。一方玉砚打碎。就要取你一死。想别人

道你未历不明。老夫并不怕你的主人。你不如在家村中
做一名书童。你道如何。难人思忖回话。且住。想家也是
宰相公子。况且洪门秀士。岂肯与人当作书童。但家一来
盘缠全无。二则衣裙没有。待家有了盘缠衣裙。再作
计较便了。听相爷。既蒙抬举。无不遵命。相　未知你姓
名多少年纪。相爷启禀
相爷你且听分明　　名何不要半隐分
卖身文契家不写　　伏望相爷细比性
相爷听说未真实　　好个聪明伶俐人
待家与他取名字。把他取名就来。好从今以后就叫你就来

不分内外进出。好生服侍。以后老夫重重有赏。多谢相爷
书童　哟　相　命你领了就来到书房改换衣衫。进内去见过
此位少夫人与小姐。晓得　就来哥过家来。是来了。
书童领了进书房　　就来即使换衣裳
了环听了多明白　　急急回身走得忙
将身进了闺房内　　一见夫人把话讲
今朝有件新之了　　特来禀告女红妆
了环有什么新闻了。启禀夫人小姐。方才因门外来个男
是呆婆。奴才乐公。什么他是男的嗎。嗯。家里相爷
问伊子。伊话是陈家书童。只为玉砚打碎。主人将伊衣

彩剩啥取伊一瓶，多吉嗎？相敬辭教，為門如今相爷留
进府中，当作为童，勿分內外，任憑使喚，取名敖来，就五进
来叩头領賞咯者。㊀姆妈叫他进来。㊁喂，敖来哥，快进来
見过各位少夫人与小姐。㊂是。㊃啥萬个老伯是少夫人，当中
是小姐啥多姊妹，正三碰几个头，夫人小姐有賞。㊄晓得

敖来即忙跪拜堂　叩見老伯少夫人
低下头来暗暗喜　見他们个，親热辭
老伯夫人都叫过　当中再叩女千金
要過兒英俊好　謹祝　夏四姑氏胜几分
小姐花容多絕色　赤紅金蓮有几寸

低下头来看灵活　㊅吓好似一对水紅菱
敖来叩头分不动　㊆咳旁边丫环喝一声

㊇敖来哥，佬为啥磕头逐带庚？今叩个，赤来带不佬数
剩，叩滿十六个半。㊈吓大姐怎么今有半个为呢？㊉啥，刚，
五磕落起者，赤吹萬晓得，被佬称得半个。㊊吓大姐想
必伯少夫人时常可見，乃小姐在香閨绣阁难得見的，故以
赤五多叩几个。㊋介来佬口稚叩咚……㊌小賤胡說叫他当
去。㊍吓小姐已五岁，乳者，敖来哥好主意起者。㊎是。㊏吓
姑娘見敖来为童文质彬彬，相貌非凡。㊐吓嫂，赤家有
这样的俊秀为童，带了光门，主人面上也有多少光彩

㊑吓姑娘吓　　好像书童另有因
奴見敖来貌俏俏　　好似途中落泊人
岸子端方多稳重　　你且听赤說虎因
用言佞把了环叫　　

㊒吓你取艮子十四双，松江小布七疋賞与敖来。㊓啥。㊔个环取
艮子四双，紡綢两疋賞賜与他，速去速来。㊕咀阿姐，阿
妹，吶，吶带敖来哥，里起者，东西拎得起，行来已叫书
房喂，敖来哥，見礼者。㊖有礼奉还，二位大姐叫此
莫非小姐叫赤有了么？㊗佬听赤复述，小姐呢佬则会，啥
萬个是少夫人賞佬艮子十四双，松江布七疋。㊘啥萬个是

小姐賞佬个艮子四双，紡綢两疋，啥拎得起，想佬总后
生家，勿肯浪吃浪用去做人家些个。㊙这个自然，还望
二位大姐与赤代謝少夫人与小姐。㊚謝，赤总是叫者，㊛吟
敖来哥，佬今年几岁者。㊜一个六岁了。㊝介来佬敖来
嫂，讨勿讨嫌来。㊞没有。㊟介来伲来拉佬做媒者。㊠休
得取笑。㊡有伊介大年纪者，还怕羞带来，走得进起
者，外还是用个夫人小姐知道伐了。

㊢再表书童王应文
是表字，㊣尊小姐　　㊤再表潘夫人
本该收入用家书　　难捨小姐女千金
拉下应文来有叹　　㊥再表潘夫一段情

牙受爵權心不守，未知何日坐北京，李潘沈葆桢皆平西有功，蒙恩封爵平西王之職，永鎮潼关，意心不服，欲要登其大宝，奇取錦繡江山，如今差黑龙帅往高丽借兵十万，前来攻打，王今借兵未回，好生担心。这且不表，李潘单生一子，取名沈标，乃年金上为媒，是福建泉州府，看江县，路宾之女，名曰妓英，配与家儿为妻，想乃路宾有儿子，名朝为官，如何是好呢，有了，不免叫家儿去到他家完其花烛，日后共兵之时，亦有内助之力，有道自家必顾，自家必护本潘何愁大事不成矣。哈哈，叫后堂世子爷安来

世子爷有法，来者：您听堂上叫，眉目到，跳，若迟来迟到，要吃果子泡，平西王阿伯爹在上，做儿子的拜揖者。免叫罢了，一旁坐下。哎，阿伯爹，做儿子的一向欢喜，薄椅子的，莫怪毛家薄带者，阿伯爹喏叫儿子出来有舍和者。喏，此者，叫你非为别事，为父叫你到福建泉州府，看江县，与路氏完姻，可作内助一臂之力，为父不怕大事不成了。好的：谨遵令里的长气的，阿伯爹，童生胡说，哎，阿伯爹，如今借兵是千岁，孩儿是世子爷，才能借做皇帝，孩儿做太子者，早未借兵，孩儿好做皇帝者，童生胡说，哈哈，想沈与世子爷饯行，是

千岁吩咐此摆沈，世子爷清喜喜饯，千岁圣之开言说，儿吓，为父有言说情由，吓儿吓，你此去路村招亲，他家用亲贞洁意，处须孟谨慎，牢记在，有数者，家人哈哈，好生服侍世子爷，用来重有赏，哈哈，阿伯爹借放心，做儿子的拜别去者，哈哈，哈哈，拔系搭沈，系五落船起者。

世子即使就登呈，到泉州去成亲，吩咐水手快开船，撑起一张大风篷，发起一头大顺风，不觉来到泉州城，世子爷，泉州到者，乃舍泉州到者，将船付泊，扶系上岸

哈哈，哈哈，伙前去逛玩一番，晓得，嗄，泉州果然好一片繁华景致也。

世子爷，上街坊，闲逛消闲，话不尽，泉州府，繁华一片，走大街，穿小巷，东西南北，逛遍了，耳边，听见人伙，谈家坊，并沈楼，合群谈天，口见乃，西街上，摇摆烟，一路上，来行走，四处柳舞，有几间，高大楼，意欲眼，且侯，来到此地，有几间，高大房屋，未知何作馆，哈哈，哈哈，不知此人家的房屋，系世子爷，意欲要做公馆，晓得，里面可有人公，来者：你是何人，哈老人家，借这几间房屋，可肯租作馆，可以租得，你问他什么

(丑)家里潼关世子爷要斗路府成亲，你的房屋要租用数
月，每月租金多少。(外)既然是路府贵亲，就不用讲房
金。请世子爷前来安寓。(中)启世子爷，房主言道，路府
贵亲，勿用讲房金。请世子爷安寓好者。(丑)喝呐，[illegible]
将行李搬进起是者。(中)晓得。(丑)喝呐，想家来斗此地，本当
要去拜望老路，想伊无非是个宰相，家是个世子爷
难道家世子爷起拜望伊，嗄有者……难为伊家家个丈人
阿伯，家就用名帖个，喝呐。(外)哨。(丑)偌起通报一声，呼话
世子爷斗者，呕老路，拨家早此做亲拜堂，勿得有
悞。(中)呕晓得者

家人奉命不留定　手舒名帖往前行
一路行程无担搁　不觉来斗路府门

门上可有人在。(外)来了是乃一个。(中)望你门官前去通报相爷
家奉府潼关世子爷之命，前来你路府招亲，有
名帖呈上。(外)呕晓得者

家人接帖穿进内　禀告相爷得知情
立斗此处仃半本　盘戒杨名下回听

前蒙圣恩作冰人　誰知家女不称心
老夫路宾，只为家女终身错配，闻得沈称礼义全无，相貌
丑陋，家女心中不服，日夜啼哭，皆因圣上为媒，劣于无奈。(中)报启
相爷，潼关世子爷斗者，住在西街公馆，有名帖呈上。(相)待家看
来，嗄吓，他竟不来拜望老夫，好生无理，且住，待家前去
看他相貌，情形如何，言之有理，来。(外)哨。(相)打轿公馆。(外)嗄……

相爷打轿往街坊　去斗公馆看情常
行来已斗公馆首　(中)家人即使报了怡

门上乃一个在。(外)是乃一个。(中)路相爷前来看望世子爷，有名帖
呈上，相煩通报。(外)候着，启世子爷，外面路相爷前来看

望有后帐里上㊀乃哈老略斗者做伊话亲世子爷本应出来
迎接只因路上受了风霜之苦吸不能迎接吸伊自介跪进来
罢者㊁晚清后相爷亲重世子爷言道因路上受了风霜之
苦勿来迎接诗偌自介进去㊂有这等事来真它有此理
太师无奈出新将身进内指头一看人呢一惊免得叫声贤婿
㊃偌萬位莫非是丈人阿伯做女婿乃本该拜偌一拜亲想
偌必须垂面亲一面倘若做偌脏骨酸骨还多有勿便还
是大家两折者㊄吸贤婿请坐㊅丈人阿伯偌老实吸亲
相未喜欢薄椅子乃㊆叫贤婿一路上可平安否㊇亲有
舍勿平安呢㊈叫贤婿在府十三经中读过几经了㊉亲落

读过乃多者哈有三官经观者经血盆经受生经金刚经
弥陀经奋言经莲花经高王经华严经太阳经心经
还有阿弥陀多经不是十三经吗?㊋不是释家之经是儒家
之经㊌乃舍读书叫念经丈人阿伯亲哈勿用读者乃㊍为何
丈人阿伯哈

穷人读书富来求　只为金良满门楼
富人读书贵来求　只想朝中做一个候
想亲富也有贵也有　何用读书挑心头
阿但爹在朝千岁做　富贵双全勿用求
读过书快与亲完就烧　早拨亲结并头

㊎相爷听得心发怒　果然形状牙下流
想你在家既不读书保做出什么㊏亲大年初一斗一日值一息
都勿空乃㊐你有什么可忙㊑亲吸搭四景高兴者来亲人
故大好看这一息勿空乃㊒如此行为你全真急失训
只怕你死无葬身之地也㊓乃舍死无葬身之地勿明话亲
天勿容者偌自结故乃娘乃狗屁拖带进来偌三偌四萬
勿话起拨亲成亲反来咒骂亲世子爷依想赖婚㊔
亲就赖婚何妨㊕吸偌乃老贼亲有大笠帽遮顶是亲
阿伯作媒只怕偌乃吃饭家伙丢拨做分亲者
想亲媒人是君子　勿伯偌赖婚起心狠

㊖偌若受了万岁罚　满门抄斩吃刀士
㊗嗄叫真乞死亲也　听他言语有法说
相爷此刻怒心富　有保横行斗几何
闭时全眼观蟒蟒　一路之上泪如梭
吩咐家人忙打轿　不表相爷回家去
不表相爷回家去㊘世子口内骂咧嗦
有个牛老勿死带来太岁头上来动土者娘咧㊙哨㊚乃拨亲
大出毛竹火梢挽一把把老贼赶出起快摆沉与亲消
乞吸㊛吸晚清者
㊜世子爷此刻怒冲冲　饮沉消乞宽胸

下表沈标气杀人　㊀再表敖秉小书童、埋怨在天罗何日见姣娥小生王应文、如今在路村做了书童、取名敖秉、见小姐花容艳色、未知才貌如何、今日此位少夫人与小姐花园饮酒赏月、[illegible]、想亦为外不忘、不如大胆走到小姐房中假意送茶、偷看小姐的诗赋、就可知道小姐的才学也

应文想罢进房门　偷看诗赋侵雅情

心中暗想往前走　㊁小姐后面进房门

吓敖秉、你在此做什么㊂呀小姐亦是送茶来的㊃因何了环不来送呢㊄因大姐们不在、故以亦代送来的㊅想你

内外不忌、亦可代送㊆正是、小姐请用茶

应文海意喜如　看茶送与亲金

手中露出梅花戒　㊇吓小姐一见突然、你

观看此戒多奇異　为何此戒[illegible]

后口便把敖秉叫　戒子[illegible]明

吓敖秉、你的戒子让亦看、㊈这是梅花戒子、让你小姐观看

㊉待奴看来㊉㊉哈敖秉哥、想你爷爷[illegible]看了㊉㊉小姐亦喜了、

梅花戒子是亦还亦的㊉好你去罢、少刻还你㊉晓得

敖秉移步出房门　㊉小姐见戒暗疑心

奴、想起梅花戒　赠与先英两番分

难道他在饭店住　梅花戒子私相赠

等他来讨梅花戒　问明性由放亦心

下表小姐心疑猜　㊉再表英文进内来

小生王应文送茶包毕、进去向小姐讨还梅花戒子、亦来探

听小姐的姻亲、主意已定、走吓㊀哈哈姐的妹哈、今朝

小姐的催命鬼到者㊁什么催命鬼、吓三位大姐、这句话

是什么意思、可去对亦说㊂吓敖秉哥、不怪所见者

傍勿晓得细底的、亦敖向你讲、晓亦里小姐广终身

有望、亦的伯做媒的、许配陈关沈千岁之子、名叫沈标

勿想伊人礼义全、先相貌丑陋、小姐勿称心、难来沈标来

冬者、西街上打个饭住哈、吓对相爷拽掰花烛、亦里小姐

前反有话、话过的、若还沈标到来做亲、一定亲事成者的

也非是小姐的催命鬼到者㊃吓有这等的事㊄哈敖秉

哥、早借外头勿可见搭人搭起话、亦害伊淘气的、才话

淘气亦做借着的㊅是㊆吓姐姐、你亦快、报与小姐

知道仔㊇吓可惜㊈㊉小姐哈勿好者㊉㊉为何㊉㊉沈姑

爷到者、西街打个饭住哈㊉㊉有这等事㊉㊉呆吓不好了吓

㊉㊉小姐苏醒……

晓得亦三魂不在身　㊉㊉万把钢刀刺亦心

（旦）奴家你在此做什么（生）奴家前来问小姐讨还梅花戒子（旦）敖来你的戒子从何而来，不须隐满，细细说来（丑）小姐容禀

小姐在上听厄因
家住浙江宁波府
爹爹迁贵为盐商
今年二方十六春
看潮失水到泉州
杨妈相救赠衣衿
奴与完英终身订

（旦）小姐听了言和语

敖来细细告知闻
是海县内王家门
小人三字王应文
去年入津在洪门
洗尽衣服被贼偷
完英姑娘送俺临
梅花戒子私相赠
厄来惟家后代根

（旦）敖来你在此做什么（生）奴家前来问小姐讨还梅花戒子（旦）敖来你的戒子从何而来，不须隐满，细细说来（丑）小姐容禀

小姐在上听厄因
家住浙江宁波府
爹爹迁贵为盐商
今年二方十六春
看潮失水到泉州
杨妈相救赠衣衿
奴与完英终身订

（旦）小姐听了言和语

敖来细细告知闻
是海县内王家门
小人三字王应文
去年入津在洪门
洗尽衣服被贼偷
完英姑娘送俺临
梅花戒子私相赠
厄来惟家后代根

不该将奴销魂线
只得靠窗告青天
只见月光照窗前
明月清风自安然
无忧无虑在青天
看来孟厄死伤黄泉
（生）窗外王生泪珠连
令人听得又惨然

（旦）小姐听了言和语

（白）何人前来多插言
（生）叫小姐是敖来

促住了，奴家窗前讲话，何人前来插嘴

叫厄来是宰相公子，奴家失敬了，既是宰相之后何不早说（生）小姐叫

小生心想回家门
腹中饥饿身发冷
行过你府来出迷
谁知小姐家门配
迷来讨还梅花戒
不久就五回家去

（旦）原来小姐来问

小姐听了更心酸

身无分文难起程
无奈只得走街心
见了小姐貌超群
小生拜倒一片心
见戒无如见完英
意欲上京求功名
小生句句是真情
即使启口叫王生

叫王生听你说来，你与杨氏完英结为佳偶，想奴与完英

结拜姐妹胜似同胞，这梅花戒子厄是奴赠送与汝叫

小姐此刻泪汪汪
完英当初也在此
那日姐妹来分别
梅花戒子分两处
但厄姐妹至相合
谁知贤妹赠与你
孟奴还戒不能够
奴想贤妹能有福
唯有姣英多薄命

悲切，非纱窗
结拜姐妹伴闺房
奴家难舍女红妆
一心赠他占家邦
一对戒子再成双
见物思情心更伤
权且留在奴身旁
郎才女貌配成双
看来不久命亡

王老爷 法你且暂住几日
日后完英成亲日
若说奴、终身了
(巳) 应文听了凄凉话
吓小姐听你说得凄凉、劝小姐切莫自寻、想相爷年迈苍、
倘有不测、那还了得、有道蝼蚁尚且惜命、在生百胜过
千年、吓小姐吓
劝你不必太伤心
得一日来过一日
小姐若还未自尽
听奴言必占浙江
将奴苦衷告红妆
来生与你再成双
好言好语劝红妆
另人听得也悲凉
暂且权度过光阴
相爷年迈忧愁说

莫说应文难舍你
(己) 小姐听了言和语
暗想他有恋奴意
越思越想心悲切
(庚) 应文一见心胆惊
吓小姐、看你口吐鲜红、还须保重牙伴五、
(己) 小姐无奈关窗门
不表小姐身安息
人、都说天有眼
小姐才貌双全女
岂可抛撇一旦倾
难得王生劝奴牙
介劝之言情意深
哎唷 一口鲜血吐埃尘
好言安慰女千金
双眼含泪进房门
(壬) 提表应文往外行
奴说苍天瞎眼睛
为何弄得这般形

理该才子配佳人
本该收入回家去
且在他家住几日
想起小姐心悲切
(相) 相爷一见问尾因
吓老来、因何在此悲泪 (壬) 相爷奴想起苦楚故而悲泪 (相) 老来
见你常、悲泪、不象右堂之辈、你外底家住乃里、姓甚名谁
家中作何事业细、说来、老夫好帮助与你 (壬) 相爷容禀
小人家住在浙江省、宁波府、定海县、姜、姓王名延贵、爹娘不
生多男、单生小生人、不幸奴幸去世、多亏义仆抚养成人、小生
聚名应文、在年一十六岁、去年身入泮门、只为看潮失水、多亏

因何对面不相亲
难得小姐留亲牙
看其动性再回程

(相) 相爷奴想起苦楚故而悲泪 (相) 老来
见你常、悲泪、不象右堂之辈、你外底家住乃里、姓甚名谁
家中作何事业细、说来、老夫好帮助与你 (壬) 相爷容禀
小人家住在浙江省、宁波府、定海县、姜、姓王名延贵、爹娘不
生多男、单生小生人、不幸奴幸去世、多亏义仆抚养成人、小生
聚名应文、在年一十六岁、去年身入泮门、只为看潮失水、多亏

杨妈、相救、小人句、实言、多亏相爷怒罚罪、(相) 家道是谁
瓦未还、是贤侄、吓贤侄、你今尊在日、老夫与他同庚、情
以胶漆、想你那日进府、何不真情说出、隐瞒外今、矣、亚辱
劳匆见责、(壬) 好说 (相) 贤侄你乃泮门考士、今年乃大比之年、
你可上京赴考、如此、年伯大人在上、小侄拜揖 (相) 不敢请坐
(壬) 告坐了、吓蒙年伯美意、小侄上京赴考、定于明日起程 (相) 如此
老夫正如行李、白银五百兄、家人两名、在於回家、家人哨
(相) 明日服侍手相公上京赴考、路中回来、重、有赏 (相) 晓得
(相) 禾呀 (仆) 哨 (相) 奋沈饯行 (仆) 是 (相) 贤侄请 (壬) 年伯大人请
(相) 宾主饮酒英谈心
故旧相逢喜欢心

(小)应文出席来拜别
(白)家人肩挑行和李
(小)不表应文上京城
命中生得犯孤凄、一世终身无靠依、奴家骆氏姣英、只为
万岁为媒、配与沈标为室、如今冤家已斗、爹去斗八馆
見他如同废物、言语冲撞、孟爹見他形状如同禽兽
倘若奴与他完姻、总然难在人间、思想起、好不伤肝人也
小姐思想好伤心
红颜女子多薄命
不如削发去修行
即别年伯上京城
(相)相爷送出大牌门
(白)捏表闺阁女千金
可恨废物斗来临
丑陋女子做夫人
断绝红尘一片心

倘若贪生留人间
左思右想无了计
双膝跪在尘埃地
拜罢一番抽身起
闫王注定三更死
小姐闺房来上吊
大家唬得魂飞散
姑娘苏醒：：(小)小姐苏醒：：(小)了环快取参汤过来(小)晓得
(白)吓苦呀 姣英女 渐渐醒 哀哀痛哭
哭一声 奴苦命 好不伤心

想他去看伤孟爷
不如早早丧残身
拜谢爹娘养育恩
罢一根丝带手中存
断然留不斗五更
(小)七位少夫人进房门
慌忙相救女钗裙

恨只恨 怨只怨 昏君错配
大不该 来作伐 配与废人
害得奴 无处诉 寻死短見
七位嫂 何苦的 相救奴身
想爹爹 奴终身 难已作主
看起来 小妹家 留着何用
斗后来 他迫婚 奴命归阴
千不死 万不死 总然一死
可怜奴 女姣英 痛苦万分
看后来 家的命 究作何论

(小)劝姑娘忍耐才是、万事皆有天数、缓缓设计使了、姑娘吓
七位夫人劝姑娘 切莫悲伤哭凄凉
沈标虽然来斗此 缓缓拖延婚期长
姻缘虽是君王定 想定妙计不外扬
还须加意来保重 静养身体莫愁肠
不表姑嫂闺房事 (丑)再表沈标去私访
奉命来完姻、老贼太欺人、学生沈标、奉阿伯爹之命、斗
骆府成亲、住在公馆、勿想老贼前来拜望、与家、争闹
一场、听伊口气有赖婚之意、家有皇帝阿伯做媒、勿怕偌
老贼赖婚、家想老贼呕了环、调包来与家成亲、家乃

今晚得、嗄有者：：奈勿如扮作平民模样、私行到伊个
花园、倘若小姐来趁玩花园、拨奈看个明白、日后伊想得
包、奈就可以认出真假、勿错、仰奈猜个人到伊个花园里
起走：罢者、

沈标想罢就动身　扮作平民一般形
摇摇摆摆勿固定　来出已是花园门

哈到者、园门还勿关、仰奈进去哦：一台牢门个小奈人头、
一只脚刚偏着、嗄还好：是好走进带者、只见楼台亭阁
秀仰花枝、还可看得、且住、奈在此观看、才话拨伊下
等人看见、认得奈个、因奈满身认号到底、嗄有者：：

葛里有个秀仰事情、不免去探一探、偷看一看是者

沈标进了秀仰事　占等佳人到来临
不表沈标在中等　①　五表了环一众人

前世勿肯修、今世做了头、福气也勿邬、吃个淌来穿个绸、
住个楼台马楼、三个奈依伸：手、四季衣衫薄：周、常：
去到花园趁、看花闲：逍遥头、个个福气也勿邬、下世还
五做了头：：阿姐阿妹哈、奈里个小姐、早五寻死、晚五寻死
亏得七位少夫人、都守在小姐房里、勿起趁玩花园、桃流看
看小姐呒、早五茶者、晚五燕窝者、真当活拔：葛呒力杀
者、七位少夫人勿起趁玩花园、陪得香头搭脑者、哟今朝

了头五假扮夫人、小姐、去趁玩花园、乃葛打扮法呢、哈、
少夫人房里个了头打扮少夫人、打扮小姐五哭个、叫谁来
打扮小姐、呒赖头婆桂者打扮小姐、还看四个仍旧当了
头、才话呒咚勿庶、五哥良子二及个个未说话五标数个
活等勿起趁、死得脚所抽个活等勿起嬉、死得鸟呒：
大家打扮起来

一众个个所偷衣裙　桂香打扮假千金
黄头发挽起时髦者　金敞一对左右分
八宝珠环掛两边　水粉好象石灰瓶
金穿绣花宽裤袄　八寸花鞋足下登

手上戴付黄金镯　好象一个白吼鞋
假装小姐哭啼：　①　来了七位假夫人
哈姑娘佬为舍哭个　①　奈有心了吉　①　有道桂五生悲、何
哭到后花园桂花树下去坐：也可消愁解闷个　①　如此
嫂、法个　①　姑娘法

假扮姑嫂出园门　①　一众个个所后头跟
一齐来到花园内　观看花景医好昂
七位夫人看花景　①　小姐只是暗伤心
秋天树枝多残败　梧桐叶落好凄惶
想到奴的终身事　乃有心思花是愤

四面八方无心看
一开未到花园上
吓姑娘桂花亭上法坐。婆：你法坐。吓姑娘你看桂花
开。法姑娘折几枝桂花。可做蟾宫折桂。婆：吓
如见桂花泪滴：
有福之人做夫人
哥：在朝为官眼
小妹配与度多
如：那有星星度
想开此处心悲切

暗：流泪落的腔
假夫人后口把话讲
唯有奴命苦千分
蟾宫折桂步：升
九位婆：要皇恩
那能为官在朝走
鳥微：蟾宫折桂人
假夫人要又说虎图

吓姑娘你看来天鸿雁飞来。作写。或对开也看清。婆：吓
奴看鸿雁哭天啼：
或对可比孤孀
小妹那有或双日
可怜终身不落意
说罢愁过假山去
吓姑娘鸿案亭上法坐。婆：们法坐。吓姑娘你看鸿案
梨花开也看清。梨花乃是粗毒之花。如何对和小姐
五提诗一首。到五法教。了环取笔砚过来。晓清
清曰 二八佳人巧梳妆

对：或双摆字飞
孤雁可比薄命人
心中思想好孤悬
不如削发为僧尼
夫人后口把话提
红颜薄命配五郎

世上条人不年多
吓姑娘你不要梨花。把它砍掉了。吓姑娘小姐正当聪明
鸿案婆：此清但者。梨花粗毒。九清。洗姑爷者。梨花看
勿入眼。将伊砍掉。才法洗姑爷看勿入眼。也好砍掉的么
哈了头哈。佬道亲真当五嫁拔。洗标伊活言生者。吓国
皇帝的伯做媒。亲岩千无奈。洗标勿来做亲。不伊使宜者
才法来做亲。乃萬者。了头哈

无奈当他两或
亲觅假装三分醉
亲来袖口里。生一把尖刀。等伊来洞房。亲实格来。三刀戳

红绿牵进入洞房
他是洗醉勿防备

伊来。吓才法戳。来者。佬小姐五岩室房者。亲勿肯岩伊
好嫁拔。来伊。

两边 主婢法法讲
洗一反进闺房

言来语去喜洋洋
洗标叫清洗鸳鸯

吓吓且住。亲来到花园察清。只见路氏小贱。与九位阿嫂。
洗花园。只见小贱三分象人。九分象鬼。洗什么不肯从亲到
也罢了。还五将尖刀戳死与亲。嫁与郭来。想郭来乃是
书童之辈。问名字。亲不免即速回亲。告与阿伯。度知道
将小贱退了是者

骂声路氏贱婆娘

佬五罗亲命勿清

家丑田占潼关去
娘呀（付）哨（丑）家老妈勿讨者与家收入行李田占潼关速起程（付）晓得
（付）家人奉命不尚行
（丑）沈杯思想怒冲冲
可恨妖娆心太凶
幸亏老天来保佑
以斗此处付三回
报与阿伯爹得知晓
收入行李下船行
骂声小贱天不容
劳退小贱心故松
还可回家见父翁
大聚团圆下回云

（丑）家[illegible]完姻日在掛在心本藩沈来命家儿去路府完姻今日
不知何故心惊肉跳好生难解（付）报启千岁世子爷居来者
（付）什么家儿回来了命他进见（付）晓得世子爷有请（丑）口望去完姻
老贼他欺人千岁阿伯在上做儿子叩拜接者（付）儿吓罢了
你为何这般光景回来（丑）吓阿伯爹喏
那日奉命斗他乡
斗家公馆来辱骂
声声要把婚来退
孩儿打扮去私访
来了路氏不贤女
可恨路宾太不良
他竟与家闹一场
劝肯与家结鸳鸯
他家花园去察详
又比路宾狠心肠

他说道若还洞房花烛夜
当在[illegible]
还要嫁拨小款来
相貌丑陋不象人
萬种贱人有何用
还是快快起退婚
阿伯爹哈看伊相貌丑陋不堪
良心凶狠还是快去退婚
是者（付）儿吓你且进去为父与你另配如花似玉之女（丑）多谢阿伯
爹（付）吓路宾吓路宾你有如此大胆竟敢辱骂世子爷
且住待家先将小贱离退再奏闻圣上便了
沈葉手执无情笔
字字行行写情书
一封退书来写好
启口就把家人叫
家将（付）哨（付）家有书仪一封速往泉州府晋江县路府投递

不要回文速去速回不得有误（付）得令（付）来呀（付）哨（付）速备行李起道进京
（付）要表家将在路行
晓行夜宿无担搁
来到泉州一座城
不日进了晋江县
启口就把门官叫
千岁有仪到来临
交代书信回身占
（付）门官进内报了情
急忙进内启禀相爷潼关千岁有书信一封呈上来人去了不
要回文（相）待家看来嗄原来是一封退婚书且住待家进
内与贤者们商议来至内堂（付）公公在上媳妇万福（相）吓
贤者一旁坐下（小）未知公公进来有何吩咐（相）非为别事

贤娘在家教年安
(妙) 夫人吩咐忙摆饥
(丁) 了环急忙摆饥是
饥至数杯撤席散
打发了环当房去
(宋) 自从姐妹来分别
奴有一对梅枕戒
所说姐妹集相会
奴一只今还在
(英) 宛英听言吃一惊
奴也是休安守
(妙) 款待二姑女千金
(丁) 大家谦逊坐分宾
(旦) 姐妹携手进房门
关门启口问一声
惟恐日久两疏性
一只赠与贤妹身
戒子戒对两安心
贤妹一只可在身
姐妹问戒为何因

心中思想生巧计
(旦) 只因家父少钱用
(英) 宛英听说怒气生
怎说令尊少钱用
你今休游来瞒家
梅枕戒子戒双对
(英) 宛英一见魂不在
因何落在小姐手
请问姐妹何处得
(旦) 你枕言语来骗家
就把姐妹叫一声
戒子先换三枕良
贤妹瞒三瞒四不换因
怎说先换三枕良
你的戒子在家身
请你自己看分明
想奴乃日赠王生
不顾羞愧问一声
多少良子美进门
休想为姐流真性

今日沈菜有书信到来为公拆书观看原来是一张退书
还要为公上殿面圣(丑) 吓公公既是退书就可为凭面圣何妨
(祖) 对面圣何妨如此为公去也(少) 媳妇们候送(祖) 来呀(祖) 打道进京城
(旦) 安表闺阁女千金
量表相爷上京城
心中暗喜十分
闻知沈林婚未退
安接完英到来临
忽然想起梅枕戒
小姑有言告知闺
因言就把嫂叫
吓众位嫂家想完英妹去接他到来叙谈心性未知嫂
尊意如何(少) 姑娘言之有理(丁) 了环你去叫家人打轿到杨
家接二小姐到来不得有误(丁) 了环晓得
(宋) 家人备轿去如云
(标) 天标听了多明白
(英) 宛英姑娘遵父命
拜别爹娘登上轿
(丁) 了环急忙来通报
姑嫂一齐出来迎
二姑娘请进内堂(英) 众位嫂请
(旦) 贤妹请(英) 姐请
(丁) 了环即使送香茶
在家大小可安守
(少) 姑嫂谦逊坐定分
八位姑嫂齐动问
(英) 宛英姑娘回言答
将言唤咐众家人
来到杨家说分明
进房就与女儿听
腹中暗喜十分
一路淌淌进府门

吓姐：小妹忘敢隐瞒，实言奉告便了

劝姐切莫怒气生
乃日家出外河边去
崇住宁波定海县
今年：方十六春
只为看潮失水
家出一见将他救
小妹与他终身订
盟：将他来背出
小妹真情来说出

小妹一：告表情
遇见一位小书生
三字名叫王应文
十五岁上入泮门
浸在河中无计生
将他出住赠衣衿
穆桂英子赠王生
望断秋水无音信
还望姐：说其情

你说书生王应文
却被家爷不看见
送茶露出穆桂英
他将真情告诉家
后来家父游知情
奴想妹妹有福份
唯有嫁英俊命人
你是豪门名侯女
郎才女貌闭千金
愿表闺阁情由了

那日路过后花园门
将他出进在村门
奴：见了问其情
为姐才知内中情
叫他上京赶功名
许配乃称心如意好郎君
不及你贤妹半毫分
相村门第闭千金
风流倜傥俊美人
再表唐王出龙庭

河清海晏，国泰民安。唐，寡人大唐天子是也。自登基以来，刀枪入库，马放南山，风调雨顺，国泰民安。此乃一朝之洪福也。今当大朝日期，侍儿宣放龙门。万岁有旨宣放龙门。臣等具驾吾主万岁。公娜千岁，万万岁。公娜：今乃大朝日期，有奏上无奏退班。臣平西王沈葉有本启奏。奏来。臣启万岁，臣子沈林，蒙圣恩作伐骆宾之女配为室。臣子去外他家成亲骆宾不允，叫四罢了，反而辱骂臣子，有赖婚之意。吾皇降旨大胆骆宾，你女寡人为媒，配与平西王为媳，你敢图赖婚姻，该当何罪。臣启万岁，非是微臣有赖婚之意

乃沈葉将家女离退，今有沈葉亲笔写呈上，请万岁龙目观看。大胆沈林，你完全是颠倒是非，混淆黑白，当有黑龙帅出班奏道：叫呼万岁呼，沈葉父子有谋叛之心，意欲高丽借兵十万，手进中原，五府取锦绣江山，现有私通反书呈上。待寡人看来，呵可恨：大胆沈葉：寡人何等看待与你，你起不良之心，立武士上殿。在将沈葉父子邦于殿外，本欲斩首，念其皆日平西有功，从宽发落，乎押边关充军，永不回朝。部起程，领旨。黑龙帅出首有功，封为威镇将军，彩缎，童关，领旨。骆宾娜，过来听旨。臣在。待寡人再挑选才貌

双全之人，指为东床，寡人为媒，与女英配完婚姻，谢恩
退班。谢主隆恩
骆相父子出朝门　　传表状元来临
考官登堂来坐定　　状元到，进场临
奉旨考奇才，状元进场来，三场文字端，立进状元郎
老天翰林院，老天祥，奉旨考取天下奇才，来叩
把贡院门儿开呵，大开贡院门。　生员各分天地字号
生员天字号，学生地字号，天字号上堂领对，法太师
面题目，四吹鸟屋千条线，对就了，日照花蕊万点金
好奇才，龙虎榜，谢太师　地字号领对，法太师

呵牛肉，出题目，才了，出题目，前面一只雌雄鸡，
雄鸡，近来以进起，好象一对夫妻，早起，刚做着生鸡
一卷，来第者，前头一只雌狗，后头一只雄狗，好象老天
师小娘男，此文字下流，好出贡院，喂，做你家开
好考者，京三年四来考，考场看着菜，还是居起夢
大解，谢开起，状元文字好，上殿奏皇朝，奏，呵
起，上朝，嗳……
不表考官上朝廷，　圣君唐王写喜文
万岁御笔来亲写　　状元王度文
榜眼乔在浙省　　探花乔在浙江人

状元步入金殿上　　臣叩君王万岁年
臣封科状元见驾家主万岁，平身，殿元公见寡人因何不
抬头，容貌丑陋不敢抬头，容貌乃是父母生就，胆大抬起头
来，法万岁龙目观看，妙哉，状元才貌双全寡人放心大喜，奉
旨选衙三天，状元奏寡人俱已明白，爱娜为有潮失水，多
亏杨天标之妻相救，封杨天标七品官带，又什主保扶养爱娜
有功，钦赐八品官带，娜妻杨氏完英封为二品激法夫人，朕
为媒，骆宾之女骆氏姣英配与状元为宾，封为一品激法夫人
娜父妙手居极品，爱娜祭祖归家，奉旨完姻，五品来京
受职，谢恩去罢，　万岁，万岁

状元谢恩出朝门　　心中欢悦喜非常
多蒙万岁为月老　　骆氏姣英配成双
上京将中为魁首　　奉旨祭祖上家邦
不表状元回家了　　提表相爷把话讲
将话说与众人晓　　合家欢悦喜非常
对边家人听着，你们速备新子去接杨天标夫妇到来，嗳，
家人奉命去如云　　未到杨家说原因
天标夫妇多欢喜　　夫妻双，就起身
行来已到相府地　　相爷那话出来迎
相爷在上杨天标夫妻叩头者，不敢活起，相爷呼唤杨

天府夫妇进府，有何吩咐 (丑) 相爷把前后情由细说一遍 (丑) 天禄
夫妻闻言，好不欢悦人也
难得皇帝做媒人　阿囡配与状元身
多蒙相爷来抬举　赵家夫妻进府门
拣定黄道并吉日　一同送亲去完姻
不表送亲情由了 (生) 再表状元斗家门
(末) 报王相：相公得中头名状元，居来者 (丑) 胡说 (末) 真当居来者
(丑) 有这等事来，真真谢天谢地，待我前去看来，来至前厅
相公在上，老奴王法叩头 (生) 老人家请起，难得你忠心义胆，
老人家受小生一拜。(丑) 吓，这是使不得的，岂非要折死老奴了

相公作别斗如今　老奴在家好伤心
总道今生难相会　谁知今日又重逢
相公吓 何人前来相救你　老奴跟前说仔细
(生) 状元即使回言答　就把王法叫一声
应文就把情由诉　一一从头说分明
自从看潮来失水　在潮漾入龙城
多蒙杨妈来相救　与他女完并订终身
后来进入杨相府　内外出入书童称
多亏路相爷来照同　我将真情说他听
相爷听了多欢欣　赠我盘费上京城

考试得中第一名　奉旨祭祖转家门
亏你一片忠心义　你是我家大恩人
不表主仆来谈讲 (什) 家人进内报了情
启报状元老爷，外面文武官员齐斗，有名帖呈上 (生) 吩咐下
去，叫文武官员回衙理事。(什) 定海县郑大人进见 (什) 是大人
吩咐下来，文武官员回衙理事，请定海县进见 (生) 父台请
晚生有礼 (外) 不敢，状元公呼唤，卑职有何贵事 (生) 请父台斓
神殿代为非心修理，完毕之后，待晚生拈香 (外) 如此领命
就此告退 (生) 候送 (外) 打轿
知县告别转家门　吩咐工匠修殿庭

不多几日已修毕 (生) 状元上殿了还愿心
祝告已毕回家占 (什) 家人重又报了情
报路相爷与杨老爷太太送小姐斗 (生) 大开正门出外迎接
二位岳父母请 (丑) 状元女婿大姑爷请，唤人令都说状元生得
好，仰家来瞧一瞧，喂萬家主婆，我看萬了状元老爷
好象旧年头八月里厅凤阳溪呢 (旦) 侬了老兔家里眼力才好
(丑) 内边家人听着，上挂灯结彩，下红毡铺地，点起夜风花
烛，请宾相 (宾) 来者：我做宾相，喉咙勿响，看见贵元
两只眼睛杀亮，伊话半斤，我话一双，伊话铜钱
我话沛洋，伊话铜淮，我话乌龟枪，伊话财神

乖話壁墻 大家妥破長……介来家来贊礼者
伏以水上一对金鸡浮，凤凰一对結鸞綢，山水相逢
同罗帳，一夫两妇乐幼……宾相好言贊红妆，三請
驸馬入华堂請拜
(生)四拜天来四拜地　　四身四拜祖先堂
再拜堂上老大人　　幸红移步人洞房
光陰迅速容易过　　(旦)两位夫人多儿郎
每位夫人生一女　　又有两位公子郎
曼表得子情由了　　(旦)姣英夫人把話讲
吓賢妹，想奴万岁为媒，錯配沈标，总是前世宿債

之故，受了多少磨难，如今家看破红尘，以修来世
(丑)娘娘小妹早有此心，不如同修行，正说之间(生)状元步
入内堂，吓二位夫人讲些什么(旦)吓相公想是为人之苦也
可叹为人不肯修　　受苦受难变骷髅
为人可比春草　　作[illegible]不斗头
奴今看破红尘界　　奉劝相公早早修
(生)状元即使回言答　　下官任满回家修
状元任满归家，夫妻三人，依归同修，(丑)杨天标夫妇，見
儿婿们修行，也觉回心转意，同修佛道，寿数
已尽，无疾归天(生)状元如来治丧，殡殓安葬归山

夫妻三人修斗三十年后，(丑)太白星君接斗玉旨一道
听吧读，詔曰，人今由王英文是文曲星下凡，投入红尘
骆氏姣英，杨氏完英，是月宫仙女下凡，投入红尘，劝
夫[illegible]修道，同归原位，两位公子，出仕为官下去，公
候之位，兰桂芳[illegible]双英宝卷前后四回恩怨
分明忠孝双全，大聚团圆，拜谢皇恩天地也
双英宝卷[illegible]完全　　月再圆来花再鲜
[illegible]是个文曲星　　大骂潮神有幸逢
两位夫人月宫女　　隋落红尘要整[illegible]
后来劝夫同修道　　仍作常娥月里仙

留下两位，贤公子　　也是唐朝伴君前
骆相后来善心坚　　修功圆满上两天
王德花头多仁义　　寿高归天好安眠
天标夫妇后修道　　无病无疾升西天
沈荣父子多阴险　　边关允罪实可怜
阿弥陀佛多念念　　勿費工夫勿費钱
一言能积无量福　　千金难买子孙贤
不信但听双英卷　　不成菩薩也成仙
今日立部双英卷　　一年四季保平安